

The Tokushima Modern Art Museum

徳島県立近代美術館

年報

令和7年度

目次

1	沿革	1
2	基本理念と事業方針	2
3	展覧会事業	
3-1	常設展	4
3-2	特別展	32
4	普及事業	
4-1	美術館教育	40
4-2	学校教育との連携	47
4-3	美術館ボランティア、地域との協働	55
4-4	社会教育、生涯教育への講師派遣	56
4-5	ユニバーサルミュージアム	56
4-6	てみるの時間	57
5	資料収集保存事業	
5-1	新収蔵作品・資料	62
5-2	所蔵作品・資料の現状	63
5-3	寄託作品・資料	66
5-4	資料収集委員会・価格評価	66
5-5	デジタルアーカイブ	67
5-6	所蔵作品真贋事案	69
6	広報活動	
6-1	広報用印刷物	72
6-2	ホームページなど	73
6-3	サテライト・ギャラリー	73
6-4	ニュース郵送購読	73
7	調査研究事業	
7-1	研究報告会	74
7-2	研究実績	75
7-3	文献資料の整理	82
8	管理運営	
8-1	組織及び職員一覧	83
8-2	美術館協議会	84
8-3	入館者数	84
8-4	レファレンス業務	90
8-5	作品の貸出	91
8-6	ギャラリー、講座室の利用状況	91
8-7	運営計画	92
9	関係法規	94
10	建設概要	100
11	利用案内	102

1

沿革

- 昭和55年 1 月
文化の森構想発表
- 昭和56年 2 月
文化の森懇話会報告書提出
- 昭和57年 3 月
建設地を徳島市八万町向寺山及び寺山に決定
- 12月
美術館基本構想報告書提出
- 昭和59年 5 月
美術館資料収集委員会発足
- 昭和60年 8 月
施行式挙行
- 昭和61年 4 月
県企画調整部に文化の森建設事務局設置
- 昭和62年 7 月
建設工事着工
- 平成元年12月
建設工事竣工
- 平成 2 年 4 月
徳島県文化の森総合公園文化施設条例施行
県教育委員会に徳島県立近代美術館を設置
徳島県立近代美術館資料収集委員会発足
徳島県立近代美術館協議会発足
- 11月 3 日開館
- 平成 7 年 6 月
日本ブラジル修好100周年記念 開館 5 周年記念展
「サンパウロ美術館名品展」を開催
- 10月
開館 5 周年記念作品 パウル・クレー〈子供と伯母〉
(1937年)、フェルナン・レジェ〈美しい自転車乗り〉(1944
年)の 2 点を購入
- 平成12年11月
開館10周年記念展「近代徳島の美術家列伝 明治から第二次世界大戦まで」を開催
- 平成22年10月
開館20周年記念展「徳島県立近代美術館名品ベスト
100」を開催
- 平成27年 4 月
開館25周年記念展として、特別展では「美の饗宴 西
洋絵画の300年」、「フィギュア展－ヒトガタ、人形、海洋堂」
を開催。所蔵作品展では「所蔵作品展2015」、「人間表
現を楽しむ25のとりら」、「同時代のアーティストたちの表現」
を開催
- 令和 2 年 4 月
県教育委員会から知事部局(未来創生文化部)に移管
- 10月
特別展として、文化の森総合公園 開園30周年記念「ド
イツ 20世紀 アート」と「野外彫刻展」を開催。また、所蔵
作品展では「開館30周年記念 未来に向けて」を開催
- 令和 6 年 4 月
機構改革により観光スポーツ文化部に移管
- 令和 7 年 4 月
開館35周年記念展「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと
愛しき人間像コレクション～」を開催
- 10月
開館35周年記念展「美術と野獣－人間の根源へ」を開催

徳島県立近代美術館 基本理念

徳島県立近代美術館は、地域の文化活動の拠点である文化の森(※)の一員として、特に美術を中心とした県民文化の振興を図ります。

「先導し、発信する」

未来と世界に目を向け、豊かな人間性を育む場として、展示や教育普及事業などを通して、近代・現代美術を中心とした文化活動を先導し、芸術文化情報を発信します。

「研究し、還元する」

近代・現代美術、あるいは徳島にゆかりのある作品や関連資料を調査、研究し、あらゆる美術館活動に活かします。

「保存し、伝える」

資料収集方針に基づいて収集した貴重な作品や資料を良好な状態で保存し、後世に伝えます。

「地域に根ざし、連携する」

親しまれる美術館として、ボランティアをはじめとする県民との協働や県民の参加を進めます。

他の文化施設や大学・学校などの教育機関との連携を深め、相乗効果を図り、地域文化の創造性を高めます。

「安らぎ、体験する」

自然豊かな文化の森で、安らぎとゆとりを満喫し、実物の美術作品にふれる感動や体験のできる場を提供します。

※(注)文化の森総合公園

六つの文化施設(図書館、博物館、鳥居龍蔵記念博物館、近代美術館、文書館、二十一世紀館)が一堂に会した総合公園

事業方針

1. 資料収集保存事業

資料収集方針

(1) 基本方針

- ① 現代美術の動向を国際的視野に立って把握し、未来への展望が開けることを課題に国内外の優れた現代絵画・彫刻を中心に収集する。
- ② 現代美術の背景を理解するために近代美術も併せて収集する。
- ③ 近代以降活躍した徳島ゆかりの作家の作品を収集する。
- ④ 一次資料を理解するために二次資料も併せて収集する。

(2) 具体的方針

- ① <人間>を主題とする作品を中心に収集する。
- ② 広い視野に立ち、現代版画を総合的に収集する。

2. 調査研究事業

調査研究事業は、全ての美術館活動の基盤であり、日常的、継続的に進めていくものである。なかでも、所蔵作品・作家についての調査研究や徳島ゆかりの作家・作品の基礎調査は、とりわけ重要であり、また、教育的な視点からのアプローチも欠かせない。

その成果は、論文や学会発表にとどまらず、収集、展示、教育普及のそれぞれの美術館事業に活かされていかなければならない。

3. 展示事業

- (1) 所蔵作品展では、定期的な展示替えを行いながら所蔵作品を公開する。できる限り多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供し、展示の新鮮さを維持すると同時に、作品の保護を図るためである。

また、収集方針への理解を容易にするため、原則として収集方針に即した展示とする。

- (2) 特別展では、原則として近代、現代美術を対象とし、所蔵作品展では紹介しきれない分野や作家、作品を紹介する。様々な美術愛好家の期待に応えとともに、常に新しい美術館利用者を開拓し続けるため、近代・現代の美術展、日本・海外の美術展、徳島ゆかりの美術展、啓

蒙的な内容の美術展など多彩な内容の展覧会を時期にも配慮しながらバランスよく開催する。

4. 教育普及事業

- (1) 美術館での作品鑑賞をより豊かにすることを目的として、館事業への理解が深まり、幅広い角度で美術館に親しんでもらえるような催しを開催する。

一般向けの展示解説や講座、制作を体験するワークショップや作家によるトーク、子供向けの鑑賞教室などを行い、多様な学習機会を提供する。また、県内各地で移動展を行い、鑑賞の場を提供する。

- (2) 県内全ての児童生徒に鑑賞の楽しさを届けることを目的として、学校教育との連携を進める。

授業や遠足による美術館利用の促進、学芸員による解説や授業の実施、教員や大学との連携による鑑賞教材の開発と実践などを通じて、美術館と学校を結ぶ鑑賞教育の裾野を広げていく。

- (3) 子供から大人まで、より多くの人々が美術館で楽しく過ごすことのできる、親しめる美術館となることを目的として、美術館ボランティアによる県民との協働を推進する。

ボランティアが、独立した自主的な組織運営が可能になるようにサポートし、所蔵作品展に関連した独自のイベントの企画・実施をはじめとして、美術館を取り巻く多様化するニーズや課題に幅広く対応していく協働体制づくりを行う。

展覧会事業

3

3-1 常設展 令和7年度

開館35周年記念展として全ての展示室を使って「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」を開催したのち、「所蔵作品展2025年度」として、I・IIの2期に分けて開催した。展示室1、2、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径を会場に、それぞれ「徳島のたからもの」、「空間往来」というテーマを設けた。

この他、展示室3において所蔵作品による特集展示「没後5周年 菊畑茂久馬展」、「子連れdeアートWEEK 0歳からのワイワイびじゅつかん」を開催した。

（出品リストの凡例）

国内作家は五十音順、国外作家はアルファベット順。作品データは、作家名、作品名、制作年、技法・材質、寸法（cm）。平面作品の寸法は縦×横。立体作品の寸法は高さ×幅×奥行きを原則とし、一部h.（高さ）で表したものがある。版画の寸法は原則としてイメージ・サイズだが、〒が付されたものはシート・サイズとした。

● 会期

令和7年4月26日[土]-8月31日[日](111日間)

● 休館日

月曜日(5月5日、7月21日、8月11日を除く)、5月7日[水]、7月22日[火]

● 概要

当館は1990年11月3日に開館し、本年で35周年を迎えた。開館以来、「人間」をテーマとする近代・現代の絵画や彫刻、「現代版画」、「徳島ゆかりの美術」という三つの柱に基づき、一貫して作品の収集を行ってきた。本展では、その中核である「人間像コレクション」と学芸員の職務に焦点を当て、全館規模での展示を行った。

当館には、ここでしか出会えない個性的な作品が数多く収蔵されている。学芸員たちは、これらの愛しき「人間像コレクション」=「キミ」と、これまでどのように向き合ってきたのか。本展では、一般的に学芸員の仕事として挙げられる「収集」「保存」「調査研究」「展示」「教育普及」の5つの章を軸に構成し、日々の仕事の中で得た発見や具体的なエピソードを交えながら、「キミ」の多面的な魅力を紹介した。展示は次の5つのコーナーで構成された。

「♡収集 キミがほしい」

開館前の準備室時代から近年までの収集活動の変遷を概観した。

「♡保存 キミを未来に残すために」

美術館における作品保存の工夫や、近年の修復事例を紹介した。

「♡調査研究 キミのことをもっと知りたい」

調査研究の重要性と、その具体的な取り組みを取り上げた。

「♡展示 キミの晴れ舞台を作る」

展覧会ができてあがるまでの過程や、作品に合わせた展示の裏側を紹介した。

「♡教育普及 みつけてほしい！キミの魅力」

当館がこれまで取り組んできた教育普及活動を、関連作品とともに振り返った。

また、関連企画として「キミ」への「ラブレター」の募集・配布を試みた。これは文化の森館内の職員らの協力により執筆されたものである。来場者も自由にラブレターを書くことができる参加型の企画とし、書かれた「ラブレター」は他の来場者に配布した。

さらに、学芸員の仕事を実際に体験できるイベントとして、「作品の展示体験ワークショップ」および「保存のお仕事体験ワークショップ」を開催した。加えて、ユニバーサル・ミュージアム事業の鑑賞サポートツールとして活用している、触図の制作を体験する「あの手この手で触図づくり」や、アートイベントサポーターとの協働で「あの手この手で交流トーク」も実施した。

現在、当館では長年活動を支えてきた学芸員の退職が続き、次世代への交代期にある。35年以上にわたり積み上げてきた活動の蓄積をいかに活用し、未来へとつないでいくべきか。これまでの歩みを振り返るとともに、パブリックコレクションが持つ公共的な価値と重要性を改めて見つめ直す機会とした。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 観覧料

一般 200円(160円)

高校・大学生 100円(80円)

小学・中学生 50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

図録:B5判 カラー 36ページ

出品リスト:A4判4ページ(A3判2つ折り1枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-8「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

10,660人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・村瀬成幸「開館35周年記念展、愛しき人間像を紹介 徳島県立近代美術館で」『朝日新聞』 令和7年4月26日

・「徳島新聞ニュース」四国放送 令和7年4月26日

・中川優「「人間」をテーマに描いた作品がずらり」『徳島新聞』 令和7年5月4日

・「美術館からのエッセイ 開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」『寄

稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年4月

・「美術館からのエッセイ 開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年5月

・尾野益大「開館35年の県立近代美術館 他館貸し出し、ピカソのドラ・マール1位 伊原宇三郎(徳島市出身)も8位」『徳島新聞』 令和7年8月27日

・久保高茂「若手学芸員の比率急増 継承と新たな視点で活気」『徳島新聞』 令和7年10月22日

●担当学芸員

久米千裕、笠井優



●出品リスト 開館35周年記念展「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」

Crazy for You ♡-Curator's Work and Beloved Human Figure Collection-

展示室1、屋外展示場、美術館ロビー

■♡収集 キミがほしい

キミと共に始まった 1985年度～1989年度の収集活動

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
ジャック・リブシッツ	クラリネットを持つアルルカン	1919年	ブロンズ	73.0×24.8×24.1
アリスティード・マイヨール	着衣のボモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0
ジュール・パスキン	下着の裸婦	1926年	油彩 キャンバス	92.0×73.0
パブロ・ガルガーリョ	キキ・ド・モンパルナスのマスク	1928年	ブロンズ	20.5×18.0×15.7
吉原治良	彫刻と花鳥	1931年	油彩 キャンバス	53.3×46.0
パブロ・ピカソ	ドラ・マールの肖像	1937年	油彩 キャンバス	55.0×38.0
元永定正	裸婦	1952年	油彩 キャンバス	72.6×60.6
泉茂	逃げたスベード	1955年	油彩 キャンバス	100.1×80.4
ジャン・アルプ	ダンスの華麗さ	1960年	ブロンズ	121.2×74.2×10.5
横尾忠則	お堀	1966年	アクリル絵具 キャンバス	45.5×53.0
	よだれ	1966年	アクリル絵具 キャンバス	53.0×45.5
	カミソリ	1966年	アクリル絵具 キャンバス	53.0×45.5

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
サルバドール・ダリ	女の胸像(回顧された)	1977年	ブロンズ、その他	74.0×67.0×27.0
淀井敏夫	渚	1978年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	左(女):193.0×94.0×142.0 右(男):180.0×84.0×122.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	左(イヴ):217.0×92.0×79.0 右(アダム):219.0×108.0×65.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
文化の森総合公園建設に関する写真資料				
徳島県立近代美術館が所蔵する彫刻作品の輸送に関する写真資料				
徳島県立近代美術館収集作品展に関する会場風景写真資料				

キミを収集し続けること 1990年度～1999年度の収集活動

村上華岳	踊り之図	1917年	絹本着色	118.7×41.8*a
堀井香坡	童女	1925年	絹本着色	116.0×118.0*a
菊池契月	虫撰	1930年頃	絹本着色	93.5×89.0*a
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0
鎗木清方	夏姿	1939年	絹本着色	128.5×41.5*a
フェルナン・レジェ	美しい自転車乗り	1944年	油彩 キャンバス	112.0×127.0
下村良之介	よろこび	1951年	顔料 板	120.0×120.0*b
三上誠	無題(灸点シリーズ)	1967-68年頃	紙本着色	121.0×91.5*b
星野真吾	空しいポーズ	1980年	紙本着色	151.5×90.9*b
ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2

キミとの出会いはタイミング 2000年度～2009年度の収集活動

棟方志功	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 1. アンデレ 案出禮の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 2. ヨハネ 世跳の柵	1953年	木版 紙	87.5×34.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 3. ペテロ 遍天呂の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 4. タダイ 多駄伊の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵(不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵)〉 5. フィリポ 邊梨保の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0*a

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
棟方志功	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 6. バルトロマイ 波流戸呂舞の柵	1953年	木版 紙	88.0×34.0* ^a
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 7. ヤコブ 也胡武の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0* ^b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 8. マタイ 馬鯛の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.0* ^b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 9. アルバヨの子ヤコブ 或婆夜の子 屋仔舞の柵	1953年	木版 紙	88.0×33.5* ^b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 10. トマス 登増の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.5* ^b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 11. シモン 指聞の柵	1953年	木版 紙	87.0×33.0* ^b
	版画集〈耶蘇十二使徒板画柵（不來方頌、大恩世主十二使徒板画鏡柵）〉 12. マフテヤ 摩手也の柵	1953年	木版 紙	87.5×33.0* ^b
ジャン・シャオガン（張曉剛）	ファミリー・ポートレイト《全家福》	1993年	油彩 キャンバス	99.7×129.3
奈良美智	The Little Pilgrims (Night Walking)	1999年	アクリル、ラッカー、綿布、FRP	各72.0×50.0×42.5(5体組)

多様な表現のキミを求めて 2010年度～2019年度の収集活動

青木千絵	BODY 08-1	2008年	漆、麻布、発泡スチロール（乾漆技法）	317.0×50.0×55.0
林勇気	light/shadow	2019年	HDビデオ (Color/Silent) 7min7sec/7min11sec	

キミの収集はいつまでも続く 2020年度以降の収集活動

村上早	めぐらす	2015年	リフトグラント・エッチング、アクアチント ト 雁皮紙、紙	120.0×150.0* ^b
	かくす	2016年	リフトグラント・エッチング、アクアチント、 スピットバイト（色版）、エッチング 雁 皮紙、紙	118.5×149.5* ^a
	いぞん	2018年	リフトグラント・エッチング、アクアチント、 スピットバイト（色版） 雁皮紙、紙	118.0×150.0 * ^a
	嫉妬とどく	2020年	リフトグラント・エッチング、アクアチント、 スピットバイト（色版） 雁皮紙、紙	130.0×130.0* ^a
	おどり	2021年	リフトグラント・エッチング、アクアチント、 スピットバイト 雁皮紙、紙	149.5×117.5* ^b
	はおる	2024年	リフトグラント・エッチング、スピットバイ ト 雁皮紙、紙	149.5×117.5* ^b

展示室1

■♡保存 キミを未来に残すために
キミが眠る場所

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
アントニ・クラーク	子供と魚	1951年	油彩 板	100.2×73.5
マックス・エルンスト	鳩のように	1955年	油彩 板	61.0×50.0
ジャン・デュビュッフェ	熱血漢	1955年	油彩 キャンバス	65.0×50.5
カレル・アペル	裸婦	1957年	油彩 キャンバス	129.3×194.4
チャック・クロース	マルタ／フィンガーペインティング／ホワイト	1986年	油性インク、アクリル絵具 キャンバス	61.2×51.2
収蔵庫で使用される道具（中性紙保存箱、薄葉紙、ほか）				

キミを守るための道具

展示室で使用される道具（昆虫調査用トラップ、毛髪式温湿度計、ほか）

キミを運ぶ

パブロ・ピカソ	赤い枕で眠る女	1932年	油彩 キャンバス	38.0×46.0
	パブロ・ピカソ〈赤い枕で眠る女〉輸送用箱			99×106×24

キミが長生きできるように

高崎剛	窓辺の金魚鉢と娘（仮題）	1928年	油彩 キャンバス	93.0×54.0
尾藤豊	復活	1961年	油彩 キャンバス	132.0×227.7
山下菊二	憑憑CUBA	1968年	油彩 コラージュ キャンバス	119.0×148.4
福岡道雄	鮎になれるか	1984年	ブロンズ	11.0×24.0×26.0
高崎剛〈窓辺の金魚鉢と娘（仮題）〉修復報告				
尾藤豊〈復活〉修復報告				
山下菊二〈憑憑CUBA〉修復報告				
福岡道雄〈鮎になれるか〉修復報告				

展示室2

■♡調査研究 キミのことを知りたい
キミのことを知るための道具

作品調査で使用する道具（白手袋、メジャー、巻き尺、ほか）

遺族と出会い、キミにたどり着く

久米福衛	婦人像	1918年	油彩 キャンバス	45.5×33.5
石丸一	自画像	1952年	油彩 キャンバス	45.5×38.8

コレクションは“名品”ばかり? キミのことをもっと知るための資料

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
伊原宇三郎	二人	1930年	油彩 キャンバス	162.4×145.7
	二人(習作)	1930年	油彩 キャンバス	161.0×143.7
	「二人」のための下絵(1)	1930年頃	鉛筆 紙	30.5×40.0*a
	「二人」のための下絵(2)	1930年頃	鉛筆 紙	32.4×46.9*a
	「二人」のための下絵(3)	1930年頃	鉛筆 紙	32.5×46.9*a
	「二人」のための下絵(4)	1930年頃	鉛筆 紙	28.1×17.3*b
	「二人」のための下絵(5)	1930年頃	鉛筆 紙	18.1×23.0*b
	「二人」のための下絵(6)	1930年頃	鉛筆 紙	23.0×18.1*b
黒崎彰	赤い闇6	1970年	木版 和紙	80.0×55.0
	黒崎彰・資料	黒崎彰作品原板4点	シナベニヤ板	91.5×63.4

キミの研究が展示に繋がる

幸田暁治	リズム1	1965年	紙本着色	130.5×94.2*a
山下菊二	死んだ人がわたしを産んでくれた(昭和40年7月27日母死す)	1966年	油彩 合板	88.2×173.5
幸田暁治	花売り	1970年	紙本着色	181.8×130.1*b

展示がキミの研究に繋がる

岡本信治郎	ミノートルの死	1974年	アクリル絵具 キャンバス	162.1×130.4
-------	---------	-------	--------------	-------------

美術館ロビー、展示室3

■♡展示 キミの晴れ舞台を作る
展覧会ができるまで

流政之	サキモリ	1988年	ブロンズ	167.0×35.5×29.5
-----	------	-------	------	-----------------

キミの高さ、どうやって決める?

パブロ・ピカソ	版画集〈流砂〉 I 仕事をする彫刻家	1964年	アクアチント 紙	38.0×27.5*c
	版画集〈流砂〉 III 鏡の前の二人の女	1964年	アクアチント エッチング ント スクレーパー 紙	38.0×27.5*c
	版画集〈流砂〉 V 彫刻家と彫刻	1964年	アクアチント エッチング ント 紙	38.3×27.5*c
	版画集〈流砂〉 VII ひげ男の頭部	1964年	シュガー・アクアチント 紙	37.3×27.0*c
	版画集〈流砂〉X 彫刻家	1964年	アクアチント 紙	38.3×27.5*c
	版画集〈流砂〉 II 画家と長い髪のモデル	1965年	アクアチント 紙	38.3×27.5*c

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
パブロ・ピカソ	版画集〈流砂〉 IV イーゼルの絵の前に 立つ画家とモデル	1965年	アクアチント 紙	38.1×27.5*c
	版画集〈流砂〉 VI 画家と肘をつくモデル	1965年	アクアチント ドライポイント 紙	38.0×27.5*c
	版画集〈流砂〉 VIII 肘をつく裸婦	1965年	アクアチント 紙	38.3×27.5*c
	版画集〈流砂〉 IX 彫刻台の前に立つ彫 刻家とひげの目撃者	1965年	アクアチント 紙	38.3×27.5*c
ヘンリー・ムーア	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉I	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*d
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉II	1980年	エッチング、アクアチント、ルーレット 紙	25.1×34.6*d
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉III	1980年	エッチング、アクアチント 紙	21.9×24.5*d
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉IV	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*d
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉V	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*d
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉VI	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*d
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉VII	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*d

重たいキミ、どうやって展示している？

アントニー・ゴームリー	レバー	1992年	鉄	172.0×62.5×32.5
-------------	-----	-------	---	-----------------

不思議な形のキミ、どうやって展示している？

マグダレーナ・アバカノヴィツ チ	12体の立像(群衆シリーズ)	1989-90年	黄麻布、樹脂	各175.0×60.0×30.0(12体組)
---------------------	----------------	----------	--------	------------------------

小さなキミ、どうやって展示している？

アルベルト・ジャコメッティ	女性立像	1952年	ブロンズ	49.0×9.5×17.0
---------------	------	-------	------	---------------

大きなキミ、どうやって組み立てる？

マイク アンド ダグ・スター ン	ゴシック(合板)	1989-90年	フィルム、印画紙、釘 合板	304.8×609.6
---------------------	----------	----------	---------------	-------------

キミの個性に合わせて

横山大観	樹下苦行	明治後期	絹本着色	117.2×49.9*d
梶原緋佐子	投扇	大正後期- 昭和初期	絹本着色	各172.0×148.0(二曲一双)*c

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
中村大三郎	二人舞妓	1926年	絹本着色	各143.2×56.5(双幅)*c
堂本印象	熊野灘	1944年	絹本着色	168.3×372.6(六曲一隻)*d
幾 嘸	Time to Fly	1970年	油彩 キャンバス	242.0×182.0
	版画集(RAINBOW PASSES SLOWLY) 13. RAINBOW NIGHT 6	1971年	シルクスクリーン 紙	73.0×54.0*c
	版画集(RAINBOW PASSES SLOWLY) 14. RAINBOW NIGHT 7	1971年	シルクスクリーン 紙	73.0×54.0*d
ロバート・ロンゴ	無題	1988年	木炭、黒鉛 紙	243.8×152.4*c
	無題	1988年	木炭、黒鉛 紙	243.8×152.4*d
トーマス・ルフ	ポートレート (Andrea Knobloch)	1990年	プレキシグラスでマウントされたチバ クロームプリント	210.0×165.0*c
トーマス・シュトゥート	アムステルダム国立博物館 1	1990年	タイプCプリント	119.5×168.5*d

「キミに夢中♡」展の舞台裏

展示作業で使用する道具(ハンドリフト、パレット、ほか)

展示室3

■♡教育普及 知ってほしい!キミの魅力
キミのことをもっと伝えたい

三宅克己	樹陰	1938年	水彩 紙	41.0×53.2*d
	箱根大平台	1940-50年代	水彩 紙	33.0×45.5*c
アンディ・ウォーホル	多色による4つのマリリン	1979-86年	アクリル絵具、シルクスクリーン キャンバス	92.0×70.8
片岡球子	浮世絵師安藤広重	1981年	紙本着色	90.9×72.7*c
デイヴィッド・ホックニー	グレゴリーのイメージ	1985年	リトグラフ、コラージュ 紙	198.1×88.9*d

作者にキミを語ってもらう

横尾忠則	芸術の浄化	1990年	油彩 キャンバス	162.0×130.0
唐仁原希	a portrait of a boy	2013年	油彩 キャンバス	185.0×145.0

美術館に来るみんなとキミの出会い

アレクサンダー・コールドー	角ばった肩の生きもの	1974年	彩色メタル	190.5×96.5×68.6
ユン・ソクナム(尹錫男)	ベンチ	1992-2004年	ミクストメディア	116.0×151.0×45.0
徳島県立近代美術館で過去に制作したこともワークシート				

学校とキミをつなぐ

萩原守衛	労働者	1909年	ブロンズ	h.107.0
------	-----	-------	------	---------

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
河井清一	休み日	1928年	油彩 キャンバス	194.5×130.3
安井曾太郎	宇佐美氏像	1943-45年	油彩 キャンバス	71.7×59.5
アンリ・マティス	版画集〈ジャズ〉2.サーカス	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1*a
	版画集〈ジャズ〉8.イカルス	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1*a
	版画集〈ジャズ〉 10.ピエロの葬式	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1*a
	版画集〈ジャズ〉 11.空中ブランコ	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1*b
	版画集〈ジャズ〉 12.水槽を泳ぐ女	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1*b
	版画集〈ジャズ〉 14.カウボーイ	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1*b
大沢昌助	書きものをする娘	1957年	油彩 キャンバス	100.0×72.7
ホルスト・アンテス	青いカーテンのある頭部	1981-82年	アクリル絵具、木 板	181.5×188.9
浜田知明	檻	1983年	ブロンズ	22.0×16.0×18.5
ジョエル・フィッシャー	(題名なし)	1988年	ブロンズ、手漉紙に素描	228.6×119.4×30.5(立体) 17.1×16.1(素描)

誰もが自分らしくキミと

橋本関雪	五柳先生	大正初期	絹本着色	各159.5×351.0(六曲一双)*d
川島猛	N.Y.-D.T.-10-1966	1965-66年	アクリル絵具 キャンバス	232.3×231.9*c
高山辰雄	野辺	1982年	紙本着色	130.0×212.0*c
アンソニー・グリーン	回顧作品その2ーピンポン・ ルーム, 1960ー	1986年	油彩 キャンバス	206.6×234.0
ユニバーサルミュージアム事業に関する資料(過去に制作した教材、イベント風景動画、ほか)				

*aを付したものは6月29日[日]まで、*bを付したものは7月1日[火]から展示した。

*cを付したものは7月6日[日]まで、*dを付したものは7月8日[火]から展示した。

● 会期

令和7年9月6日[土]-11月30日[日](74日間)

● 休館日

月曜日(9月15日、10月13日、11月3日、11月24日を除く)、9月16日[火]、10月14日[火]、11月4日[火]、11月25日[火]

● 概要

開館35周年を記念し、「徳島ゆかりの美術」「描かれた徳島」「戦後80年－画家と戦争」「現代版画」「珠玉の海外美術」の5つのセクションから成る総合テーマ「徳島のたからもの」を設定し、コレクションの魅力を紹介した。各章の内容は以下の通り。

会期中、展示室2で「[大阪・関西万博特別連動企画]浮世絵の華－原安三郎コレクション－」を同時開催として実施した(令和7年9月6日[土]-10月13日[月・祝])。「珠玉の海外美術」は10月15日から展示室2で開催した。

(1) 徳島ゆかりの美術

日本の洋画初期に活動した原鵬雲や守住勇魚、西洋の伝統的な絵画理論と技法を学び、端正で古典的な裸婦像を描いた伊原宇三郎、水彩画の普及に尽力した三宅克己など、日本近代美術史に大きな足跡を残した県人作家の作品を展示した。

(2) 描かれた徳島

徳島には、鳴門の渦潮や祖谷の蔓橋といった景勝地のほか、阿波人形浄瑠璃、阿波踊りなど豊かな郷土芸能が息づいている。本章では故郷、阿南の海景を描いた県人作家、日下八光のほか、岡山に生まれ旅の画家とも称された京都画壇の大家、池田遙邨の作品などを展示した。

(3) 戦後80年－画家と戦争

本年がアジア太平洋戦争の終結から80年の節目に当たることを踏まえ、森堯之、伊原宇三郎、山下菊二の県人作家三名の作品に着目し、戦時期にあって彼らが自らの表現とどのように向き合ったのか、その軌跡をたどった。

(4) 現代版画

サルバドール・ダリが、シュルレアリストたちの間で広く読まれた19世紀フランスの詩人、ロートレアモンの詩集『マルドロールの歌』に寄せた同名の版画集を展示した。

(5) 珠玉の海外美術

キュビズム、ポップアートなど20世紀美術の主要な動向に沿って活躍した作家たちのほか、幼少期にホロコーストを経験し、

その痛みをペンディングナイフで刻印したユダヤ人の作家、ローズマリー・コーツィーの大作などを展示した。

● 観覧料

一般	200円(160円)
高校・大学生	100円(80円)
小学・中学生	50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー 簡易印刷

出品リスト:A4判8ページ(A3判2つ折り2枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-8「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

9,946人

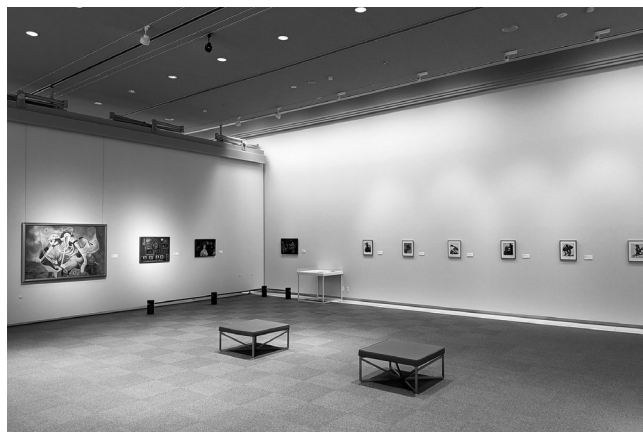
*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

- ・「戦後80年 戦争が画業に影響 徳島出身画家3人」『徳島新聞』 令和7年7月30日
- ・「美術館からのエッセイ 徳島のたからもの」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年9月
- ・塚本麻莉「地域レビュー(四国)『神山アーティスト・イン・レジデンス2025』、『コレクション展戦後80年－画家と戦争』(徳島県立近代美術館)」『美術手帖(ウェブ版)』 令和8年1月24日

● 担当学芸員

三宅翔士、竹内利夫、井手迫蒼



「戦後80年－画家と戦争」

●出品リスト 2025年所蔵作品展I「徳島のたからもの」

展示室1

■徳島ゆかりの美術

徳島ゆかりの美術

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
石丸一	瓶(仮称)	1950年代	油彩 キャンバス	71.0×59.0[浦上麗氏 寄贈]
伊原宇三郎	白衣を纏える	1928年	油彩 キャンバス	100.6×81.4
清原重以知	ロシヤの女優	1916年	油彩 キャンバス	65.2×65.2[清原美弥子氏 寄贈]
	三宅克己先生	1940年	油彩 キャンバス	53.1×45.3[鈴木利幸氏 寄贈]
島あふひ	ホザナ	1969年	油彩 キャンバス	90.0×73.0[内藤弓弦氏 寄贈]
富永勝重	煙突(習作)	1915年	油彩 キャンバス	45.0×59.5[富永加代氏 寄贈]
	煙突	1915年	油彩 キャンバス	52.8×72.5[富永加代氏 寄贈]
原鵬雲	楠公桜井駅図	1877年	油彩 綿布 和紙 板	57.0×77.0[為積隆史氏 寄贈]
板東敏雄	ヴァイオリンを持つ婦人像	1930年代	油彩 キャンバス	81.0×65.0
廣島晃甫	夕暮れの春	1920年	絹本着色 額装	198.0×117.0*a
	蓮	1939年	絹本着色 額装	124.1×185.5*a
	赤装女	1941年	絹本着色 額装	165.0×105.0*b
	秋圃	1950年	絹本着色 額装	109.5×152.5*b[植垣恵子氏 寄贈]
三宅克己	裾野の溪流	制作年不詳	水彩 紙	33.5×45.5*b
	名張川の倒影	1942年頃	水彩 紙	34.4×50.7*a
	北米加州サンデゴの公園	1928年	水彩 紙	32.2×49.0*a
	ハンプステッド・ヒース(ロンドン)	1930年	水彩 紙	45.2×60.0*b
守住勇魚	木蓮	明治期	油彩 紙	25.0×34.7
	急須と湯呑	明治期	油彩 紙	26.0×35.5

描かれた徳島

靉 暉	にじ・あわおどり	1990年	シルクスクリーン 紙	45.0×65.0*a[徳島市文化振興公社 寄贈]
池田遙邨	鳴門	1949年	紙本着色	218.5×139.7*b
下保昭	峡	1991-92年	紙本着色	97.0×162.1*a
日下八光	阿南の海	1927年	絹本着色 額装	165.0×175.0*a
久米福衛	椿泊風景	制作年不詳	油彩 キャンバス	44.0×110.0[山本壽氏 寄贈]
黒崎彰	阿波の鳴門・とくしま	2000年	木版 紙	32.0×45.0*b[徳島市文化振興公社 寄贈]
	阿波の藍・とくしま	2000年	木版 紙	45.0×32.0*a[徳島市文化振興公社 寄贈]
谷口董美	蔓橋	1943年	木版 紙	33.5×26.4*a[谷口幸枝氏 寄贈]
	農村舞台	1951年頃	木版 紙	49.5×69.5*b[谷口幸枝氏 寄贈]
	阿波踊	1951年頃	木版 紙	47.5×66.5*a[谷口幸枝氏 寄贈]
	阿波踊	1951年頃	木版 紙	25.9×19.3*b[谷口幸枝氏 寄贈]
林雲谿	剣山	1971年	紙本墨画着色	153.5×185.2*b
山下菊二	辻風景(A)(仮題)	1938年	墨 紙	20.0×23.0[山下昌子氏 寄贈]

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
山下菊二	辻風景(B)(仮題)	1938年	墨 紙	20.0×22.5[山下昌子氏 寄贈]
	辻風景(C)(仮題)	1938年	墨 紙	20.0×23.4[山下昌子氏 寄贈]
	阿波踊り(仮題)	1968年	鉛筆 紙	24.0×14.4[山下昌子氏 寄贈]
	わたしと鳥と音楽と (1)木偶人形芝居	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2[山下昌子氏 寄贈]
	わたしと鳥と音楽と (2)恵比寿まわし	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2[山下昌子氏 寄贈]
横尾忠則	阿波幻想	1994年	シルクスクリーン 紙	57.3×40.0*b[徳島市文化振興公社 寄贈]

戦後80年－画家と戦争

伊原宇三郎	〈陰〉に関連するもの(A)	制作年不詳	鉛筆 紙(4432)	16.8×18.1[伊原乙彰氏 寄贈]
	〈陰〉に関連するもの(B)	制作年不詳	鉛筆 紙(4434)	15.6×25.9[伊原乙彰氏 寄贈]
	〈陰〉に関連するもの(C)	制作年不詳	鉛筆 紙	16.8×19.4[伊原乙彰氏 寄贈]
	戦場風景(仮称)	1930年代後半	油彩 合板	27.8×40.1[八島慎治氏 寄贈]
	汾河を護る(夜は不眠の警備)	1938年	油彩 キャンバス	132.5×101.5
	陰	1946年	油彩 キャンバス	90.0×116.0
福沢一郎	〈国引き〉のデッサン(青)	1943年	色鉛筆 紙	14.6×20.7[山下昌子氏 寄贈]
	〈国引き〉のデッサン(黒)	1943年	鉛筆 紙	14.3×20.7[山下昌子氏 寄贈]
森堯之	フィンガー・ピクチュア	1938年	ポスターカラー 紙	8.8×15.9[増田紀代子氏 寄託]
	ロシア教会	1941年	油彩 キャンバス	40.8×31.9[寄贈作品]
山下菊二	マルドロールの歌 No.1 魔帝	1975-78年頃	フォトグラビュール 紙	37.5×28.5*a[山下昌子氏 寄贈]
	マルドロールの歌 No.10 空の壁	1975-78年頃	フォトグラビュール 紙	38.0×28.5*b[山下昌子氏 寄贈]
	戦中風景 死せる兵と少女	制作年不詳	インク 紙	18.4×24.6*a
	戦中風景 農民兵	制作年不詳	インク 紙	12.4×24.6*b
	戦中風景 少女	制作年不詳	インク 紙	18.4×24.6*a
	戦中風景 倒れた男	制作年不詳	インク 紙	18.4×24.6*a
	少女二人	制作年不詳	鉛筆 紙	18.5×21.9*a[山下昌子氏 寄贈]
	農民と兵士	制作年不詳	鉛筆 紙	18.4×21.9*b[山下昌子氏 寄贈]
	戦中風景 男	戦後	インク 鉛筆 紙	16.6×24.6*b[山下昌子氏 寄贈]
	戦中風景 3人の男	戦後	インク 鉛筆 紙	18.3×24.6*b[山下昌子氏 寄贈]
	福沢一郎〈憎悪沼〉の模写 (A)	1946年頃	コンテ 紙	27.0×38.2[山下昌子氏 寄贈]
	福沢一郎〈憎悪沼〉の模写 (B)	1946年頃	コンテ 紙	27.1×38.5[山下昌子氏 寄贈]
	マルドロールの歌1	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a
	マルドロールの歌2	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a
	マルドロールの歌3	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a
	マルドロールの歌4	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a
	マルドロールの歌5	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
山下菊二	マルドロールの歌6	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a
	マルドロールの歌7	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*a
	マルドロールの歌8	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*b
	マルドロールの歌9	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*b
	マルドロールの歌10	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*b
	マルドロールの歌 番外1	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*b
	マルドロールの歌 番外2	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*b
	マルドロールの歌 番外3	1947年	ペン、墨 紙	27.8×22.7*b
	少年祭に走る	1964年	油彩 獣毛 コラージュ	54.8×79.5
	骨肉病んで	1971年	油彩 キャンバス	112.0×162.1
	わたしと鳥と音楽と (5)昭和15年～南支戦線	1974年	油彩 キャンバス	44.5×65.2[山下昌子氏 寄贈]
	わたしと鳥と音楽と (6)娼家の胡弓ひき老人	1974年	油彩 キャンバスボード	44.5×65.2[山下昌子氏 寄贈]
	スケッチブック〈母・兄・その他 新旧デッサン〉	1968-85年頃		41.3×32.0[山下昌子氏 寄贈]
山下菊二・資料	マルドロールの歌 廃帝 エッチング原版	制作年不詳	銅板	27.7×21.3*a[山下昌子氏 寄贈]
	マルドロールの歌 空の壁 エッチング原版	制作年不詳	銅板	27.9×20.9*b[山下昌子氏 寄贈]
	〈マルドロールの歌〉解題	制作年不詳	ペン 紙	38.4×27.0[山下昌子氏 寄贈]
	ノート〔マルドロールの歌〕	1939年頃	インク 紙	20.0×16.3[山下昌子氏 寄贈]

■現代版画

サルバドール・ダリ 9月6日[土]-10月5日[日]

サルバドール・ダリ	版画集〈マルドロールの歌〉1	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.1
	版画集〈マルドロールの歌〉2	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.1
	版画集〈マルドロールの歌〉3	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.6×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉4	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.3×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉5	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.4×17.0
	版画集〈マルドロールの歌〉6	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.3×17.3
	版画集〈マルドロールの歌〉7	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉8	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉9	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.7×17.3
	版画集〈マルドロールの歌〉10	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.0
	版画集〈マルドロールの歌〉11	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉12	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉13	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉14	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉15	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.4×17.0
	版画集〈マルドロールの歌〉16	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.1
	版画集〈マルドロールの歌〉17	1974年	エリオグラヴィール、ドライポイント	紙	22.5×17.1

サルバドール・ダリ2 10月7日[火]-11月3日[月・祝]

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
サルバドール・ダリ	版画集〈マルドロールの歌〉18	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉19	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.3×17.1
	版画集〈マルドロールの歌〉20	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉21	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉22	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉23	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉24	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉25	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉26	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉27	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.1
	版画集〈マルドロールの歌〉28	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.4×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉29	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.1
	版画集〈マルドロールの歌〉30	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉31	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 22.5×17.2
	版画集〈マルドロールの歌〉32	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.1 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉33	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.7 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉34	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.1 ㊦

サルバドール・ダリ3 11月5日[水]-11月30日[日]

サルバドール・ダリ	版画集〈マルドロールの歌〉35	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.6×25.2 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉36	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.8×25.1 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉37	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.0 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉38	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.0 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉39	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.8×25.0 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉40	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.1 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉41	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.5×25.1 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉42	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.5×25.1 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉43	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.6×25.0 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉44	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.0 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉45	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 33.3×25.3 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉46	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 33.3×25.2 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉47	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.0 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉48	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 33.0×25.3 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉49	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 33.2×25.3 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉50	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 33.2×25.3 ㊦
	版画集〈マルドロールの歌〉51	1974年	エリオグラヴェール、ドライポイント	紙 32.7×25.0 ㊦

展示室2

■人間像

珠玉の海外美術 10月15日[水]-11月30日[日]

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
チャック・クロース	マルタ／フィンガーペインティング／ホワイト	1986年	油性インク、アクリル絵具 キャンバス	61.2×51.2
パブロ・ガルガーリョ	キキ・ド・モンパルナスのマスク	1928年	ブロンズ	20.5×18.0×15.7
アルベール・グレーズ	台所の母子	1911年	油彩 キャンバス	119.0×95.0
デイヴィッド・ホックニー	画学生；ピカソへのオマージュ	1973年	エッチング、アクアチント 紙	57.5×44.0
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0
イヴ・クライン	空気の建築：ANT 119	1961年	顔料、合成樹脂 紙、キャンバス	262.0×200.0
ローズマリー・コーツィー	(題名なし)	1983年	アクリル キャンバス	244.5×184.5
フェルナン・レジェ	美しい自転車乗り	1944年	油彩 キャンバス	112.0×127.0
ジュール・バスキン	下着の裸婦	1926年	油彩 キャンバス	92.0×73.0
パブロ・ピカソ	赤い枕で眠る女	1932年	油彩 キャンバス	38.0×46.0
	ドラ・マールの肖像	1937年	油彩 キャンバス	55.0×38.0
マン・レイ	ドラ・マール	1980年	ゼラチン・シルバープリント	29.6×23.6
アンディ・ウォーホル	多色による4つのマリリン	1979-86年	アクリル絵具、シルクスクリーン キャンバス	92.0×70.8
トム・ウェッセルマン	モニカと透明なカーテン	1987年	エナメル系塗料 アルミニウム	165.3×192.6

■美術館ロビー

ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
アリスティード・マイヨール	着衣のボモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場

淀井敏夫	渚	1978年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	左(イヴ):217.0×92.0×79.0 右(アダム):219.0×108.0×65.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	左(女):193.0×94.0×142.0 右(男):180.0×84.0×122.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

*aを付したものは10月19日[日]まで、*bを付したものは10月21日[火]から展示した。

● 会期

令和7年12月6日[土]-令和8年4月5日[日](98日間)

● 休館日

月曜日(1月12日、2月23日を除く)、年末年始(12月30日[火]-1月4日[日])、1月13日[火]、2月24日[火]

● 概要

(1)「空間往来」

絵画の中に描かれた空間や、彫刻の周囲に広がる空間に注目した展覧会である。展覧会タイトル「空間往来」には、「それぞれの作品がもつ独自の空間に入り込んだような感覚で楽しんで見てもらいたい」という思いを込めた。

会場は三つのコーナーで構成し、多角的な視点から作品を紹介した。第一の「絵画と空間—遠近法をめぐる—」では、遠近法の仕組み自体を追求した高松次郎や、あえて強調や歪みを取り入れることで独自の表現を生み出した四宮金一ややなぎみわら現代作家に焦点を当てた。第二の「キュビスム—空間表現の革命—」では、伝統的な視覚体系を解体したキュビスムの革新性について、アルベール・グレーズやパブロ・ピカソらの作品を通じて紹介した。第三の「彫刻と空間」では、彫刻と周囲に生じる空間の関係性を考察した。三次元の造形物である彫刻は、配置されることで周囲に影響を及ぼし、独自の空間を創り出す。ここではヘンリー・ムーア、建畠覚造、堀内正和らの作品を展示した。

(2)「現代版画」

全体テーマ「空間往来」に基づき、版画における空間表現を検討した。「白と黒の世界1」「白と黒の世界2」「風景版画1」「風景版画2」の4期に分けて、モノトーンの対比が生み出す奥行きや、作家ごとの風景表現の違いを提示した。

(3)「徳島ゆかりの美術」

全体テーマ「空間往来」に基づき、「空間の作り方」と題し、洋画と日本画における造形意識の違いに注目した。西洋で発展し、江戸時代後期に日本へ伝わり多大な影響を与えた「遠近法」に対し、東洋においても独自の空間表現が追求されてきた。本コーナーでは、三宅克己、伊原宇三郎、廣島晃甫ら徳島ゆかりの作家の作品を通じ、東西における空間構成の妙を紹介した。

● 観覧料

一般 200円(160円)

高校・大学生 100円(80円)

小学・中学生 50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー 簡易印刷

出品リスト:A4判4ページ(A3判2つ折り1枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-8「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

5,400人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

- ・「美術館からのエッセイ 空間往来」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年12月
- ・「情報番組 ステップ」ケーブルテレビ徳島 令和7年12月15日
- ・「“あい”ランドARTギャラリー アルベルト・ジャコメッティ〈女性性立像〉」『いのち輝く』111号 令和7年1月 pp.18-19
- ・「徳島新聞ニュース」四国放送 令和8年3月25日
- ・「フォーカス徳島」四国放送 令和8年3月25日

● 担当学芸員

久米千裕、井手迫蒼



「人間像」



「徳島ゆかりの美術」

●出品リスト 2025年所蔵作品展Ⅱ「空間往来」

展示室1

■人間像

おすすめの一点

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
パブロ・ガルガーリョ	キキ・ド・モンパルナスのマスク	1928年	ブロンズ	20.5×18.0×15.7

絵画と空間－遠近法をめぐって

四宮金一	ROOM (27) 椅子なき静座	1982年	アクリル絵具 板	123.0×197.7
	自作前の自画像(6)	1987年	アクリル絵具 キャンバス	202.6×148.7
高松次郎	遠近法のマラソン	1967年	シルクスクリーン 紙	55.0×78.2 寸
三尾公三	女と風景	1983年	アクリル絵具 板	180.0×324.0
やなぎみわ	次の階を探してI	1996年	ダイレクトプリント、アクリル加工	180.0×720.0
アンソニー・グリーン	回顧作品その2ーピンポン・ルーム, 1960ー	1986年	油彩 キャンバス	206.6×234.0
デイヴィッド・ホックニー	文字あわせゲーム 1983年 1月1日	1983年	写真のコラージュ ボード	99.1×147.3

絵画と空間－キュビズム

アレクサンダー・アーキベン コ	白いトルソ	1916年	大理石	h.48.0* ^a
アルベール・グレーズ	台所の母子	1911年	油彩 キャンバス	119.0×95.0
アンリ・ローランス	片腕をあげて座る女	1930年	テラコッタ	h.31.0
ジャック・リブシッツ	クラリネットを持つアルカン	1919年	ブロンズ	73.0×24.8×24.1
パブロ・ピカソ	版画集〈聖マトレル〉 1.レオニー嬢	1910年	エッチング 紙	20.4×14.1* ^a

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
パブロ・ピカソ	版画集〈聖マトレル〉 3.長椅子のレオニー嬢	1910年	エッチング、ドライポイント 紙	19.8×14.2*a
	版画集〈エルサレムの攻略〉 1.裸婦	1913-14年	エッチング、ドライポイント 紙	15.6×11.6*b
	版画集〈エルサレムの攻略〉 3.女	1914年	エッチング、ドライポイント 紙	16.0×10.9*b
	ドラ・マールの肖像	1937年	油彩 キャンバス	55.0×38.0
オシップ・ザツキン	女性立像	1922年	ブロンズ	77.0×31.0×19.2*b

彫刻と空間

篠田守男	ET 62	1967年	金メッキ、ブロンズ、真鍮、ステンレス ワイヤー	26.3×40.0×40.0
建畠覚造	貌2	1956年	ブロンズ	120.0×95.0×45.0
堀内正和	箱は空にかえってゆく	1966年	ブロンズ	86.0×36.0×36.0
アルベルト・ジャコメッティ	女性立像	1952年	ブロンズ	49.0×9.5×17.0
	小さな裸婦立像	1959年	エッチング 紙	15.5×8.2*a
	若い女	1966年	エッチング 紙	41.4×27.8*b
アントニー・ゴームリー	レバー	1992年	鉄	172.0×62.5×32.5*b
バーバラ・ハップワース	版画集〈向かい合う形態 1970〉1. 二つの向かい合う 形態	1969年	シルクスクリーン 紙	77.5×58.3 † *a
	版画集〈向かい合う形態 1970〉2. 冬至	1969年	シルクスクリーン 紙	77.7×58.3 † *a
	版画集〈向かい合う形態 1970〉3. 二つの原始形態	1969年	シルクスクリーン 紙	77.7×58.3 † *a
	版画集〈向かい合う形態 1970〉4. 11月の緑	1969年	シルクスクリーン 紙	77.3×58.5 † *a
	版画集〈向かい合う形態 1970〉5. ランガティールI	1969年	シルクスクリーン 紙	77.6×58.5 † *b
	版画集〈向かい合う形態 1970〉6. 満ち潮	1969年	シルクスクリーン 紙	58.3×77.5 † *b
	版画集〈向かい合う形態 1970〉7. ランガティールII	1969年	シルクスクリーン 紙	77.5×58.1 † *b
	版画集〈向かい合う形態 1970〉8. 四角い形態の集合	1969年	シルクスクリーン 紙	77.5×58.3 † *b
ヘンリー・ムーア	横たわる3人の人物	1942年	淡彩、ペン、インク、鉛筆、チョーク	22.5×17.3*a
	石の横臥像	1980年	アクアチント、エッチング 紙	97.0×138.0
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉I	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*a
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉II	1980年	エッチング、アクアチント、ルーレット 紙	25.1×34.6*a
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉III	1980年	エッチング、アクアチント 紙	21.9×24.5*a
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉IV	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*b
	版画集 〈彫刻のためのアイデア〉V	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6*b

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
ヘンリー・ムーア	版画集〈彫刻のためのアイデア〉VI	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6* ^b
	版画集〈彫刻のためのアイデア〉VII	1980年	エッチング、アクアチント 紙	25.1×34.6* ^b

■現代版画

白と黒の世界1 12月6日[土]-2026年1月12日[月・祝]

駒井哲郎	版画集〈詩畫集 蟻のいる顔〉3.ピケの残像	1973年	アクアチント 紙	23.5×21.0
	版画集〈詩畫集 蟻のいる顔〉5.街	1973年	アクアチント 紙	23.5×21.0
斎藤カオル	かくれたプロウチ	1975年	メゾチント 紙	26.3×21.5
	ぼうし I	1975年	メゾチント 紙	26.5×21.5
中林忠良	囚われる風景 V	1973年	エッチング、アクアチント、メゾチント 紙	45.0×56.2
	囚われる風景 VIII	1973年	エッチング、アクアチント、メゾチント 紙	45.3×56.5
	囚われる日々 I	1974年	エッチング、メゾチント、アクアチント 紙	45.3×56.5
長谷川潔	チューリップと三蝶	1960年	メゾチント 紙	35.7×26.2
	狐と葡萄（ラ・フォンテーヌ 寓話）	1963年	メゾチント 紙	35.4×26.4
ジョルジュ・ルオー	版画集〈『悪の華』のために版刻された14図〉1.悪魔	1926年	粒子エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ドライポイント 紙	35.0×25.5
	版画集〈『悪の華』のために版刻された14図〉2.辱しめを受けるキリスト	1926年	粒子エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ドライポイント 紙	35.0×25.0
	版画集〈『悪の華』のために版刻された14図〉3.キリスト	1927年	粒子エリオグラヴュール、シュガー・アクアチント、ドライポイント 紙	35.0×25.4
ジョージ・シーガル	肖像:ヘレンI(芸術家の妻)	1987年	アクアチント、ソフトグラウンド・エッチング、ドライポイント 紙	99.9×78.8
	肖像:ヘレンII(芸術家の妻)	1987年	アクアチント、ソフトグラウンド・エッチング、ドライポイント 紙	126.3×99.1
	肖像:ヘレンIII(芸術家の妻)	1987年	アクアチント、ソフトグラウンド・エッチング、ドライポイント 紙	127.1×98.9

白と黒の世界2 1月14日[水]-2月8日[日]

磯見輝夫	森へ	1984年	木版 紙	69.5×120.0
小林敬生	蘇生の刻S62-8	1987年	木口木版 紙	79.6×108.8 [山本徳幸氏寄贈]
	白い朝又は早暁-群舞05・C-	2005年	木口木版 紙	86.7×116.3 [作家寄贈]
萩原英雄	版画集〈ギリシャ神話〉13.イオ	1957-65年	木版 紙	38.3×53.9
	版画集〈ギリシャ神話〉14.レダ	1957-65年	木版 紙	38.8×53.9
	版画集〈ギリシャ神話〉15.ヘラクレス	1957-65年	木版 紙	38.5×53.9

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
日和崎尊夫	KALPA-A	1968年	木版 紙	35.3×22.7
	KALPA-H	1969年	木版 紙	20.8×28.4
	KALPA-X	1969年	木版 紙	24.5×22.2
ケーテ・コルヴィッツ	版画集〈7点組木版画集 戦争〉1. いけにえ	1922-23年	木版 紙	37.2×40.2
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉2. 志願兵たち	1921-23年	木版 紙	35.0×49.8
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉3. 両親	1923年	木版 紙	35.0×43.0
	版画集〈7点組木版画集 戦争〉4. 寡婦I	1922-23年	木版 紙	37.2×23.3

風景版画1 2月10日[火]-3月8日[日]

秋岡美帆	光の間	1998年	NECOプリント 麻紙	152.0×212.0
島州一	ジャンパーの風景	1974年	シルクスクリーン 紙	33.0×32.0
	草原	1974年	シルクスクリーン 紙	44.0×53.0
	リンゴ箱	1974年	シルクスクリーン 紙	45.0×45.0
	富士山	1976年	シルクスクリーン 紙	27.0×40.0
廣島晃甫	夕暮小景	1922年 (大正11年)	木版 紙 額装	21.3×18.3
	泊船	1920-22年頃	木版 紙	18.1×21.0
吉田勝彦	銅版画集〈森〉 北の森(薫風)	1988年	エッチング 紙	35.7×59.3[山口宏氏寄贈]
	銅版画集〈森〉風化する森	1988年	エッチング 紙	29.7×60.0[山口宏氏寄贈]
	銅版画集〈森〉聖森	1988年	エッチング 紙	36.0×59.7[山口宏氏寄贈]
	銅版画集〈森〉 死の森(木下闇)	1988年	エッチング 紙	37.5×51.0[山口宏氏寄贈]
若林奮	1961〈風景・I〉	1961年	エッチング 紙	11.8×13.5
	1961〈風景・II〉	1961年	エッチング 紙	13.5×18.2

風景版画2 3月10日[火]-4月5日[日]

泉茂	夜明け前	1954年	エッチング、アクアチント 紙	8.7×16.3
	信号手	1955年	エッチング、アクアチント 紙	35.8×27.0
	青春探し	1956年	リトグラフ 紙	35.0×24.0
	建設の曲	1957年	リトグラフ 紙	39.5×26.5
出店久夫	私的風景'89-November	1989年	ゼラチンシルバープリント、アクリル絵具、KODAK-E6染料、色鉛筆他 パネル、ジェッソ	74.0×162.0 [作家寄贈]
	私的風景'97-湖水譜II	1997年	ゼラチンシルバープリント、調光剤、手彩色 紙	99.5×222.3
ジャン＝ミシェル・フォロン	版画集〈…からの便り〉 2. ロッキー山脈からの便り	1985-86年	シルクスクリーン 紙	55.5×65.5
	版画集〈…からの便り〉 6. シクラデーズからの便り	1985-86年	シルクスクリーン 紙	55.6×67.6

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
ジャン＝ミシェル・フォロン	版画集〈…からの便り〉 7. フロリダからの便り	1985-86年	シルクスクリーン 紙	55.6×70.2
マッタ	版画集〈薄暗いアーチのあ る時間〉1	1973年	エッチング、アクアチント 紙	49.1×68.6
	版画集〈薄暗いアーチのあ る時間〉2	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.9×70.5
	版画集〈薄暗いアーチのあ る時間〉3	1973年	エッチング、アクアチント 紙	49.3×68.8
	版画集〈薄暗いアーチのあ る時間〉4	1973年	エッチング、アクアチント 紙	50.8×70.5

展示室2

■徳島ゆかりの美術 空間の作り方

石丸一	山	1942年	油彩 キャンバス	130.0×193.0[大西アヤ氏寄贈]
伊原宇三郎	窓からの港	1926年	油彩 キャンバス	60.6×73.0
	陰	1946年	油彩 キャンバス	90.0×116.0
	南仏 ヴァンスにて	1956-58年	油彩 キャンバス	45.6×55.6 [嶋村富士美氏寄贈]
	滑り台のある風景	1968年	油彩 キャンバス	100.2×80.5
河井清一	雪後	1968年	油彩 キャンバス	91.1×172.9 [河井慶清氏寄贈]
	丘のながめ	1973年	油彩 キャンバス	72.9×90.8 [河井慶清氏寄贈]
日下八光	蓬莱仙閣図	1937年	絹本着色	119.0×36.3*b [小笠原道生氏寄贈]
團藍舟	鶴(仮題)	不詳	紙本墨画淡彩	155.2×55.5*a [岡田恒氏寄贈]
	静山催雨之図	1934年	絹本着色	129.1×41.0*a [岡田恒氏寄贈]
廣島晃甫	竹梅図	昭和前期	紙本着色 屏風(二曲一双)	各160.0×144.0*a
	夕陽山水	大正期	絹本墨画 軸装	35.5×48.8*b
	猫	昭和初期	紙本墨画着色 軸装	124.1×30.6*b
	冬暖	1936年 (昭和11年)	絹本着色 軸装	129.5×41.6*a
	春秋花鳥	1938年 (昭和13年)	紙本着色 屏風(二曲一双)	各158.4×155.2*b [矢野奈緒子氏寄贈]
三宅克己	京都スケッチ	1892年頃	水彩 紙	24.2×35.7*a
	風景(仮称)	1893年	水彩 紙	21.0×30.0*a
	切り通し	1894年	水彩 紙	32.3×23.6*a
	風景	1905年	水彩 紙	37.3×47.1*b
	奈良の杉	1907年	水彩 紙	49.3×69.7*b [難波誠一氏寄贈]
守住勇魚	管絃之図	1919年	絹本着色	127.0×51.0*b
	月仲國小督図	不詳	絹本着色	110.4×49.9*a

■美術館ロビー

ジョナサン・ボロフスキー	スチール・ヘッド	1986年	鉄	265.5×315.0×29.2
アリスティード・マイヨール	着衣のポモナ	1921年	ブロンズ	181.0×61.0×48.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
ヘンリー・ムーア	着衣の横たわる母と子	1983年	ブロンズ	138.5×265.5×147.0

■屋外展示場

淀井敏夫	渚	1978年	ブロンズ	164.0×50.0×120.0
フェルナンド・ボテロ	アダムとイヴ	1981年	ブロンズ	左(イヴ):217.0×92.0×79.0 右(アダム):219.0×108.0×65.0
リン・チャドウィック	腰をかける人	1979-80年	ブロンズ	左(女):193.0×94.0×142.0 右(男):180.0×84.0×122.0
イサム・ノグチ	オドリコ	1984年	安山岩	121.0×65.0×30.0
ジョージ・シーガル	ベンチに座るサングラスの女	1983年	ブロンズ、その他	130.0×152.0×81.0

■彫刻の小径

田中昇	森の風	1990年	御影石	h.300.0
速水史朗	四国三郎	1990年	黒御影石	260.0×280.0×160.0
道北英治	かけらたち(大地のなかま)	1991年	花崗岩	252.0×363.0×200.0
山口牧生	四角い形D	1989年	黒御影石、ベンガラ	45.0×115.0×70.0

*aを付したものは2026年2月8日[日]まで、*bを付したものは2026年2月10日[火]から展示した。

● 会期

令和8年1月24日[土]-2月15日[日](20日間)

● 休館日

月曜日

● 概要

本展は、福岡を拠点に戦後日本の前衛美術を牽引した徳島ゆかりの作家、菊畑茂久馬(1935-2020)が没してから5年の節目を迎えるに当たり、全国の美術館が、自館が所蔵する菊畑の作品を展示する「LINKS-菊畑茂久馬」プロジェクトの一環として開催した。

菊畑は、徳島県海部郡由岐町(現・美波町)出身の父親と、長崎県五島市出身の母親の間に生まれた。幼い頃から絵画を好み、1957年に福岡の前衛美術集団「九州派」に加わり、60年代の反芸術運動の旗手として頭角を現す。初期に手がけた〈奴隷系図〉、〈ルーレット〉シリーズは、抽象表現やネオダダなど同時代の美術動向の影響を受けつつも、作家独自のエネルギーが迸る斬新な表現と目され、世界的な注目を集めた。

しかし、1964年の東京オリンピック、70年の大阪万博開催に沸き立ち、その喧騒へなだれ込む日本の文化状況に強い抵抗を覚えた菊畑は、60年代から80年代初頭まで十余年もの間、公に作品を発表する機会を極端に減らし、美術界と距離を置く。

この“沈黙”の時期に、菊畑は地元の福岡で戦争記録画や筑豊の炭坑画家、山本作兵衛との出会いを通じた思索と並行して、日常的な素材を組み合わせたオブジェの制作に着手した。そして、それらのオブジェを平面化する試みとして、版画に取り組んだ。

さらに1980年代以降、キャンバスに棒状の物体を取り付け、表面を絵具で塗り込めた〈天動説〉をはじめ、〈月光〉、〈月宮〉など大型作品のシリーズを発表していく。

本展では、気鋭の美術家として将来を嘱望されながらも制作の現場から遠ざかり、オブジェの制作を通して「もの」と向き合い、重厚な大型作品のシリーズを生み出すに至った作家の画業を、1960-80年代にかけて制作された当館の所蔵作品によって振り返った。

● 観覧料

一般 200円(160円)

高校・大学生 100円(80円)

小学・中学生 50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー 簡易印刷

出品リスト:A4判1ページ 簡易印刷

● 入場者数

1,928人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・山口洋三「「LINKS-菊畑茂久馬」最終章へ！長崎、徳島、北九州、大宰府で特集展示」『アルトネ』 令和8年1月16日

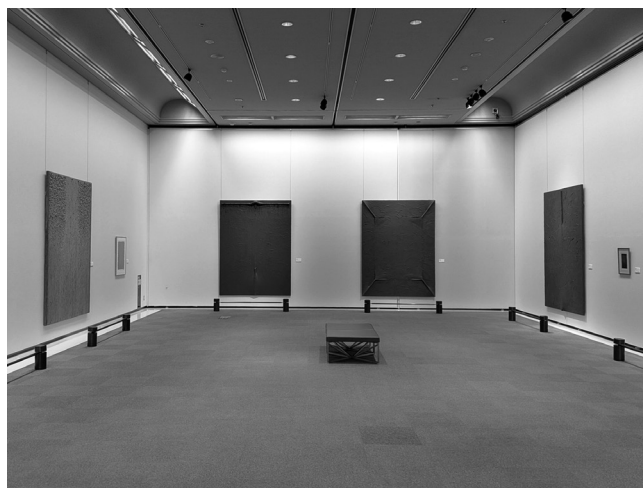
・「前衛画けん引 菊畑茂久馬 郷里・徳島で没後5年展」『徳島新聞』 令和8年1月22日

・「フォーカス徳島」四国放送 令和8年1月28日

・「美術館からのエッセイ 特集展示 没後5周年菊畑茂久馬展」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビ Webサイト 令和8年2月

● 担当学芸員

三宅翔士、浅田真珠



展示室3

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
菊畑茂久馬	奴隸系図-円鏡によるNo.12	1962年	カシュー、その他 板	92.1×94.4×2.3
	奴隸系図-円鏡によるNo.13	1962年	カシュー、その他 板	95.0×85.1×1.5
	奴隸系図-円鏡による(イ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(ロ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(ハ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(ニ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(ホ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(ヘ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(ト)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	奴隸系図-円鏡による(チ)	1962年	カシュー、その他 石膏	h.17.0、径30.0
	ルーレット	1963年	エナメル系塗料、アッサンブラージュ 木	107.0×35.0×21.0
	ルーレット	1963年	エナメル系塗料、アッサンブラージュ 紙、木	118.3×25.8×12.0
	壊れた鯉(恋)	1968年	磁器、油彩	14.3×45.5×12.5
	版画集〈天動説 其の一〉 17. 鯉割り	1974年	シルクスクリーン 紙	34.0×22.2
	版画集〈オブジェデッサン〉 10. 壊れた鯉	1977年	シルクスクリーン、顔料、コンテ、銀粉、 色鉛筆 紙	52.0×54.5
	歯車の切断	1970年	鉄、真鍮	18.0×26.0×13.0
	版画集〈天動説 其の一〉 8. ギヤァ割り	1974年	シルクスクリーン 紙	40.0×30.0
	版画集〈オブジェデッサン〉 18. 歯車の分割	1975年	シルクスクリーン 紙	36.0×25.5
	圧縮器	1969-80年頃	鉄	18.5×25.0×25.0
	版画集〈天動説 其の一〉 5. 海難審判	1974年	シルクスクリーン 紙	32.6×24.6
	版画集〈オブジェデッサン〉 12. 圧搾機	1979年	シルクスクリーン 紙	42.5×52.0
	天動説	1981年	油彩、木 キャンバス	89.3×130.3
	天動説下絵	1983年	パステル、色鉛筆 紙	25.0×17.7[作家寄贈]
	天動説 一	1983年	油彩、蜜蝋、木 キャンバス	259.0×194.2
	天動説 四	1983年	油彩、蜜蝋、木 キャンバス	259.0×194.3
	天動説 十一	1985-87年	油彩、木、布 キャンバス	259.0×194.2
	月光下絵 No.1	1985年	水彩、鉛筆 紙	66.5×46.8[作家寄贈]
	月光 三	1986年	油彩、木 キャンバス	259.1×194.1
	月光 十	1988年	油彩、木 キャンバス	259.5×194.5
	月宮第一番	1988年	油彩、木、布 キャンバス	330.0×200.8
	月宮第二番	1988年	油彩、木、布 キャンバス	330.0×200.8
	月宮第三番	1988年	油彩、木、布 キャンバス	330.0×200.8
	月宮第四番	1988年	油彩、木、布 キャンバス	330.0×200.8
	月宮第七番	1989年	油彩、木、布 キャンバス	330.0×200.8

● 会期

令和8年3月7日[土]-22日[日](14日間)

● 休館日

月曜日

● 概要

誰もが楽しめるユニバーサル・ミュージアムを目標に、改善のアイデアを定着させる試みとして平成30年から展覧会をシリーズで開催。視覚障がい・聴覚障がい・外国人/幼児、肢体不自由、高齢者、カラーユニバーサル、知的障がい/触覚、に続く7回目のテーマは「親子・幼児」に設定した。

マナーへの遠慮や、乳幼児のくつろげるスペースがないことから来館しづらい親子利用者を想定し、子連れ来館層を中心とした環境と展示内容を提案した。

環境面では、ロビーの臨時水飲み場スペース、フォトスポット、室内のプレイマット、ふかふかカーペットのお絵かきコーナーを設置。展示壁面の半分はガラスケースとし、露出壁面は全区画にローパーティションを配し、立入不可が分かりやすい間取りにした。会場入口のマナー掲示サイネージには、子供が主人公のイラストによる映像を制作した。物音を目立ちにくくするマスキング音についても例年よりピアノ音の種類を増やした音源で実施した。チラシ、会場あいさつパネルで、「子どもが泣いても騒いでも大丈夫」とするマナーを周知。

展示内容は4コーナーで構成。色彩表現の豊かなもの、登場人物が特徴的なもの、様々な風景や情景を描いたもの、子供や若者が描かれたものを選定し、親子で対話が弾むことを意図した。各作品のキャプションに鑑賞のきっかけになる視点を短文で示した。冒頭のウェルカムゾーンに、手縫いの人形や動物などの手芸グッズを並べ、触ってリラックスしたり、ウェルカムボードにメッセージを書いて貼ったりできるようにした。手芸グッズやプレイコーナーのイラストは、アートイベントサポーターとの協働制作。監視スタッフ、展覧会担当者やサポーターは胸に飾りをつけるなどして、来場者を暖かく迎える雰囲気づくりを心がけた。

● 観覧料

一般	200円(100円)
高校・大学生	100円(80円)
小学・中学生	50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

出品リスト:A4判2ページ 簡易印刷

● 入場者数

1,617人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

向平真「アート鑑賞 お子さんと一緒に じゅうたん設置・わかりやすい表記・仕掛け色々 県立近代美術館」『朝日新聞』 令和8年3月7日

堀金愛莉「子連れでわいわい 22日まで 乳幼児向けの企画展 県立近代美術館」『徳島新聞』 令和8年3月13日

「情報番組ステップ」ケーブルテレビ徳島 令和8年3月18日
「美術館からのエッセイ 子連れdeアートWEEK」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和8年3月

● 担当学芸員

竹内利夫、笠井優



展示室3

いろとかたちがあそんでみたい

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
オノサトシノブ	シルクスクリーンNO.78	1976年	シルクスクリーン 紙	45.3×52.8
	シルクスクリーンNO.12	1967年	シルクスクリーン 紙	40.0×40.0
川島猛	N.Y.-D.T.-10-1966	1965-66年	アクリル絵具 キャンバス	232.3×231.9
菅井汲	版画集〈星座〉 1.BELIER(牡羊座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 2.TAUREAU(牡牛座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 3.GEMEAUX(双子座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 4.CANCER(蟹座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 5.LION(獅子座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 6.VIERGE(乙女座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 7.BALANCE(天秤座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 8.SCORPION(蠍座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 9.SAGITTAIRE(射手座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 10.CAPRICORNE(山羊座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 11.VERSEAU(水瓶座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
	版画集〈星座〉 12.POISSONS(魚座)	1974年	シルクスクリーン 紙	60.0×60.0
高橋秀	版画集〈8つの作品〉2	1971年	リトグラフ、エンボス 紙	41.3×38.0
	版画集〈8つの作品〉6	1971年	リトグラフ、エンボス 紙	38.1×41.3
	版画集〈8つの作品〉5	1971年	リトグラフ、エンボス 紙	40.2×39.0
原 健	Strokes 81-25	1981年	リトグラフ 紙	54.0×60.0
	Strokes 81-31	1981年	リトグラフ 紙	66.0×53.0
元永定正	ばばびびぼう	1979年	シルクスクリーン 紙	45.0×60.0
	かさねいろだま	1984年	シルクスクリーン 紙	66.0×46.0
	くろいかたちはういている	1987年	シルクスクリーン、アクリルプレート 紙	42.5×66.5×4.0
	だんぼうるのなかはおれんじみつ	1987年	リトグラフ、段ボール 紙	42.5×66.5×4.0
	ふたつのあかいぎざぎざ	1987年	リトグラフ、シルクスクリーン、段ボール 紙	42.5×66.5×4.0

ワイワイ主人公

幾 嘸	虹使い	1987年	シルクスクリーン 紙	54.8×62.3
	レインボー・ルソー	1987年	シルクスクリーン 紙	59.7×45.4

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
瑛九	陽気な人	1954年	油彩 キャンバス	60.6×72.7
岡本信治郎	版画集〈ベティ・ブープの国〉 3. ママからきいたベープの話	1974年	リトグラフ 紙	52.8×41.5
山本容子	Flower Travelling for Lady	1980年	エッチング、アクアチント 紙	45.2×59.8
ジャン・デュビュッフェ	8人の人物のいる風景	1981年	墨 紙	43.0×35.0
ジャン＝ミシェル・フォロン	版画集〈…からの便り〉 4. カリフォルニアからの便り	1985-86年	シルクスクリーン 紙	55.5×67.5
マッタ	皮肉な友情	1983年	油彩 キャンバス	65.1×47.6

子ども時代を思い出す

大沢昌助	書きものをする娘	1957年	油彩 キャンバス	100.0×72.7
金田実生	彼の清らかな意志	2003年	油彩 キャンバス	53.5×53.5
河井清一	休み日	1928年	油彩 キャンバス	194.5×130.3
高井貞二	愛	1986年	油彩 キャンバス	72.0×116.0
唐仁原希	a portrait of a boy	2013年	油彩 キャンバス	185.0×145.0
吉原英雄	20歳の肖像	1979年	リトグラフ、エッチング 紙	41.5×33.0
パウル・クレー	子供と伯母	1937年	油彩 石膏、ジュート	72.0×53.0

絵の中に住みたい！

池田満寿夫	版画集〈街〉海の見える街	1990年	リトグラフ 紙	57.5×78.7
桂ゆき	さる・かに合戦	1948年	油彩 キャンバス	90.0×115.0
黒崎彰	つむじ風	2002年	木版 韓国楮紙	89.5×60.0
原陽子	夜をまつ	1998年	エッチング 紙	98.6×118.5
廣島晃甫	岩上小禽	1922年	木版 紙 額装	23.0×18.0
	曲芸の女	1922年	木版 紙 額装	13.3×14.5
三宅克己	支那蘇州楓橋	1919年頃	水彩 紙	53.0×74.0
ロイ・リクテンスタイン	版画集〈11人のポップ・アーティストI〉3. 月の風景	1965年	シルクスクリーン メタルプラスチック	50.5×60.8
アンリ・マティス	版画集〈ジャズ〉 11. 空中ブランコ	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1
	版画集〈ジャズ〉 5. 馬、曲馬師、道化	1947年	ステンシル 紙	42.2×65.1
マルク・シャガール	版画集〈ダフニスとクロエ〉 5. 牧場の春	1957-60年	リトグラフ 紙	42.0×64.0

3-2 特別展 令和7年度

- 1 〔大阪・関西万博特別連動企画〕 浮世絵の華－原安三郎コレクション－
令和7年9月6日[土]-10月13日[月・祝]

- 2 開館35周年記念展 美術と野獣－人間の根源へ
令和7年10月4日[土]-12月14日[日]

（出品リストの凡例）

国内作家は五十音順、国外作家はアルファベット順。
作品データは、作家名、作品名、制作年、技法・材質、寸法（cm）。平面作品の寸法は縦×横。立体作品の寸法は高さ×幅×奥行きを原則とし、一部h.（高さ）で表したものがある。版画の寸法は原則としてイメージ・サイズだが、寸が付されたものはシート・サイズとした。

● 会期

令和7年9月6日[土]-10月13日[月・祝](33日間)

● 休館日

月曜日(9月15日、10月13日を除く)、9月16日[火]

● 概要

徳島出身の実業家、原安三郎(1884-1982)は、大正の始めに横浜から米国へ帰国する宣教師から美術品一式を譲り受けた出来事を機に日本美術の収集に力を注ぎ、一大コレクションを形成した。本展はそこから浮世絵の優品に着目し、徳島にゆかりの深い藍を用いた作品のほか、世界中の国々が参加し、国内外の人々が行き交う場としての万博というテーマにちなみ、「旅」「観光」にまつわる作品を展示した。

浮世絵は17世紀の墨摺絵に始まり、摺りの技術の向上に伴って様々な色を取り合わせた錦絵へと展開する。18世紀初頭、ドイツのベルリンで製造された人工の合成顔料“ペロ藍”が輸入されると、その鮮やかな発色や耐久性がたちまち評判となり、19世紀半ばの文政から天保期にかけて、藍色を基調とする藍摺絵が生まれる画期となった。こうして空や海など青色が主となるモチーフを自在に表現できるようになったことで、それまで人物画が主流であった浮世絵に風景画のジャンルが加わる。

さらにこの時期、消費経済の拡大とともに市井の人々が娯楽として旅を楽しむことができるようになり、各地の名勝、風物に取材した名所絵が大衆的な人気を博したことも、風景画の需要を後押しした。そのブームを率いた筆頭格が、歌川広重である。

本展では広重が最晩年に手がけた〈六十余州名所図会〉、〈名所江戸百景〉の貴重な初摺の作品や、広重と同時期に活動した溪斎英泉、歌川国貞(三代豊国)の作品などを紹介し、原が愛でた浮世絵の魅力を再発見する機会とした。

参考出品として、当館所蔵品から片岡球子〈浮世絵師安藤広重〉を展示。また原安三郎コレクション監修の元で製作された、復刻版〈阿波鳴門の風波〉を手にとって観覧できるようにした。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 企画協力

中外産業株式会社

● 観覧料

一般 200円(160円)

高校・大学生 100円(80円)

小学・中学生 50円(40円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

出品リスト:A4判1ページ 簡易印刷

● 入場者数

4,713人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「美術館からのエッセイ 大阪・関西万博特別連動企画 浮世絵の華－原安三郎コレクション」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年8月

・「原安三郎が集めた浮世絵並ぶ 県立近代美術館で万博特別連動企画展」『徳島新聞』 令和7年9月7日

・「浮世絵に見る、徳島の藍色 徳島県立近代美術館で「浮世絵の華」展」『朝日新聞』 令和7年9月30日

● 担当学芸員

三宅翔士、竹内利夫



展示室2

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
溪斎英泉	吉原八景 丸海老屋内玉川	文政－天保期 (1827-34)	大判錦絵	36.1×25.8
	吉原美人 扇屋内錦野	文政－天保期 (1827-34)	大判錦絵	38.5×26.6
歌川国貞(三代目歌川豊国)	本朝風景美人競 武蔵隅田川	天保初期 (1830年代)	大判錦絵	38.0×26.0
	本朝風景美人競 大和吉野	天保初期 (1830年代)	大判錦絵	37.3×25.6
	本朝風景美人競 播磨高砂	天保初期 (1830年代)	大判錦絵	37.2×25.6
	立斎広重(死絵)	安政5年 (1858)	大判錦絵	37.7×25.4
歌川広重	東海道 十一箱根(隸書版)	嘉永4-5年頃 (1851-52)	大判錦絵	25.0×37.4
	浪花名所図会 日恵比寿	天保5年頃 (1834)	大判錦絵	24.1×37.2
	浪花名所図会 米あきない	天保5年頃 (1834)	大判錦絵	23.5×36.3
	浪花名所図会 道とんぼりの図	天保5年頃 (1834)	大判錦絵	24.1×37.2
	木曾海道六十九次之内 軽井沢	天保7-9年頃 (1836-38)	大判錦絵	25.2×35.9
	木曾海道六十九次之内 洗馬	天保7-9年頃 (1836-38)	大判錦絵	25.2×35.8
	木曾海道六十九次之内 宮ノ越	天保7-9年頃 (1836-38)	大判錦絵	25.2×36.1
	木曾海道六拾九次之内 大井	天保7-9年頃 (1836-38)	大判錦絵	25.3×35.9
	六十余州名所図会 舞子の浜	嘉永6年 (1853)	大判錦絵	36.1×25.6
	六十余州名所図会 和哥之浦	安政2年 (1855)	大判錦絵	36.1×25.6
	六十余州名所図会 五色浜	安政2年 (1855)	大判錦絵	36.2×25.6
	六十余州名所図会 阿波 鳴門の風波	安政2年 (1855)	大判錦絵	36.1×25.6
	六十余州名所図会 讃岐 象頭山 遠望	安政2年 (1855)	大判錦絵	36.2×25.5
	六十余州名所図会 伊予 西條	安政2年 (1855)	大判錦絵	36.1×25.6
	六十余州名所図会 土佐 海上 松魚釣	安政2年 (1855)	大判錦絵	36.2×25.6
	名所江戸百景 しま	安政4年 (1857)	大判錦絵	36.8×25.2
	名所江戸百景 舗	安政4年 (1857)	大判錦絵	37.1×25.2
	名所江戸百景 たけの夕立	安政4年 (1857)	大判錦絵	37.1×25.0

作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm
歌川広重	名所江戸百景 水道橋駿河台	安政4年(1857)	大判錦絵	37.2×25.2
	名所江戸百景 わたし弁天の社	はねたの 安政5年(1858)	大判錦絵	37.1×25.2
	名所江戸百景 小梅堤	安政4年(1857)	大判錦絵	37.0×25.2

参考出品

片岡球子	浮世絵師安藤広重	1981年	紙本着色	90.9×72.7*
歌川広重	六十余州名所図会 阿波鳴門の風波 復刻版(2セット)	2024年	出版:阿波和紙伝統産業会館*	
細江英公	『気骨:われらが父、われらが祖父。』	2011年	出版:博進堂*	

右端に*を付した作品は「徳島県立近代美術館蔵」、それ以外はすべて「中外産業株式会社原安三郎コレクション蔵」。

● 会期

令和7年10月4日[土]-12月14日[日] (62日間)

● 休館日

月曜日(10月13日、11月3日、11月24日を除く)、10月14日[火]、11月4日[火]、11月25日[火]

● 概要

当館の開館35周年を記念し、20世紀から現代に至るまでの美術を「野獣」というキーワードに沿って紹介する新しい試みであった。美術における様々な傾向の中でも、人間の内面の表出や反文明的なものに対する関心に注目し、作品を通して人間の根源に潜む「野獣性」に迫ることを目的とした。そして、日常生活で自分と向き合う時間や余裕を失いがちな現代人にとって、「人間とは」「自分とは」という本質的な問いに思いを巡らせる機会となることを目指した。

展示では、日本各地の美術館や画廊など10か所以上から作品を借用し、現代アーティストには本展だけの特別なインスタレーションを制作してもらった。人間と自然の関わりや繋がり、人間の内面的な荒々しさや野性について、考え・感じることのできる内容となった。作品展示だけでなく、「わたしの中の野獣ノート」や「野獣バックンチョ」などの鑑賞ツールを会場内に設置したことで、多くの来場者が作品を見て感じたことをアウトプットしたり、作品をきっかけに自分自身についても考えたり、他の来場者とコミュニケーションを取ったりすることにつながった。

また会期中には、出品アーティストによるトークとワークショップ、ダンサーによる鑑賞ワークショップ、徳島県の福祉団体とのコラボイベント、病院への出張美術館など計11回の関連事業を開催した。視覚だけでなく五感や身体を使って作品を鑑賞したり、障がいや病気の有無に関わらず共に作品制作を楽しんだりすることで、美術への多様なアプローチを模索できた。特に、福祉団体「バリフリBOX∞(無限大)」との協働事業では、小学生・視覚障がい者・肢体不自由者など多様な人々が参加し、対話を通して作品を鑑賞したり、材料を共有しながら共に制作したりした。完成作品は美術館ロビーで展示した後、市内の大型商業施設でのバリフリBOX∞のイベント会場において展示した。さらに、イベントの様子をまとめた動画を作成し、美術館公式YouTubeで公開した。また、出張美術館では、入院・通院患者を対象に、スライドショーやオンライン中継を活用して本展を鑑賞したり、文字や絵で自分の感情を表

現して参加者同士で共有するワークシートに取り組んだりした。本展を通して、来館が難しい人にも美術館を楽しんでもらうための手法の一つを実践できた。これを活かし、今後の当館のユニバーサルミュージアム事業を一層発展させていきたい。

● 主催

徳島県立近代美術館

● 後援

徳島新聞社／四国放送株式会社／NHK徳島放送局／エフエム徳島／(公財)徳島県文化振興財団

● 助成

一般財団法人地域創造

● 観覧料

一般	1,000円(800円)
高校・大学生	750円(600円)
小学・中学生	500円(400円)

()内は20名以上の団体料金。

● 関連事業

*4-1「美術館教育」の項を参照。

● 印刷物

ポスター:B2判 カラー

チラシ:A4判 両面カラー

図録:A4判 カラー 64ページ

出品リスト:A4判2ページ(A4判両面) 簡易印刷

ワークシート:「わたしの中の野獣ノート」

A4判4ページ(A3判2つ折り1枚) 簡易印刷

*その他印刷物については、4-2-8「展覧会ごとのワークシート作成」の項を参照。

● 入場者数

4,202人

*8-4「入館者数」の項を参照。

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

・「美術館からのエッセイ 開館35周年記念展 美術と野獣－人間の根源へ」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビwebサイト 令和7年10月

・「入院患者らもアートを 県立近代美術館 オンラインで出張美術館 来月徳島市民病院で第2弾」『徳島新聞』令和7年9月30日

・「きょうから35周年記念展『美術と野獣』人間の根源を問う 県立近代美術館 生命と向き合う53点」『徳島新聞』

- 令和7年10月4日
- ・「フォーカス徳島」四国放送 令和7年10月8日
- ・「人間の根源問う芸術作53点 県立近代美術館 35周年展開幕」『徳島新聞』 令和7年10月5日
- ・「開館35周年記念展『美術と野獣－人間の根源へ』」『タウトク』11月号 令和7年10月28日
- ・「フォーカス徳島 患者にアートのを 病院で「出張美術館」」四国放送 令和7年10月24日
- ・「ステップ」テレビトクシマ 令和7年11月10日
- ・「ニュース」NHK徳島放送局 令和7年11月6日
- ・「アートで患者を癒す」『徳島新聞』 令和7年12月5日

● 担当学芸員

浅田真珠、飯田恵実、竹内利夫



● 出品リスト 美術と野獣－人間の根源へ
Art and Beasts Approaching the roots of humanity

展示室3
第1章 人間と野獣のあいだ

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵先
鴻池朋子	Earth Baby	Earth Baby: 2009年 インスタレーション: 2025年	Earth Baby: 鏡、アルミフレーム、モーターなどミクストメディア インスタレーション: モンゴル狼の毛皮、拾った子ども用車椅子、指人形(紙粘土、水性塗料、動物毛皮、着物はぎれなどミクストメディア) *指人形は11/18より展示	Earth Baby頭部: 310.0×234.0 インスタレーション: サイズ可変	©Tomoko Konoike
浅井裕介	野生の星	2019年	鹿の血、墨 キャンバス	183.0×295.8	愛知県美術館
	組み合わせの魔法	2024年	蝦夷鹿の血とレバーから作られたプルシアンブルー キャンバス	183.0×295.0	作家蔵
	いのちの手触り1	2024年	屋久島の土、炭、弁柄、アクリル、アクリルレジ 屋久島の羊皮紙	177.8×142.9	作家蔵

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵先
浅井裕介	いのちの手触り2	2024年	蝦夷鹿の血とレバーから作られたプルシアンブルー 日本鹿の羊皮紙	182.6×128.0	作家蔵
	土の星の人	2017年	土、膠、アクリルレジン、水 帆布	680.0×280.0	作家蔵
	豊かさ	2017年	土、膠、アクリルレジン、水 帆布	680.0×280.0	作家蔵

第2章 激しく、荒々しく

モーリス・ド・ヴラマンク	木のある風景	1950年頃	油彩 キャンバス	60.0×73.0	ひろしま美術館
里見勝蔵	女	1933年頃	油彩 キャンバス	100.0×72.7	徳島県立近代美術館
ジャクソン・ポロック	無題	1944-45年	エングレーヴィング、ドライ ポイント 紙(あと刷り)	37.3×45.2 ^{*a}	徳島県立近代美術館
	無題	1944-45年	エングレーヴィング、ドライ ポイント 紙(あと刷り)	39.7×60.2 ^{*b}	徳島県立近代美術館
ウィレム・デ・クーニング	頭 No.3	1973年	ブロンズ	h.49.0	徳島県立近代美術館
カレル・アベル	裸婦	1957年	油彩 キャンバス	129.3×194.4	徳島県立近代美術館
元永定正	作品	1962年	エナメル キャンバス	173.0×274.0	東京都現代美術館
白髪一雄	猪狩 壺	1963年	毛皮、パテ、油彩 合板	184.0×275.0	東京都現代美術館
ジュリアン・シュナーベル	マルクス	1983-84年	油彩、皿 板	124.6×115.2	徳島県立近代美術館
篠原有司男	首長オートバイ	1979年	カードボード、ポリエステル、 樹脂他	75.0×80.0×45.0	徳島県立近代美術館
	バミューダ島で制作する 三木富雄組	1987年	油彩 キャンバス	200.2×168.1	徳島県立近代美術館

第3章 野生の目

ポール・ゴーギャン	ノア・ノア(かぐわしい)	1893-94年	木版 紙	35.4×20.4 ^{*a}	埼玉県立近代美術館
	「ノアノア」ノアノア(かぐわ しい)	1893-94年	木版 紙	35.5×20.5 ^{*b}	岐阜県美術館
	ナヴェ・ナヴェ・フェヌア(か ぐわしき大地)	1893-94年	木版 紙	35.4×20.5 ^{*a}	埼玉県立近代美術館
	「ノアノア」ナヴェナヴェ・フェ ヌア(かぐわしき大地)	1893-94年	木版 紙	35.5×20.5 ^{*b}	岐阜県美術館
	マナオ・トゥパバウ(死霊 は見ている)	1893-94年	木版 紙	20.5×35.5 ^{*a}	埼玉県立近代美術館
	「ノアノア」マナオ・トゥパバ ウ(彼女は死霊のことを 考えている)	1893-94年	木版 紙	20.5×35.5 ^{*b}	岐阜県美術館
	宇宙創造	1893-94年	木版 紙	20.5×35.5 ^{*a}	埼玉県立近代美術館
	「ノアノア」宇宙創造	1893-94年	木版 紙	20.5×35.5 ^{*b}	岐阜県美術館
(上記8点の刷りは1921年／ポーラ・ゴーギャン版)					
土方久功	妖霊	1970年頃	水彩、ペン 紙	21.7×34.3 ^{*a}	高知県立美術館
	浴	1970年頃	水彩、ペン 紙	25.1×18.3 ^{*b}	高知県立美術館
	宿命の歩み	1929-42年	木(南洋材)	46.8×33.5×3.3	高知県立美術館
	マスク	1929-42年	ブロンズ	21.0×15.0×11.0	高知県立美術館

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法cm	所蔵先
土方久功	マスク	1929-42年	ブロンズ	22.5×17.5×8.5	高知県立美術館
オシップ・ザツキン	女性立像	1922年	ブロンズ	77.0×31.0×19.2	徳島県立近代美術館
エーリヒ・ヘッケル	ブリュッケ年次画帖 VI「立てる子供」	1910年	木版 紙	37.0×24.8 *a	高知県立美術館
	ブリュッケ年次画帖 VI「森の情景」	1910年	リトグラフ 紙	27.5×34.0 *b	高知県立美術館
ヴァシリー・カンディンスキー、フランツ・マルク	青騎士年鑑	1912年刊	リトグラフ 紙ほか	29.0×22.1	徳島県立近代美術館
フランツ・マルク	動物伝説	1912年	木版、インク、和紙	19.9×24.0 *a	徳島県立近代美術館
	新ヨーロッパ版画集第3巻 「創世記1」	1914年	木版、紙	24.0×20.0 *b	高知県立美術館
マックス・エルンスト	版画集〈博物誌〉 10.彼女は秘密を守る	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	50.0×32.4 *a	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 17.打ち明け話	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	50.0×32.4*b	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 13.案山子たち	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	32.4×50.0*a	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 14.栗の木の始まり	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	32.4×50.0*b	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 25.夫婦のダイヤモンド	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	50.0×32.4*a	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 26.振り子時計の起源	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	50.0×32.4*b	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 29.光の車輪	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	32.4×50.0*a	徳島県立近代美術館
	版画集〈博物誌〉 30.逃亡者	1926年	鉛筆フロッタージュのコロ タイプ 紙	32.4×50.0*b	徳島県立近代美術館
ジョアン・ミロ	人物	1976年	ブロンズ	211.0×59.5×43.1	徳島県立近代美術館
ウィフレド・ラム	我々はここにいる	1974年	油彩 キャンバス	130.2×97.6	徳島県立近代美術館
岡本太郎	顔Ⅲ	1968年	油彩 キャンバス	130.5×193.5	川崎市岡本太郎美術館
アンリ・ルソー	パリ近郊の眺め バニユー村	1909年	油彩 キャンバス	33.0×46.3	公益財団法人大原芸術財 団大原美術館
アンドレ・ボーシャン	地上の楽園	1935年	油彩 キャンバス	97.2×146.4	世田谷美術館
ジャン・デュビュッフエ	熱血漢	1955年	油彩 キャンバス	65.0×50.5	徳島県立近代美術館
パブロ・ピカソ	少女に導かれる盲目のミノ タウロスⅢ	1934年	エッチング、ビュラン 紙	22.6×31.2	株式会社フジ・メディア・ホー ルディングス
マックス・エルンスト	鳩のように	1955年	油彩 板	61.0×50.0	徳島県立近代美術館

*aを付したものは2025年11月16日[日]まで、*bを付したものは2025年11月18日[火]から展示した。

4

普及事業

4-1 美術館教育

1 所蔵作品展に関連した催し

鑑賞者と展覧会を結ぶために、各展覧会担当者が中心となって催しを企画している。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
(1) 開館35周年記念展「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」				
1 令和7年4月29日[火・祝] 11:00-11:30	おやこ鑑賞ツアー	笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)	18人	展示室1
2 令和7年5月6日[火・振休] 14:00-15:00	展示解説	久米千裕(主任学芸員)	35人	展示室1、2、3
3 令和7年5月18日[日] 11:00-11:30	ベビーカーおさんぽツアー	笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)	16人	展示室3
4 令和7年5月25日[日] 14:00-16:00	あの手この手で触図づくり	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)、アートイベントサポーター	22人	アトリエ2、展示室3
5 令和7年6月1日[日] 14:00-16:00	作品の展示体験ワークショップ	安達一樹(主席)	6人	1階ギャラリー
6 令和7年6月22日[日] 10:00-11:30	手話通訳付き展示解説	久米千裕(主任学芸員)	7人	展示室1、2、3
7 令和7年6月22日[日] 14:00-15:00	展示解説	久米千裕(主任学芸員)	30人	展示室1、2、3
8 令和7年6月28日[土] 10:30-12:00	こども鑑賞クラブラボ	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)	0人 (サポーター1人)	アトリエ2
9 令和7年7月21日[月・祝] 11:00-11:30	おやこ鑑賞ツアー	笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)	16人	展示室3
10 令和7年8月3日[日] 14:00-15:00	展示解説	久米千裕(主任学芸員)	26人	展示室1、2、3
11 令和7年8月10日[日] 14:00-16:00	保存のお仕事体験ワークショップ	飯田恵実(学芸員)	18人	展示室1、2、3、アトリエ2
12 令和7年8月17日[日] 14:00-16:30	あの手この手で交流トーク	ナビゲーター: 聞こえない鑑賞人、見えない鑑賞人(イベントサポーター)	37人	展示室3
(2) 所蔵作品展 2025年度 I「徳島のたからもの」				
1 令和7年9月23日[火・祝] 11:00-11:30	おやこ鑑賞ツアー	笠井優(主任)	18人	展示室1、2
2 令和7年9月27日[土] 10:30-12:00	こども鑑賞クラブラボ	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、飯田恵実(学芸員)	1人	展示室1、2

開催日時		行事名	講師	参加者	場所
3	令和7年10月26日[日] 14:00-14:45	展示解説	三宅翔士(主任)	6人	展示室1、2
4	令和7年11月9日[日] 14:00-14:45	展示解説	三宅翔士(主任)	2人	展示室1、2
(3) 所蔵作品展 2025年度 II「空間往来」					
1	令和7年12月13日[土] 10:30-12:00	こども鑑賞クラブラボ	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、飯田恵実(学芸員)	3人	展示室1、2、アトリエ2
2	令和7年12月21日[日] 14:00-14:45	学芸員による展示解説	久米千裕(主任学芸員)	6人	展示室1、2
3	令和8年1月18日[日] 14:00-15:00	キュビズム入門ツアー(スライドトーク付)	井手迫蒼(学芸員)	16人	講座室、展示室1
4	令和8年2月23日[月・祝] 14:00-14:45	学芸員による展示解説	久米千裕(主任学芸員)	14人	展示室1、2
(4) 没後5周年 菊畑茂久馬展					
1	令和8年1月25日[日] 10:30-11:00	菊畑茂久馬展 展示解説	三宅翔士(主任)	9人	展示室3
2	令和8年2月14日[土] 10:30-11:00	菊畑茂久馬展 展示解説	三宅翔士(主任)	12人	展示室3
(5) 子連れdeアートWEEK 0歳からのワイワイびじゅつかん					
1	令和8年3月7日[土] 10:30-11:00	おいでおいで美術館デビュー「おえかき+おしゃべり」	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、アートイベントサポーター	33人	展示室3
2	令和8年3月8日[日] 10:30-11:00	にぎやか鑑賞会	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	38人	展示室3
3	令和8年3月8日[日] 14:00-14:30	大人もにぎやかツアー	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	11人	展示室3
4	令和8年3月11日[水] 10:30-11:00	おいでおいで美術館デビュー「おえかき+おしゃべり」	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、アートイベントサポーター	16人	展示室3
5	令和8年3月14日[土] 10:30-11:00	おいでおいで美術館デビュー「おえかき+おしゃべり」	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、アートイベントサポーター	44人	展示室3
6	令和8年3月15日[日] 10:30-11:00	ベビーカーde展示解説	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	10人	展示室3
7	令和8年3月15日[日] 13:30-14:00	目と手でアートなおしゃべり会	一般財団法人手話エンターテインメント発信団oioi	16人	展示室3
8	令和8年3月15日[日] 15:30-16:00	目と手でアートなおしゃべり会	一般財団法人手話エンターテインメント発信団oioi	33人	展示室3
9	令和8年3月20日[金・祝] 10:00-15:00	スペシャルワイワイDAY	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、アートイベントサポーター	32人	展示室3
10	令和8年3月21日[土] 10:30-11:00	にぎやか鑑賞会	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	20人	展示室3
11	令和8年3月22日[日] 10:30-11:00	ベビーカーde展示解説	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、アートイベントサポーター	16人	展示室3
12	令和8年3月22日[日] 14:00-15:00	からだでアートとあそんじゃおう	庄崎隆志(演出家・劇作家・俳優・ノンバーバルコミュニケーター)	50人	展示室3
合計					637人

2 特別展に関連した催し

鑑賞者と展覧会を結ぶために、各展覧会担当者が中心となって催しを企画している。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
(1) [大阪・関西万博特別連動企画] 浮世絵の華ー原安三郎コレクションー				
1 令和7年9月6日[土] 14:00-15:00	ギャラリートーク「原安三郎の浮世絵コレクションについて」	小池満紀子(中外産業株式会社取締役美術品担当)	158人	展示室2
2 令和7年9月13日[土] 14:00-15:00	学芸員による展示解説(スライドトーク付き)	三宅翔士(主任)	64人	講座室、 展示室2
3 令和7年9月28日[日] 14:00-15:00	学芸員による展示解説(スライドトーク付き)	三宅翔士(主任)	67人	講座室、 展示室2
(2) 開館35周年記念展 美術と野獣ー人間の根源へ				
1 令和7年10月5日[日] 14:00-15:00	学芸員による展示解説	浅田真珠(学芸員)	34人	ロビー、展示室3
2 令和7年10月12日[日] 13:30-16:30	バリフリBOX∞×徳島県立近代美術館「みんなで、わたし人形をつくろう！」	バリフリBOX∞スタッフ、近代美術館スタッフ	15人	ロビー、展示室3、 アトリエ2
3 令和7年10月22日[水] 14:00-16:00	出張美術館「美術と野獣展に行こう！」	浅田真珠(学芸員)、飯田恵実(学芸員)	23人	徳島市民病院 患者サロン室 (11階)
4 令和7年10月25日[土] 15:00-16:30	こども鑑賞クラブラボ	近代美術館スタッフ	0人	ロビー、展示室3
5 令和7年11月1日[土] 14:00-14:15	浅井裕介作品展示替え公開作業	浅田真珠(学芸員)、飯田恵実(学芸員)	9人	展示室3
6 令和7年11月1日[土] 17:00-19:00	カタタチサトとおどる、夜の森の美術館	カタタチサト(ダンサー) 近代美術館スタッフ	10人	ロビー、展示室3、 文化の森総合 公園
7 令和7年11月2日[日] 14:00-15:00	学芸員による展示解説	浅田真珠(学芸員)	21人	ロビー、展示室3
8 令和7年11月8日[土] 10:00-11:30	手話通訳付き展示解説	浅田真珠(学芸員)	3人	ロビー、展示室3
9 令和7年11月16日[日] 14:00-15:00	学芸員による展示解説	浅田真珠(学芸員)	28人	ロビー、展示室3
10 令和7年11月23日[日] 13:00-14:30	浅井裕介ギャラリートーク&展示替え公開作業	浅井裕介(現代アーティスト)、近代美術館スタッフ	36人	展示室3
11 令和7年11月23日[日] 14:30-16:00	浅井裕介制作ワークショップ はじまりのゲー	浅井裕介(現代アーティスト)、近代美術館スタッフ	19人	アトリエ2
				合計 487人



展示解説「キミに夢中♡」



学芸員による展示解説(スライドトーク付き)「浮世絵の華」



カタチサトとおどる、夜の森の美術館



浅井裕介制作ワークショップ はじまりのゲー

3 レクチャー、ワークショップ

様々なテーマで行う講座。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和8年3月23日[月] 13:00-16:00	言葉だけに頼らない表現を学びあう コミュニケーション入門	庄崎隆志(演出家・劇作家・俳優・ノンバーバルコミュニケーター)	5人	美術館ロビー、展示室3
合計 5人				

4 とくしま近美 こども鑑賞クラブ+ 「君こそアートの名探偵」

講師との対話やクイズなどのメニューを通して、鑑賞の楽しさを体験する講座。今年度は、「こども鑑賞クラブラボ」での検討を経て実施。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和7年7月26日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (キミに夢中♡)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 9人 保護者 3人 幼児 1人	展示室3
2 令和7年9月27日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (浮世絵の華)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 4人 保護者 4人	展示室1、2
3 令和7年10月25日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (徳島のたからもの)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 2人 保護者 1人	展示室2
4 令和7年11月15日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (美術と野獣)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 4人 保護者 2人	ロビー、 展示室3

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
5 令和8年1月31日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (菊畑茂久馬展)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 6人 保護者 3人	展示室3
6 令和8年2月28日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (空間往来)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 4人 保護者 2人 幼児 1人	展示室1、2
7 令和8年3月14日[土] 14:00-14:45	こども鑑賞クラブ+ (ワイワイびじゅつかん)	竹内利夫(上席学芸員)、 笠井優(主任)、 飯田恵実(学芸員)	児童 9人 保護者 3人	展示室3
児童 38人、保護者 18人、幼児 2人/合計 58人				

5 共催事業

文化の森6館による共催事業、外部団体とのコラボ企画。

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和7年5月5日[月・祝] 09:30-16:00	こどもの日フェスティバル	近代美術館スタッフ	187人	美術館ロビー 展示室1、2
2 令和7年8月11日[月・祝] 09:30-16:00	文化の森 サマーフェスティバル	近代美術館スタッフ	751人	美術館ロビー 展示室1、2
3 令和7年8月30日[土] 13:30-16:00	徳島県博物館協議会連携企画 博物館 アワカルト講座第3回 共通テーマ「博物 館の表と裏」 「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき 人間像コレクション～」展について	久米千裕(主任学芸員)ほか	32人	博物館講座室
4 令和7年9月19日[金] 19:00-20:30	文化の森 よるあそび	近代美術館スタッフ	326人	美術館ロビー 展示室1、2
5 令和7年11月3日[月・祝] 09:30-16:00	文化の森 秋祭り	近代美術館スタッフ	712人	美術館ロビー 展示室1、2
6 令和7年11月29日[土] 12:30-13:30	「飛び出せ！文化の森」博物館・近代美 術館・鳥居龍蔵記念博物館ライブ中継	久米千裕(主任学芸員)ほか	30人	徳島県立海部病 院
7 令和7年12月19日[金] 09:25-11:05	「飛び出せ！文化の森」	久米千裕(主任学芸員)ほか	98人	徳島県立ひのみ ね支援学校
8 令和8年1月12日[月・祝] 9:30-16:00	「飛び出せ！文化の森」	久米千裕(主任学芸員)ほか	136人	ゆめタウン徳島
9 令和8年2月11日[水・祝] 9:30-16:00	文化の森 ウインターフェスティバル	近代美術館スタッフ	553人	美術館ロビー 展示室1、2
10 令和8年2月14日[土] 10:00-18:00	「飛び出せ！文化の森」	久米千裕(主任学芸員)ほか	70人	アミコ東館
11 令和8年3月1日[日] 13:30-16:00	コラボ企画 N*CAP美術館 ～アートの世界 をのぞきこもう！～	N*CAP(鳴門教育大学子ども向け美 術ワークショップサークル)	8人	アトリエ2、 展示室1、2
				合計 2,903人

6 関係機関による美術館利用

開催日時	行事名	講師	参加者	場所
1 令和7年11月8日[土] 12:30-16:30	第11回徳島県中学校総合文化祭ふれあ いワークショップ	武内優記(彫刻家)	27人	講座室、 アトリエ2
				合計 27人

7 団体鑑賞(学校関係以外)での解説

団体名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
1 社会福祉法人カリヨン れもんワークス(名西郡)	令和7年9月20日[土] 10:45-11:30	笠井優(主任)	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」 と「大阪・関西万博特別連動企画」 「浮世絵の華-原安三郎コレクション-」を 鑑賞。	一般 17人 引率 5人
2 博愛記念病院デイサービス (徳島市)	令和7年10月7日[火] 13:55-14:30	笠井優(主任)、 三宅翔士(主任)	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」 と「大阪・関西万博特別連動企画」 「浮世絵の華-原安三郎コレクション-」を 鑑賞。	一般 13人 引率 8人
3 博愛記念病院デイサービス	令和7年10月13日[月・祝] 14:00-14:35	笠井優(主任)	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」 と「大阪・関西万博特別連動企画」 「浮世絵の華-原安三郎コレクション-」を 鑑賞。	一般 14人 引率 8人
4 ふれあい健康館ボランティア セミナー「いきいき健康ひろ ば」有志	令和7年11月8日[土] 11:00-13:00	竹内利夫(上席 学芸員)	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」 と特別展「美術と野獣」を鑑賞。	一般 11人
5 勝浦町社会福祉協議会(勝 浦郡)	令和8年3月13日[金] 09:50-10:35	笠井優(主任)	特集展示「子連れdeアートWEEK」を鑑 賞。	一般 13人 引率 2人
一般 68人、引率 23人/合計 91人				

8 単独の団体鑑賞(学校関係以外)

団体名	開催日時	展覧会名	参加者
1 あおばの杜(徳島市)	令和7年6月19日[木] 13:45-14:15	開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	一般 13人 引率 4人
2 社会福祉法人ルミエール (板野町)	令和7年8月6日[水] 13:35-14:20	開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	一般 4人 介助者 4人
3 障害者施設あゆみ園 (徳島市)	令和7年10月29日[水] 13:35-14:45	開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	一般 8人 介助者 5人
4 デイサービスばんどらのはこ (鳴門市)	令和8年1月18日[日] 14:40-15:00	所蔵作品展2025年度II「空間往来」を鑑賞。	一般 2人 引率 2人
一般 27人、引率・介助者 15人/合計 42人			

9 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得のための博物館実習の受け入れを行った。

● 期間

令和7年8月26日[火]-令和7年8月30日[土]の5日間

● 学校名及び人数

徳島大学	2人
鳴門教育大学	1人
計	3人

● カリキュラム

	開催日	時間	内容	担当	参加者
1	令和7年8月26日[火]	09:40-10:50	ガイダンス、施設見学	笠井優(主任)	3人
2		10:50-12:00	講義:美術館業務について	竹内利夫(上席学芸員)	
3		13:00-14:40	講義・演習:所蔵作品展	久米千裕(主任学芸員)	

	開催日	時間	内容	担当	参加者
4	令和7年8月26日[火]	14:40-16:20	講義・演習:特別展	浅田真珠(学芸員)	3人
5	令和7年8月27日[水]	09:40-10:50	講義:保存/災害対策	飯田恵実(学芸員)	
6		10:50-12:00	演習:作品貸出	浅田真珠(学芸員)	
7		13:00-16:20	演習:作品取扱	三宅翔士(主任)、安達一樹(主席)、浅田真珠(学芸員)、井手迫蒼(学芸員)	
8	令和7年8月28日[木]	09:40-10:50	講義:収集	三宅翔士(主任)	
9		10:50-12:00	演習:作品管理	飯田恵実(学芸員)、井手迫蒼(学芸員)	
10		13:00-14:40	演習:屋外彫刻洗浄	飯田恵実(学芸員)、久米千裕(主任学芸員)	
11		14:40-16:20	演習:二次資料整理	久米千裕(主任学芸員)	
12	令和7年8月29日[金]	09:40-12:00	演習:学校連携	笠井優(主任)	
13		13:00-14:40	講義:地域と美術	安達一樹(主席)	
14		14:40-16:20	演習:美術館教育	笠井優(主任)	
15	令和7年8月30日[土]	09:40-12:00	演習:ユニバーサルミュージアム	竹内利夫(上席学芸員)	
16		13:00-16:20	演習:総括	笠井優(主任)、飯田恵実(学芸員)	
12:00-13:00昼休み 16:20-16:40事務連絡・レポート作成(担当:笠井、飯田)					

10 学芸員養成科目開講への協力

徳島県と徳島大学、鳴門教育大学、四国大学との間の協定にもとづき、学芸員資格の取得を希望する学生のために、科目開講に協力した。博物館職員を中心に大学教員、近代美術館・文書館職員が共同で講義を担当した。(会場:博物館講座室)

	科目	テーマ	内容	担当	開催日時	参加者
1	博物館資料保存論	美術館における資料の保存と管理1	美術作品の保存と修復	飯田恵実(学芸員)	令和7年9月4日[木]	41人
2	博物館資料保存論	美術館における資料の保存と管理2	美術作品の保存と修復	飯田恵実(学芸員)	令和7年9月4日[木]	41人
3	博物館展示論	美術館展示の意義と実際	歴史と課題	久米千裕(主任学芸員)	令和8年2月25日[水]	35人
4	博物館展示論	美術館展示の意義と実際	美術館の展示に関わる諸要素の整理と紹介	三宅翔士(主任)	令和8年2月25日[水]	35人
5	博物館展示論	美術館展示の意義と実際	所蔵作品展	三宅翔士(主任)、井手迫蒼(学芸員)	令和8年2月25日[水]	34人
6	博物館展示論	美術館展示の意義と実際	特別展	久米千裕(主任学芸員)	令和8年2月26日[木]	32人
7	博物館展示論	美術館展示の意義と実際	現代アートと美術館	浅田真珠(学芸員)	令和8年2月26日[木]	33人
8	博物館教育論	美術館教育	美術館教育事業の実際	笠井優(主任)	令和8年3月4日[水]	32人
9	博物館教育論	美術館と学校教育	学校教育との連携	笠井優(主任)	令和8年3月5日[木]	33人
10	博物館教育論	ユニバーサルミュージアム	実際と展望	竹内利夫(上席学芸員)	令和8年3月5日[木]	33人
11	博物館教育論	地域連携	コラボ企画・ボランティア	笠井優(主任)、浅田真珠(学芸員)	令和8年3月5日[木]	33人

美術館教育として、コロナ禍をきっかけにオンラインプログラムの作成・発信を継続している。学芸員によるコンパクトな所蔵作品の解説「90秒の鑑賞タイム」、視覚障がいの有無に関係なく、学芸員による作品をあえて音声のみで楽しんでもらう「絵のない鑑賞タイム」、デジタルアーカイブについて、ちらし配布等によりPRした。

4-2 学校教育との連携

1 学校の授業等による美術館利用

図工、美術、総合的学習の時間などを利用して来館した小学校・中学校・高等学校に対して、作品鑑賞や見学で学芸員など職員が講師をつとめるだけでなく、鑑賞活動後に美術館アトリエで造形活動を行ったり、ディスカッションをしたりした。今後も学校や園のニーズに応じた対応に努め、美術館を活用したプログラムを学校や園、大学等と協同で計画・実施していく。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	徳島文理大学	令和7年5月13日[火] 15:10-16:00	授業の一環として開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	笠井優(主任)	学生 6人 引率 1人
2	徳島県立総合看護学校 第一看護学科 1年生	令和7年5月14日[水] 13:15-16:05	「阿波の探求」の授業の一環として、開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	学生 40人 引率 2人
3	徳島文理大学 人間生活学部 児童学科	令和7年5月17日[土] 09:50-11:33	「図画工作教育法」の授業の一環として、開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	学生 13人 引率 1人
4	四国大学大学院	令和7年5月17日[土] 13:27-15:40	「美術・美術史特論」の授業の一環として、開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	久米千裕(主任学芸員)	学生 3人 引率 1人
5	徳島大学総合科学部	令和7年5月18日[日] 13:30-15:00	「美術概論」の授業の一環として、開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	久米千裕(主任学芸員)	学生 9人 引率 1人
6	四国大学	令和7年7月5日[土] 09:30-12:15	授業の一環として開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	竹内利夫(上席学芸員)	学生 2人 引率 1人
7	四国大学	令和7年7月8日[火] 14:15-17:00	「芸術論」の授業の一環として開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	竹内利夫(上席学芸員)	学生 16人 引率 1人
8	徳島市不動小学校 3、4年生	令和7年7月15日[火] 10:20-11:35	授業の一環として開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	児童 12人 引率 3人
9	四国大学	令和7年8月6日[水] 13:40-16:15	「芸術入門(美術)」の授業の一環として開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	学生 10人 引率 1人
10	みつばしこどもえん(徳島市) 5歳児	令和7年8月19日[火] 09:45-11:00	開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞後、アトリエ2にて墨を使ったにじみの体験活動を行った。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	園児 22人 引率 3人
11	みつばしこどもえん 4歳児	令和7年8月21日[木] 09:40-10:50	開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞後、アトリエ2にて顔彩絵具を使って活動した。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	園児 23人 引率 4人
12	鳴門教育大学 図工・美術科 教育コース	令和7年11月15日[土] 13:00-17:00	授業の一環として所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」を鑑賞した。	笠井優(主任)	学生 8人 引率 1人
13	神山まるごと高専 3年生	令和7年11月20日[木] 09:40-11:40	「アーティスト探究」の授業の一環として、所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。展示室2にてグループワークを行った。	笠井優(主任)、 浅田真珠(学芸員)	学生 14人 引率 1人
14	穴吹カレッジ(徳島市) 1、2年生	令和8年1月21日[水] 15:00-16:00	授業の一環として所蔵作品展2025年度II「空間往来」を鑑賞。展示室1にて「勝手にしんさいん」を行った。	笠井優(主任)、 久米千裕(主任学芸員)	学生 15人 引率 2人
園児 45人、児童 12人、学生 136人、引率 23人/合計 216人					

2 学校行事(遠足など)による美術館利用

学校の求めにより学芸員など美術館職員が展覧会を案内する鑑賞支援活動を行っている。事前に学校側と打ち合わせをして、学校の事情や児童生徒の学年に応じた効果的な対応ができるように努めている。なお、学校教育活動による観覧は、小・中・高等で、特別展・所蔵作品展(常設展)いずれも無料としている。

(1) 学芸員等が鑑賞支援活動を行った団体鑑賞

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
1	徳島県立阿南支援学校 高等部1年生	令和7年5月9日[金] 12:22-13:00	笠井優(主任)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	生徒 14人 引率 10人
2	徳島市八万小学校 3年生	令和7年5月15日[木] 10:05-11:22	笠井優(主任)、久米 千裕(主任学芸員)、 飯田恵実(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 101人 引率 6人 サポーター 1人
3	徳島市上八万小学校 3,4年生	令和7年5月16日[金] 09:40-11:00	久米千裕(主任学芸 員)、飯田恵実(学芸 員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 101人 引率 6人
4	徳島市沖洲小学校 5年生	令和7年5月16日[金] 13:30-15:05	三宅翔士(主任)、久米 千裕(主任学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 105人 引率 4人 サポーター 1人
5	阿南市立羽ノ浦小学校 1年生	令和7年5月21日[水] 10:00-11:40	笠井優(主任)、久米千 裕(主任学芸員)、飯田 恵実(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 79人 引率 5人
6	石井町立高川原小学校 3年生	令和7年5月30日[金] 09:45-11:45	久米千裕(主任学芸 員)、飯田恵実(学芸 員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 49人 引率 5人
7	阿南市立見能林小学校 1,2年生	令和7年6月4日[水] 09:40-11:05	三宅翔士(主任)、笠 井優(主任)、久米千裕 (主任学芸員)、飯田 恵実(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 109人 引率 8人
8	徳島県立板野支援学校 中学部1年生	令和7年6月6日[金] 10:55-13:05	笠井優(主任)、浅田 真珠(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	生徒 10人 引率 8人
9	みつばしこどもえん 5歳児	令和7年6月12日[木] 09:40-10:55	笠井優(主任)、久米 千裕(主任学芸員)、 飯田恵実(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	園児 23人 引率 5人 サポーター 2人
10	みつばしこどもえん 4歳児	令和7年6月18日[水] 09:40-10:48	笠井優(主任)、飯田 恵実(学芸員)、井手 迫蒼(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	園児 11人 引率 2人 サポーター 2人
11	みつばしこどもえん 4歳児	令和7年6月19日[木] 09:40-10:50	笠井優(主任)、久米 千裕(主任学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	園児 11人 引率 2人 サポーター 1人
12	ステラプリスクール徳島 (徳島市) 3-5歳児、1-6年生	令和7年7月24日[木] 10:30-11:45	笠井優(主任)、久米 千裕(主任学芸員)、 飯田恵実(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	幼児 33人 児童 12人 引率 7人
13	みつばしこどもえん 3歳児	令和7年8月5日[火] 10:00-11:00	笠井優(主任)、飯田 恵実(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	園児 9人 引率 2人 サポーター 1人
14	みつばしこどもえん 3歳児	令和7年8月6日[水] 10:00-11:00	笠井優(主任)、井手迫 蒼(学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	園児 10人 引率 2人
15	放課後等デイサービス Tsuda-machi-KIDS (徳島市)	令和7年8月6日[水] 15:00-15:50	笠井優(主任)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	児童 5人 生徒 4人 引率 3人
16	きっずサポートげんきの森 (徳島市) 3歳児、小学生、中学生	令和7年8月19日[火] 13:20-14:20	笠井優(主任)、久米 千裕(主任学芸員)	開館35周年記念展「キミに夢中♡」 展を鑑賞。	園児 1人 児童 9人 生徒 2人 引率 11人
17	阿南市立大野小学校 3,4年生	令和7年9月10日[水] 12:45-14:00	三宅翔士(主任)、笠 井優(主任)	所蔵作品展2025年度I「徳島のた からもの」と、「大阪・関西万博特 別連動企画」「浮世絵の華-原安 三郎コレクション-」を鑑賞。	児童 35人 引率 4人
18	放課後等デイサービス Tomo de coco (徳島市)	令和7年10月11日[土] 10:50-11:45	笠井優(主任)	開館35周年記念展「美術と野獣」 展を鑑賞。	児童 10人 引率 5人

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
19	徳島県立国府支援学校 4年生	令和7年10月17日〔金〕 10:50-11:30	久米千裕（主任学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 5人 引率 3人
20	みつぼしこどもえん 4歳児	令和7年10月21日〔火〕 09:30-10:45	笠井優（主任）、浅田真珠（学芸員）、井手迫蒼（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 13人 引率 2人 サポーター 1人
21	みつぼしこどもえん 4歳児	令和7年10月22日〔水〕 09:30-10:45	久米千裕（主任学芸員）、井手迫蒼（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 11人 引率 2人
22	北島町立北島小学校 1,2年生	令和7年10月22日〔水〕 09:40-11:10	竹内利夫（上席学芸員）、笠井優（主任）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 200人 引率 12人
23	北島町立北島北小学校 3年生	令和7年10月23日〔木〕 13:00-13:40	三宅翔士（主任）、笠井優（主任）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 57人 引率 4人
24	佐那河内村立佐那河内 保育所 5歳児	令和7年10月28日〔火〕 09:45-11:05	笠井優（主任）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 10人 引率 3人
25	鳴門教育大学附属小学校 3年生	令和7年10月28日〔火〕 12:50-14:25	三宅翔士（主任）、笠井優（主任）、浅田真珠（学芸員）、井手迫蒼（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 98人 引率 4人
26	みつぼしこどもえん 3歳児	令和7年10月30日〔木〕 09:45-10:50	笠井優（主任）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 9人 引率 2人 サポーター 1人
27	阿南市立桑野小学校 4,5年生	令和7年10月30日〔木〕 09:40-11:25	浅田真珠（学芸員）	開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 43人 引率 3人
28	みつぼしこどもえん 3歳児	令和7年10月31日〔金〕 09:40-10:45	笠井優（主任）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 10人 引率 3人 サポーター 2人
29	徳島市助任小学校 2年生	令和7年10月31日〔金〕 10:05-11:50	竹内利夫（上席学芸員）、三宅翔士（主任）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 130人 引率 6人
30	鳴門市堀江北小学校 1,2年生	令和7年10月31日〔金〕 11:00-11:45	笠井優（主任）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 44人 引率 4人
31	海陽町立穴喰小学校 3,4年生	令和7年10月31日〔金〕 12:30-13:30	笠井優（主任）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 24人 引率 5人
32	海陽町立海南小学校 5年生	令和7年10月31日〔金〕 13:00-14:00	竹内利夫（上席学芸員）、三宅翔士（主任）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 24人 引率 5人
33	徳島市南井上小学校 3年生	令和7年11月11日〔火〕 09:45-11:30	三宅翔士（主任）、飯田恵実（学芸員）、浅田真珠（学芸員）、井手迫蒼（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 76人 引率 5人
34	徳島市津田保育所 4歳児	令和7年11月12日〔水〕 09:30-10:20	飯田恵実（学芸員）、井手迫蒼（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 15人 引率 4人
35	みつぼしこどもえん 5歳児	令和7年11月12日〔水〕 09:40-10:45	三宅翔士（主任）、浅田真珠（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 11人 引率 2人
36	みつぼしこどもえん 5歳児	令和7年11月13日〔木〕 09:40-10:55	笠井優（主任）、飯田恵実（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	園児 11人 引率 2人
37	鳴門第一小学校 3年生	令和7年11月13日〔木〕 09:30-11:00	浅田真珠（学芸員）、井手迫蒼（学芸員）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 77人 引率 6人
38	上板町立神宅小学校 1,2年生	令和7年11月14日〔金〕 09:30-11:07	笠井優（主任）、三宅翔士（主任）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 33人 引率 4人
39	徳島市方上小学校 3,4年生	令和7年11月14日〔金〕 14:25-15:06	竹内利夫（上席学芸員）、笠井優（主任）	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	児童 43人 引率 4人

	学校名	開催日時	講師	展覧会名	参加者
40	佐那河内村立佐那河内保育所 5歳児	令和8年1月28日〔水〕 10:15-11:30	笠井優(主任)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」と、特集展示「没後5周年 菊畑茂久馬」展を鑑賞。	園児 10人 引率 3人
41	みつぼしこどもえん 5歳児	令和8年3月10日〔火〕 09:45-11:17	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」と、特集展示「子連れdeアートWEEK」を鑑賞。	園児 21人 引率 3人 サポーター 2人
42	おおぎ認定こども園 4、5歳児	令和8年3月12日〔木〕 10:15-11:15	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)、飯田恵実(学芸員)、井手迫蒼(学芸員)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」と、特集展示「子連れdeアートWEEK」を鑑賞。	園児 45人 引率 4人 サポーター 1人
43	放課後等デイサービス Tomo de coco	令和8年3月14日〔土〕 11:05-12:05	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」と、特集展示「子連れdeアートWEEK」を鑑賞。	児童 9人 引率 5人
44	みつぼしこどもえん 3歳児	令和8年3月17日〔火〕 09:50-10:50	笠井優(主任)、飯田恵実(学芸員)、井手迫蒼(学芸員)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」と、特集展示「子連れdeアートWEEK」を鑑賞。	園児 18人 引率 4人
45	みつぼしこどもえん 4歳児	令和8年3月18日〔水〕 09:40-10:45	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)、飯田恵実(学芸員)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」と、特集展示「子連れdeアートWEEK」を鑑賞。	園児 18人 引率 4人
46	徳島市城西中学校 美術部	令和8年3月29日〔日〕 09:55-11:30	久米千裕(主任学芸員)	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」を鑑賞。	生徒 7人 引率 1人
幼児 33人、園児 254人、児童 1,491人、生徒 37人、引率 204人/合計 2,019人(サポーター15人。合計数には含まず。)					

(2) 学校単独の団体鑑賞

	学校名	開催日時	展覧会名	参加者
1	四国大学 人間生活科学科	令和7年6月3日〔火〕 15:43-16:55	開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	学生 8人 引率 1人
2	セサミ幼児園(徳島市) 4、5歳児	令和7年8月28日〔木〕 11:05-11:10	開館35周年記念展「キミに夢中♡」展を鑑賞。	園児 31人 引率 2人
3	四国大学	令和7年11月11日〔火〕 11:10-12:10	開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	学生 6人 引率 1人
4	徳島文理大学短期大学部 言語コミュニケーション学科	令和7年11月19日〔水〕 14:35-15:15	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	学生 8人 引率 1人
5	徳島県立小松島高等学校	令和7年11月22日〔土〕 13:00-14:45	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	生徒 5人 引率 2人
6	学校法人明里学園 みのり 高等学校 (徳島市、阿南市) 1-3年生	令和7年11月28日〔金〕 10:35-15:10	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」と、開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	生徒 39人 引率 4人
7	徳島文理大学	令和7年11月29日〔土〕 12:00-15:00	所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」を鑑賞。	学生 2人 引率 2人
8	四国大学	令和7年12月3日〔水〕 10:30-11:50	開館35周年記念展「美術と野獣」展を鑑賞。	学生 14人 引率 1人
9	放課後等デイサービスぱ れっと(徳島市)	令和8年3月25日〔水〕 14:20-14:35	所蔵作品展2025年度Ⅱ「空間往来」を鑑賞。	児童 8人 引率 4人
園児 31人、児童 8人、生徒 44人、学生 38人、引率 18人/合計 139人				

3 学校の授業等による講師派遣(出前授業)

美術館職員が学校等に出向く「出前授業」は、小学校だけでなく保育所やこども園も行っている。出前授業の多くは、掛図(所蔵作品を印刷して作成した教材)や鑑賞シートを使った鑑賞授業である。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	佐那河内村立佐那河内保育所(佐那河内村) 5歳児	令和7年6月24日[火] 10:00-11:00	所蔵作品のかかるたで遊んだ後、掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。後半は掛図を絵札にかるたの読み札作りを行った。	笠井優(主任)、井手迫蒼(学芸員)	園児 9人 保育士 2人
2	鳴門教育大学	令和7年7月1日[火] 10:00-11:00	美術館と学校教育との連携について講義を行った。	笠井優(主任)	学生 106人 教員 3人
3	鮎喰川コモン	令和7年7月5日[土] 10:00-11:00	掛図による鑑賞と「ヤッピーネのたからもの」を実施した。	笠井優(主任)	児童 11人 保護者 4人 職員 1人
4	鳴門市里浦小学校(支援学級)	令和7年9月17日[水] 09:35-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した後、グループごとに「賞をプレゼント」をおこなった。後半はマチスの手法を参照した切り紙絵を制作した。	笠井優(主任)	児童 7人 教員 3人
5	津田保育所(徳島市) 2-5歳児	令和7年11月25日[火] 09:40-11:40	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。	笠井優(主任)	園児 62人 保育士 14人
6	池田高等学校三好校(三好市) 3年生	令和7年12月10日[水] 10:50-11:40	地域ゆかりの作家である山下菊二作品を含む掛図を鑑賞した後、コラージュ作品の制作をおこなった。	笠井優(主任)	生徒 17人 教員 3人
7	四国大学児童学科 4年生	令和7年12月12日[金] 13:00-14:30	美術館と就学前施設との連携について講義を行った。アートカード、鑑賞シート「えのほんをつくろう」を使ったデモンストレーションも実施した。	笠井優(主任)	学生 29人 教員 2人
8	佐那河内村立佐那河内保育所・佐那河内村立佐那河内小学校 5歳児、小学1年生	令和7年12月18日[木] 09:40-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。後半は日本画絵の具のデモンストレーションの後、顔彩でぬりえやお絵かきを行った。	笠井優(主任)	園児 10人 児童 13人 保育士・教員 4人
9	神山まるごと高専 3年生	令和8年1月22日[木] 10:45-12:15	美術館訪問時に鑑賞した作品から1点を選び、その作品を聴覚や触覚に読み替えて伝えるワークを教員協力のもと実施した。1つ前の授業で音声データ、触れる・音が鳴る成果物を制作し、本授業ではグループごとに発表を実施した。	笠井優(主任)	生徒 14人 教員 1人
10	中野島保育所(阿南市) 4・5歳児	令和8年1月27日[火] 10:00-11:20	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した後、後半はマチスの手法を参照した切り紙絵を制作した。	笠井優(主任)、飯田恵実(学芸員)	園児 11人 保育士 4人
11	おおぎ認定こども園(徳島市) 0-3歳児、乳幼児親子	令和8年2月18日[水] 10:00-11:30	掛図を鑑賞してお気に入りの作品を見つけ、気に入ったところや見つけたことなどをお話した。入園前の乳幼児親子対象のわんぱく教室参加者とも鑑賞を行った。	笠井優(主任)、井手迫蒼(学芸員)	乳幼児 9人 園児 103人 保護者 8人 保育士 17人
乳幼児 9人、園児 195人、児童 31人、生徒 31人、学生 135人、保育士・教員 53人、職員 1人、保護者 12人/ 合計 467人					

4 学校の授業等への協力

(1) 授業

鑑賞シートを活用した授業に関連した資料の提供や教材の貸し出し、鑑賞の授業や教員研修に関する相談等を行った。(26件)

・就業前施設(1件)

おおぎ認定こども園

・小学校(15件)

徳島市不動小学校、徳島市内町小学校(2件)、徳島市津田小学校、徳島市沖洲小学校、徳島市助任

- 小学校、徳島市城東小学校(2件) 藍住町立藍住東小学校、藍住町立藍住南小学校、藍住町立藍住北小学校、鳴門市里浦小学校、鳴門教育大学附属小学校、北島町立北島小学校(2件)
- ・中学校(3件)
 - 相模原市立旭中学校、阿南市立阿南中学校(2件)
- ・高等学校・特別支援学校(1件)
 - 徳島県立ひのみね支援学校
- ・大学、その他(6件)
 - 鳴門教育大学(2件)、四国大学、学校法人中川学園広島総合教育専門学校、助任学童保育クラブ、博物館実習

(2) 鑑賞シート

鑑賞シートは、当館の鑑賞教育推進プロジェクトで開発した鑑賞教材で、①学校の授業で使う、②鑑賞のきっかけをつかみ深める、③学校での授業と美術館における鑑賞を結びつける、という特徴をもっている。広報的送付の他、必要部数を各学校に送り活用してもらっている。

鑑賞シートの配布数

鑑賞シートの種類	配布数
1 日下八光〈阿南の海〉	8
3 ピカソ〈ドラ・マールの肖像〉	0
4 クレー〈子供と伯母〉	38
5 三宅克己の風景画	128
6 シーガルの人間像	98
7 吹田文明の色と光	161
8 大久保英治さんとメチからスコープ!	61
9 屏風のなかのお話	188
10 よーいアクション!	78
11 えのほんをつくろう	418
12 彫刻EYE(アイ)	8
13 墨と紙の魅力	289
14 不思議の世界	281
15 色いろいろ探求バトル	183
16 模写して発見!芸術家の技	213
18 ART CARD	465
19 白と黒の秘密を探ろう	18
20 伊原さんの絵でおしゃべり鑑賞	182
21 絵と音をコラボさせてあそぼう	154
合計	2,971

※3ピカソ〈ドラ・マールの肖像〉は在庫切れのため配布せず。
 ※2は廃番とし、17は年度末に改訂版を発行した。

5 中高大学生の職場体験・インターンシップ

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高大学生の職場体験・インターンシップ」の受け入れを行った。

	学校名	開催日時	内容	講師	参加者
1	鳴門教育大学 附属中学校 2年生	令和7年7月3日[木] 09:30-15:00	オリエンテーション・施設見学、美術館の仕事・所蔵作品展について、野獣展ワークシート準備、特別展について、反省会	笠井優(主任)、三宅翔士(主任)、久米千裕(主任学芸員)、飯田恵実(学芸員)、浅田真珠(学芸員)	生徒 4人
		令和7年7月4日[金] 09:30-15:00	教育普及について、サマーフェスティバル準備、資料整理、広報作業、反省会	笠井優(主任)、井手迫蒼(学芸員)、竹原裕子(会計年度任用職員)、田中美三子(会計年度任用職員)	
2	徳島市南部中学校 2年生	令和7年10月23日[木] 09:30-16:00	オリエンテーション・施設見学、資料整理、秋フェス準備、こども鑑賞クラブ準備、反省会	笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)、井手迫蒼(学芸員)、長尾明子(会計年度任用職員)、田中美三子(会計年度任用職員)、大和田涼央(会計年度任用職員)	生徒 5人
					生徒 9人/合計 9人

6 教員研修会などへの講師派遣

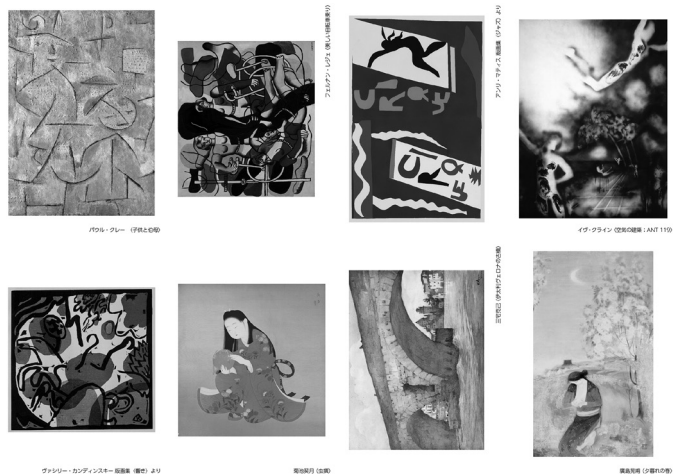
	研修会名	開催日時	内容	講師	場所	参加者
1	小松島市小学校教育研究会 図工部会研修会	令和7年6月5日[木] 14:30-16:30	鑑賞プログラムのデモンストレーションとして掛図で「お気に入りを見つけよう」を行った。学校連携事業の紹介後、「賞をプレゼント」を通してマティスの版画集〈ジャズ〉掛図を鑑賞し、手法を参照した切り紙絵を制作・発表した。	笠井優(主任)	小松島市立和田島小学校	教員 11人
2	令和8年度フレッシュ研修Ⅱ 企業等研修 1日目	令和7年7月23日[水] 09:45-16:00	学校教育との連携、ユニバーサル事業についての講義、演習を実施した。	竹内利夫(上席学芸員)、笠井優(主任)	美術館講座室、展示室1、2、3、ロビー	教員 8人
	令和8年度フレッシュ研修Ⅱ 企業等研修 2日目	令和7年7月24日[木] 09:45-16:00	遠足対応の見学、展示室で鑑賞プログラムの体験を行った後、各校児童対象の活動プログラムの考案・体験を実施した。	笠井優(主任)		
3	先生のための美術館体験&交流プログラム ミュージアム研修会(アートの日勉強会)	令和7年8月3日[日] 10:00-12:00	講座室で学校連携事業を紹介した後、展示室で見学対応のデモンストレーションとしておしゃべり鑑賞と「賞をプレゼント」を行った。	笠井優(主任)、久米千裕(主任学芸員)	美術館講座室、展示室1、2、3	教員・保育者・学生 10人 幼児・児童・生徒 7人
教員・保育者・学生 29人、幼児・児童・生徒 7人/合計 36人						

7 鑑賞教育推進プロジェクト

学校と美術館を結ぶ鑑賞教育を実践的に研究するための研究会。平成14年7月の発足以来、「鑑賞シート」や「鑑賞シート指導の手引き」の検討、シートを使った実践とその普及に取り組んでいる。鑑賞教育を幅広く研究し、美術館における鑑賞教育に学校現場の意見を取り入れる場ともなっている。メンバーは、小学校、中学校等の教員、大学の研究者、当館職員などである。コロナ禍以降は現地参集とオンラインのハイブリッドで打合せ会を行っているが、今年度は打ち合わせ会未実施となった。

(1) 作成したワークシート、指導の手引き

- ・「アートカード1 改訂版(8枚組)」(鑑賞シートno.17改訂版) A4判縦2ページ 令和8年3月31日発行
レイアウト:大和田涼央(会計年度任用職員)



鑑賞シートno.17 ART CARD(改訂版)

8 展覧会ごとのワークシート作成

所蔵作品展、特別展ごとに子どもワークシートを作成している(対象年齢はその都度検討)。学校の団体鑑賞でセルフガイド的に用いたり、グループ鑑賞の教材として活用したりしている。また、個人来館した子どもが自由に手に取れるよう展覧会場の入り口などに置いている。

- ・開館35周年記念展「キミに夢中♡-学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション-」(前期) A3片面刷 簡易印刷 令和7年4月発行
- ・開館35周年記念展「キミに夢中♡-学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション-」(中期) A3片面刷 簡易印刷 令和7年7月発行
- ・開館35周年記念展「キミに夢中♡-学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション-」(後期) A3片面刷 簡易印刷 令和7年7月発行
- ・所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」 A4両面刷 簡易印刷 令和7年9月発行
- ・所蔵作品展2025年度II「空間往来」 A4両面刷 簡易印刷 令和7年12月発行
- ・開館35周年記念展「美術と野獣-人間の根源へ-」 297cm×297cm 片面刷 簡易印刷 令和7年10月発行

● 担当

各展覧会担当者 レイアウト等:大和田涼央(会計年度任用職員)



所蔵作品展 2025年度I 「徳島のたからもの」

9 学校へのポスター、美術館ニュース、展覧会図録等の送付

(1) ポスター、美術館ニュース等

学校行事や授業などで当館を利用するときに役立つ印刷物を送付。「展覧会案内」や展覧会のポスター・チラシ(3回)などを送付している。

● 送付先

小学校160校、中学校78校、高等学校・特別支援学校等50校

(2) 展覧会図録

学校図書館や授業で活用できるよう、送付可能なものについて図録を送付している。今年度は2種類を送付。

● 送付先

小学校164校、中学校77校

4-3 美術館ボランティア、地域との協働

美術館活動への県民の参加を促し、地域に根ざした、開かれた美術館になるための取り組みとして平成15年度から、美術館ボランティアを導入している。自主的で創造的な活動を目指すボランティアグループ「ビボラボ」(～平成29年3月:活動休止中)の活動を経て、現在は、平成23年度より取り組む「アートイベントサポーター」の活動が中心となっている。

「アートイベントサポーター」は、近代美術館が実施する事業の運営をサポートするボランティアで、美術館が設定したサポート対象事業と日時から希望の日時を選んで参加できる。イベントサポーターは年々増加傾向にあり生涯学習の場としての美術館への期待が窺える。新型コロナウイルス感染症拡大を機に一般的となったオンラインミーティングを引き続き併用し、柔軟に参加できるようにしている。

また、N*CAP(鳴門教育大学子ども向け美術ワークショップサークル)と継続的に協働したコラボ企画(4-1美術館教育5共催事業に記載)に取り組むとともに、今年度はバリフリBOX∞(無限大)実行委員会との連携企画(4-1美術館教育2特別展に関連した催しに記載)も実施した。

次年度以降も、幅広い県民参加を促すとともに、従来の枠にとらわれない地域の団体・グループとの協働について積極的に取り組んでいく。

1 「アートイベントサポーター」の実績

対象事業数 2種類 活動期間4月-3月 登録会員数 計40名

対象事業別実績

(1)美術館ユニバーサル事業の運営:活動期間5月-3月、会員数34名

(2)子どものアート活動サポート事業:活動期間4月-3月、会員数22名

2 コラボ企画として協働した地域の団体・グループ

● バリフリBOX∞(無限大)実行委員会

● N*CAP(鳴門教育大学子ども向け美術ワークショップサークル)

4-4 社会教育、生涯教育への講師派遣

	講座名	講師	会場	開催日時	対象	参加者
1	障がい者アート活動支援のためのワークショップ 「作品を魅力的に見せるコツ」 作品展示を考える	安達一樹(主席)、久米千裕(主任学芸員)	徳島県立障がい者交流プラザ3階アートワークルーム	令和7年10月7日[火] 14:00-16:00	一般	10人
2	シルバー大学 牟岐校 「開館35周年を迎えた近代美術館について」	久米千裕(主任学芸員)	牟岐町海の総合文化センター	令和7年10月20日[月] 13:00-13:50	一般	10人
3	ふれあい健康館ボランティア セミナー「いきいき健康ひろば」 「クリエイティブは人間の活力」	竹内利夫(上席学芸員)	徳島市ふれあい健康館1階	令和7年10月27日[月] 10:00-14:00	一般	41人
4	2025年度CONNECT「共生・多様性・アクセシビリティについて考えるトーク ②」「文化施設における『共生』をいま再考する」	河合翔(立命館大学生存学研究センター 客員研究員)、竹内利夫(上席学芸員)、田中みゆき(キュレーター、アクセシビリティ研究、社会福祉士)、塩瀬隆之(京都大学総合博物館 准教授)	京都国立近代美術館1階講堂	令和7年12月14日[日] 14:30-16:00	一般	35人
5	シルバー大学 徳島校 「開館35周年を迎えた近代美術館について」	竹内利夫(上席学芸員)	あわぎんホール4階大会議室	令和8年1月23日[金] 10:00-10:50	一般	149人
6	シルバー大学 美馬校 「開館35周年を迎えた近代美術館について」	三宅翔士(主任)	美馬市地域交流センター	令和8年1月27日[火] 10:00-10:50	一般	22人
7	シルバー大学 上板校 「開館35周年を迎えた近代美術館について」	安達一樹(主席)	上板町老人福祉センター	令和8年2月16日[月] 10:00-10:50	一般	19人
						合計 286人

4-5 ユニバーサルミュージアム

障がいのある方や幼児、外国人、高齢者など、幅広い利用者に楽しんでもらえる美術館を目指し、活動を続けている。地域の関係者とともに、ワークショップやボランティアなど参加型の要素を重視して取り組んでいる。複合施設の立地を意識し、エントランスやサインなど共用部分の利便性向上も視野に入れている。活動は、全ての人が芸術・文化に親しめることを究極の使命とする、鑑賞支援の実践と考え方を軸にしている。

1 経緯

平成23年度に手話通訳つきの展示解説を初めて行い、地域の関係団体や特別支援学校等との連携を模索した。25年度「みんなが楽しめる美術館づくり事業」、26年度「みんなで創るユニバーサルミュージアム事業」を実施。27年度「開館25周年記念 人間表現を楽しむ25のとびら展」、28年度「暮らしの感覚」展と関連させ、展示とイベントを中心に実践・検証を重ねていった。29年度から「ユニバーサルミュージアム展開事業」の新規予算をもとに備品の整備、改修、ビデオによる発信など、活動の幅を広げ、30年度から「ユニバーサル美術館展」をシリーズ化した。令和5年3月には、第16回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰「学芸員、障害当事者、サポーターが一体となってつくるユニバーサルミュージアム」を受賞した。

*3-1「子連れdeアートWEEK展」の項を参照。

2 令和7年度の普及事業

(1) 誰にも参加しやすい内容や情報保障に配慮した催し

1	おやこ鑑賞ツアー(4月29日)	「キミに夢中♡」展プログラム 参加者:18人
---	-----------------	------------------------

2	ベビーカーおさんぽツアー(5月18日)	「キミに夢中♡」展プログラム 参加者:16人
3	あの手この手で触図づくり(5月25日)	〃 参加者:22人
4	手話通訳付き展示解説(6月22日)	〃 参加者:7人
5	おやこ鑑賞ツアー(7月21日)	〃 参加者:16人
6	あの手この手で交流トーク(8月17日)	〃 参加者:37人
7	おやこ鑑賞ツアー(9月23日)	所蔵作品展2025年度Iプログラム 参加者:18人
8	バリフリBOX∞×徳島県立近代美術館「みんなで、わたし人形をつくろう」(10月12日)	「美術と野獣」展プログラム 参加者:15人
9	手話通訳付き展示解説(11月8日)	〃 参加者:3人
10	おいでおいで美術館デビュー「おえかき+おしゃべり」(令和8年3月7日)	「子連れdeアートWEEK」展プログラム 参加者:33人
11	にぎやか鑑賞会(3月8日)	〃 参加者:38人
12	大人もにぎやかツアー(3月8日)	〃 参加者:11人
13	おいでおいで美術館デビュー「おえかき+おしゃべり」(3月11日)	〃 参加者:16人
14	おいでおいで美術館デビュー「おえかき+おしゃべり」(3月14日)	〃 参加者:44人
15	ベビーカーde展示解説(3月15日)	〃 参加者:10人
16	目と手でアートなおしゃべり会(3月15日)	〃 参加者:16人
17	目と手でアートなおしゃべり会(3月15日)	〃 参加者:33人
18	スペシャルワイワイDAY(3月20日)	〃 参加者:32人
19	にぎやか鑑賞会(3月21日)	〃 参加者:20人
20	ベビーカーde展示解説(3月22日)	〃 参加者:16人
21	からだでアートとあそんじゃおう(3月22日)	〃 参加者:50人

(2) 自主的な研修・交流など

1	言葉だけに頼らない表現を学びあうコミュニケーション入門(令和8年3月23日)	
---	--	--

3 令和7年度の制作・環境整備

(1) サウンドマスキング

「子連れdeアートWEEK展」会場マスキングノイズを設置 令和8年3月

● 担当者

竹内利夫、笠井優

4-6 てみるの時間

アートに関する新しいことをやっ“てみる”参加型プログラム「てみるの時間」を、二十一世紀館との共催で開始した。「地域に根差し、連携する(基本理念より)」取り組みとして、県民との協働を推進して館運営の活性化と、地域との連携を図っていくことを目的とする。令和6年度にプレ企画を実施し、令和7年度から本格スタートした。

「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭」(平成21年度から令和5年度)の実績を踏まえ、コンクール方式の「チャレンジとくしま芸術祭」が支援してきた制作・発表活動をしている方々に加えて、アートに興味があるより広い層をターゲットとした。令和7年度は、「発表してみる」、「つくってみる」、「伝えてみる」などをキーワードとした各種のプログラムを提供し、アートに親しみながら、発表や制作への挑戦を後押しした。

「てみる」は、やっ“てみる”に由来した造語である。アートとのかかわり方を幅広く提示し、美術館や二十一世紀館でやっ“てみる”時間を主体的に過ごすことで、美術に親しむ県民の方々の裾野を拡大し、ひいては地域で生まれる表現がさらに豊かになっていくことを目指していく。

1 令和7年度

(1) 伝えてみる「#てみる広報室」

アートに触れた感動を伝えてみる、1年間を通した連続プログラム。広報の専門家による講座、展覧会・イベントの取材、参加者同士の意見交換を経て感じたことを各自のSNSアカウントで発信した。

● 開催日程

令和7(2025)年7月9日[水]19:00-20:30	第1回	オリエンテーション+講座
令和7(2025)年8月2日[土]14:00-15:30	第2回	開館35周年記念展 キミに夢中♡ 取材
令和7(2025)年9月14日[日]11:00-12:36	第3回	舞台映像上映 Reライブシアター 取材 A「気づかいルーシー」
令和7(2025)年9月14日[日]14:45 - 17:45	第3回	舞台映像上映 Reライブシアター 取材 B「ムサシ」
令和7(2025)年10月22日[水]19:00 - 20:30	第4回	特別展 美術と野獣 取材
令和8(2026)年1月24日[土]14:00 - 15:30	第5回	ぶんかつギャラリー取材+振り返り会

● 講師

- 第1回 株式会社あわわ『めぐる、』編集部 小山亜紀氏、徳原香氏
第2回～5回 近代美術館スタッフ

● 会場

- 第1回 近代美術館 アトリエ2(3階)
第2回、4回 近代美術館 展示室(2階)
第3回 イベントホール、ミーティングルーム(1階)
第5回 近代美術館 ギャラリー、ミーティングルーム(1階)

● 参加費用

無料

● 応募概要及び参加者

・応募条件

XまたはInstagramの公開された個人アカウントをお持ちの高校生以上の方。営利目的アカウントでの申込み不可。高校生の場合は保護者の同意が必要。

・参加者数

10名 (8-4-3共催事業の入館者数・参加者数に含む)



(2) つくってみる&発表してみる「階段ジャックワークショップ」

四館棟の大きな白い階段をキャンバスに“つくってみる”ワークショップ。文化の森総合公園内各所でみつけた形を元に、色とりどりのシートを切り貼りして階段を彩った。

● 展示期間

令和7(2025)年10月18日[土]、10月19日[日] 各日13:00-16:00

※終了後、12月21日[日]まで展示

● 会場

近代美術館 ギャラリー前(1階)

● 観覧料

観覧無料、参加費無料

● 参加対象

どなたでも、申込不要

● 参加者数

311名 (8-4-3共催事業の入館者数・参加者数に含む)

● 観覧者数

36,813名(8-4-3共催事業の入館者数・参加者数に含む)



(2) 発表してみる「ぶんかつギャラリーvol.2」

近代美術館ギャラリー(約 188 m²)を分割し、複数名でギャラリーを利用する企画。初心者から経験者まで、3種類のサイズからスペースを選んで参加可能。

● 展示期間

令和8(2026)年1月20日[火]-1月25日[日] 9:30-17:00 (1月25日[日]は16:00まで)

● 会場

近代美術館 ギャラリー(1階)

● 観覧料

観覧無料、参加費無料

● 応募概要及び参加者

どなたでも、申込不要

・応募資格

徳島で今後も作品を発表する意思をお持ちの方。経験、年齢不問。

・応募期間

令和7(2025)年9月5日[金]-10月31日[金]

・応募内容

自由。個人またはグループで応募可能。絵画や彫刻、工芸などに限らず、映像作品や空間を使ったインスタレーション、パフォーマンス、ワークショップなどジャンルにとらわれない表現も歓迎。ただし、隣接区画を妨げずに発表可能なものに限る。

・展示スペース

ギャラリーをS、M、Lの3サイズに分割し、以下の壁面・空間を提供します。

【スペースS】一組につき、幅約2m×天井高4mの壁面とその手前約1mまでの空間。

【スペースM】一組につき、幅約5m×天井高4mの壁面とその手前約1mまでの空間。

【スペースL】一組につき、幅約5m×天井高約4mの3つの壁面で囲まれた、約5m四方の空間。

・参加者数

12組（応募者数21組から抽選で選出）

展示場所	アーティスト名	ジャンル
あ	七美	絵画、空間
い	toshi0225	イラスト
う	ゆき	写真×イラストレーション
え	早瀬太亮、夜依ル、永田広志	絵画、インスタレーション
お	はなのあかいイス	絵画、スケッチ
か	山瀬優奈	日本画
き	劇団オヒトリさま 吉田飛角 & 四国大学文学部書道学科 小林美紅	作詩と書と朗読等
く	marja/まるや	紙バンド製ミニチュアドールハウス
け	静と灯	陶芸、ガラス
こ	イハラワタル	ドローイング、クロッキー
さ	劇団オヒトリさま 斉藤獠	絵と文字と朗読・歌
し	CHAMAI	映像作品

パフォーマンス日程 ※すべて展示場所で上演

パフォーマンス日程		アーティスト名
1月24日(土)	13:30～、15:00～	劇団オヒトリさま 斉藤獠
	14:00～、16:00～	劇団オヒトリさま 吉田飛角 & 四国大学文学部書道学科 小林美紅
1月25日(日)	10:00～、14:00～	劇団オヒトリさま 吉田飛角 & 四国大学文学部書道学科 小林美紅
	11:00～、15:00～	劇団オヒトリさま 斉藤獠

● 観覧者数

展示 745名（8-4-3共催事業の入館者数・参加者数に含む）

パフォーマンス 92名（8-4-3共催事業の入館者数・参加者数に含む）



2 広報活動等

● 印刷物

チラシ:A3二つ折り 両面カラー

・発表してみる「ぶんかつギャラリーvol.2」

応募要項・応募用紙:A3二つ折り 4ページ、両面モノクロ

ポスター:B2判 片面カラー 簡易印刷

チラシ:A4判 両面カラー

リーフレット:A3判 両面モノクロ 簡易印刷

・つくってみる&発表してみる「階段ジャックワークショップ」

ポスター:B2判 片面カラー 簡易印刷

チラシ:A4判 両面カラー

● 新聞、雑誌記事、放送番組等

「てみるの時間 2025 年度プログラムスタート!」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWeb サイト 令和7年6月

・発表してみる「ぶんかつギャラリーvol.2」

川野妃路子「てみるの時間2025年度 ぶんかつギャラリーvol.2」『徳島新聞』 令和8年1月20日

「てみるの時間 2025年度 ぶんかつギャラリー vol.2展 徳島県立近代美術館ギャラリー」『朝日新聞』 令和8年1月21日

「美術館からのエッセイ てみるの時間2025年度 ぶんかつギャラリー vol.2」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和8年1月

・つくってみる&発表してみる「階段ジャックワークショップ」

中川優「[階段ジャックワークショップ] 徳島県立近代美術館ギャラリー前 描いて切って、階段飾り付け」『徳島新聞』 令和7年10月19日

「美術館からのエッセイ てみるの時間 2025 年 階段ジャックワークショップ」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年11月

● 担当学芸員

笠井優、飯田恵実、久米千裕、浅田真珠

5

資料収集保存事業

5-1 令和7年度新収蔵作品・資料

令和7年度に新収蔵となった作品・資料は、油彩画他1点(購入1点)である。

● 購入作品

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	作品種別	数量
谷原菜摘子	方舟はもう現れない	2025	油彩、アクリル、オイル パステル、グリッター、ラ インストーン ベルベッ ト	直径180	油彩画他	1

5-2 所蔵作品・資料の現状

		昭和60年-平成元年度		平成2年度			平成3年度		平成4年度		平成5年度		平成6年度			平成7年度			平成8年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度	
		購入	寄贈	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈
油彩画他	国内	93	14	4		18	4		6	30	6		11	5	4		20	1	9	21	11	6	8	3	2	8	1	12
	国外	19		1					3		2					2					2		1					
	小計	112	14	5		18	4		9	30	8		11	5	4	2	20	1	9	21	13	6	9	3	2	8	1	12
日本画	国内	7	2	10		24	3		1		1		3						7	3	2	1	4		11	8	4	
	国外																											
	小計	7	2	10		24	3		1		1		3						7	3	2	1	4		11	8	4	
彫刻・立体	国内	113	16	4		10	2		4	2	11								2		1	3	1		2		1	8
	国外	22		1			1		1		2		3										1					
	小計	135	16	5		10	3		5	2	13		3						2		1	3	2		2		1	8
水彩画	国内	13				59	6		74	165	2		5						2	1	2		2		4	3	1	
	国外	1																										
	小計	14				59	6		74	165	2		5						2	1	2		2		4	3	1	
素描	国内	12	9			190	1		8	5	1					1			4	62	5	134			1			
	国外	1																										
	小計	13	9			190	1		8	5	1					1			4	62	5	134			1			
写真・映像	国内	7											1										1		49			
	国外																				1		2					
	小計	7											1								1		3		49			
版画	国内	825	52	27		1	104		5	1	30	2	4			1	3		41	81	7	23	2	94	4			
	国外	469		13			69		23	1	29										34		49		9		1	
	小計	1,294	52	40		1	173		28	2	59	2	4			1	3		41	81	41	23	51	94	13		1	
二次資料	国内	299		64		56	1		4	13	1	14	8			93		1	855		977							
	国外	298		438			1		168		2		3												1			
	小計	597		502		56	2		172	13	3	14	11			93		1	855		977				1			
その他	国内																									2		
	国外	1																										
	小計	1																								2		
計	国内	1,369	93	109		358	121		102	216	52	16	31	6	4	1	117	1	66	1,023	28	1,144	18	97	73	21	7	20
	国外	811		453			71		195	1	35		6			2					37		53		10		1	
	小計	2,180	93	562		358	192		297	217	87	16	37	6	4	3	117	1	66	1,023	65	1,144	71	97	83	21	8	20

平成13年度			平成14年度			平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
購入	寄贈		購入	寄贈		購入	寄贈	管理換	購入	寄贈		購入	寄贈		購入	寄贈		購入	寄贈	他	購入	寄贈		購入	寄贈	管理換	購入	寄贈	管理換	購入	寄贈		購入	寄贈				
6	3	1				9	21	1	3	3		6				1	18	1	9				12		5	1			3	7					44			
2																																						
8	3	1				9	21	1	3	3		6				1	18	1	9				12		5	1			3	7					44			
3		12	2	4	1	1	5				2	14	6		1		7					20		4				2	2		2							
3		12	2	4	1	1	5				2	14	6		1		7					20		4				2	2		2							
3	1																					1	3	1				1	2		3	1						
2					1				2	1																												
5	1				1				2	1												1	3	1				1	2		3	1						
					1				8			33	1				1		1			1						1		1					56			
					1				8			33	1				1		1			1						1		1					56			
	1	1			17	12			8		49	5			1							1						18		2					17			
					1																																	
	1	1			18	12			8		49	5			1							1						18		2					17			
17					3																							1										
3																																						
20					3																								1									
	8				16	1			52			25	13	7		1		134							1								17	7	4			
									10	4																						1	5					
	8				16	1			62	4		25	13	7		1		134							1							1	22	7	4			
	389								408			162		14		90		74	2									26		1	31				3			
	389								408			162		14		90		74	2									26		1	31				3			
																																			1			
1																																						
1																																			1			
29	402	14	2	50	35	2	68	419			277	33	27	1	111	1	225	2	2	36	1	10	1	1	53	9	7	51	8	124								
8					2				12	5																					1	5						
37	402	14	2	52	35	2	80	424			277	33	27	1	111	1	225	2	2	36	1	10	1	1	53	9	8	56	8	124								

令和8年3月末現在

		平成 26年度		平成 27年度		平成 28年度		平成 29年度		平成 30年度		令和 元年度		令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度		令和 7年度		小 計				計
		購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	購 入	寄 贈	管理	換	他
油 彩 画 他	国内		6				1	1	1	2		1	3		15		1	2		12			1			182	283	32		497
	国外					2							1		1								-1			34	1			35
	小計		6			2	1	1	1	2		1	4		15	1		1	2		12					216	284	32		532
日 本 画	国内				6	1	1		1		2	1	5		1			1			1					94	78	27		199
	国外																													
	小計				6	1	1		1		2	1	5		1			1			1					94	78	27		199
彫 刻・立 体	国内	1											3						1							152	39	10		201
	国外																			1						36	2			38
	小計	1											3						1	1						188	41	10		239
水 彩 画	国内		2				1								1											123	264	59		446
	国外																									1				1
	小計		2				1								1											124	264	59		447
素 描	国内												3							1		213				57	535	190		782
	国外																									2				2
	小計												3							1		213				59	535	190		784
写 真・映 像	国内		1	1						1		1														80	3			83
	国外																									6				6
	小計		1	1						1		1														86	3			89
版 画	国内		3	2	75		4								28				4		77	3	3			1,144	648	1		1,793
	国外				1			5	1					38		1										713	50			763
	小計		3	2	76		4	5	1	1				38		1	28		4		77	3	3			1,857	698	1		2,556
二 次 資 料	国内		302								17		5		28				42		267		1			379	3,811	56	2	4,248
	国外																									911				911
	小計		302								17		5		28				42		267		1			1,290	3,811	56	2	5,159
そ の 他	国内																									1	2			3
	国外																									2				2
	小計																									3	2			5
計	国内	1	314	3	81	1	7	1	2	4	19	3	19		73			2	48	1	359	3	217	1		2,212	5,663	375	2	8,252
	国外				1	2		5	1		38		1	1		1										1,705	53			1,758
	小計	1	314	3	82	3	7	6	3	4	57	3	20	1	73	1		2	48	1	359	3	217	0		3,917	5,716	375	2	10,010

5-3 寄託作品・資料

作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	作品種別	備考
森堯之	梅紋の食器と盆	1941年	油彩 板	32.0×41.0	油彩画他	令和9年3月31日まで
森堯之	無題	1930年代	水彩 紙	12.0×20.0	水彩	令和9年3月31日まで
森堯之	フィンガー・ピク チュア	1938年	ポスターカラー 紙	8.8×15.9	水彩	令和9年3月31日まで
森堯之	風景(化粧底の あるロシア風家 屋)	1942年	油彩 板	22.7×15.5	油彩画他	令和10年3月31日まで
伊原宇三郎	南伊豆風景	1935年	油彩 キャンバス	53.0×65.2	油彩画他	令和10年3月31日まで
原鵬雲・資料	文部省辞令 (補文部省十三 等出仕)	1874年7月 15日	墨 紙		二次資料	令和10年3月31日まで
原鵬雲・資料	文部省文書 (賞金給付)	1878年2月 15日	墨 紙		二次資料	令和10年3月31日まで
原鵬雲・資料	原鵬雲写真 (洋装)	明治期	写真		二次資料	令和10年3月31日まで
原鵬雲・資料	原鵬雲写真 (洋装)	明治期	写真		二次資料	令和10年3月31日まで
一原五常	風景	1930年	油彩 キャンバス	117.0×91.2	油彩画他	令和11年3月31日まで

5-4 資料収集委員会・価格評価

1 資料収集委員会

● 委員

(◎委員長 ○副委員長)

氏名

- ◎ 寺口 淳治 広島県現代美術館館長
- 田中 佳 徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授
- 井上 奈美 徳島県立脇町高等学校教諭・徳島県高等学校教育研究会美術学会会員
- 近藤 幸 徳島文理大学短期大学部講師
- 齋藤友紀子 鳴門教育大学附属小学校教諭・徳島県小学校教育研究会図画工作部会員
- 岩永 悦子 福岡市美術館、福岡アジア美術館館長
- 金井 直 信州大学人文学部教授
- 林 洋子 兵庫県立美術館館長

● 開催

令和8年1月14日〔水〕 第47回資料収集委員会開催

● 議事

収集資料の選定 ほか

2 価格評価

- 委員は利害関係を有しない者に依頼
- 開催 令和8年1月13日〔火〕

5-5 デジタルアーカイブ

美術作品や関連資料を撮影しデータとして保存・活用するアーカイブ事業に着手した。作品等を高精細撮影するほか、貴重ポジフィルムや音声・ビデオテープ等のデータ化も対象として想定している。

1 経緯

徳島県立図書館が既に構築していた「とくしまデジタルアーカイブ」を拡充し、文化の森の各施設も合流する案が開園30周年記念事業として取り組まれ、当館も参加することになった。令和元年度に撮影とデータ作成作業に着手し、令和2年5月、6月に公開。また11月に文化の森の各館合同で紹介展示を行った。

開館当初から運用してきた作品情報等データベースと連携した提供方法を構想中である。また資料保存や教育普及など既存事業と結びつけた利活用コンテンツの充実も図っている。

2 撮影、データ作成

(1) 高精細撮影 52点

鰻軀〈にじ・あわおどり〉1990年 シルクスクリーン 紙
池田満寿夫〈徳島讃歌〉1996年 リトグラフ 紙
石川真五郎〈吉野川〉1948-72年 油彩 キャンバス
石丸一〈母子像〉1929年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈スキー場の春(「週刊朝日」1935年1月1日号付録 絵葉書原画)〉1934年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈滑り台のある風景〉1968年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈窓際の静物〉1927-28年頃 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈窓からの港〉1926年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈婦人二人像〉1920年 油彩 キャンバス
伊原宇三郎〈白いシュミーズ〉1926-27年頃 油彩 キャンバス
甲斐庄楠音〈金針を持つ女〉1925年頃 絹本着色
桂ゆき〈さる・かに合戦〉1948年 油彩 キャンバス
加納光於〈SOLDERED BLUE〉1965年 メタルプリント 紙
加納光於〈PENINSULAR 半島状の!No.19〉1967年 メタルプリント 紙
河井清一〈女〉1957年 油彩 キャンバス
河井清一〈明るい部屋〉1962年 油彩 キャンバス
川島猛〈阿波おどり〉1983年 アクリル絵具 キャンバス
河野太郎〈港の風景(仮称)〉制作年不詳 油彩 合板
菊畑茂久馬〈月光 三〉1983年 油彩、木 キャンバス
菊畑茂久馬〈月光下絵 No.1〉1985年 水彩、鉛筆 紙
菊畑茂久馬〈月光下絵 No.2〉1985年 水彩、鉛筆 紙
菊畑茂久馬〈月光下絵 No.3〉1985年 水彩、鉛筆 紙
菊畑茂久馬〈月光下絵 No.4〉1985年 水彩、鉛筆 紙
菊畑茂久馬〈月光下絵 No.6〉1985年 水彩、鉛筆 紙
菊畑茂久馬〈月光下絵 No.7〉1985年 水彩、鉛筆 紙
篠原有司男〈女の祭り〉1968年 シルクスクリーン、コラージュ 紙
秦テルヲ〈自叙画譜〉1937年 紙本着色 画帖装
林雲谿〈剣山〉1971年 紙本墨画着色

板東敏雄〈ヴァイオリンを持つ婦人像〉1930年代 油彩 キャンバス
 板東敏雄〈鳩〉1930年頃 油彩 板
 廣島晃甫〈夕暮小景〉1922年 木版 紙
 吹田文明〈美し徳島〉1992年 木版 紙
 福田新之助〈TOKUSHIMA〉1995年 写真、土、新聞紙
 森山知己〈雪音〉2001年 紙本墨画着色
 山下菊二〈高松所見〉1936年 油彩 キャンバス
 山本容子〈Papa Aid〉1975年 エッチング 紙
 山本容子〈Summer Shower Show〉1977年 エッチング、アクアチント 紙
 山本容子〈Super Express〉1980年 エッチング、アクアチント 紙
 横尾忠則〈阿波幻想〉1994年 シルクスクリーン 紙
 横尾忠則〈AWA〉1983年 木版 紙
 横尾忠則〈お堀〉1966年 アクリル絵具 キャンバス
 横尾忠則〈よだれ〉1966年 アクリル絵具 キャンバス
 横尾忠則〈カミノリ〉1966年 アクリル絵具 キャンバス
 横尾忠則〈風景No.1 女の子〉1969年 シルクスクリーン アクリル板、アクリルフィルム、紙
 横尾忠則〈風景No.2 ブス〉1969年 シルクスクリーン アクリル板、アクリルフィルム、紙
 横尾忠則〈風景No.3 お葉さん〉1969年 シルクスクリーン アクリル板、アクリルフィルム、紙
 横尾忠則〈風景No.9 黄色い女〉1969年 シルクスクリーン アクリル板、アクリルフィルム、紙
 吉原英雄〈吉野川から眉山を望む〉1998年 リトグラフ 紙
 吉原英雄〈旧徳島城表御殿庭園〉1998年 リトグラフ 紙
 マッタ〈魂-孤独〉1983年 油彩 キャンバス
 マッタ〈海と結ばれるカップル〉1983年 油彩 キャンバス
 マッタ〈皮肉な友情〉1983年 油彩 キャンバス

3 コンテンツ公開

(1)とくしまデジタルアーカイブ (ADEACシステム)

閲覧方法	作品
重ね並べビューア 「スケッチと見比べよう」	伊原宇三郎〈赤い着物のマドレー〉 伊原宇三郎〈「赤い着物のマドレー」のためのスケッチ〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(6)〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(7)〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(1)【二枚分かれ】〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(4)〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(2)【方眼折り目】〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(3)【方眼ちぎれ】〉 伊原宇三郎〈「二人」のための下絵(5)〉 伊原宇三郎〈男女像(旧題:雄心)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(A)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(B)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(C)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(D)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(E)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(F)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(G)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(H)【大判】〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(I)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(J)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(K)〉 伊原宇三郎〈「雄心」のための下絵(L)〉 伊原宇三郎〈「陰」に関連するもの(B)〉
1枚ビューア 「画家のタッチにせまる」	児島善三郎〈簾椅子に掛ける裸婦〉 山下菊二〈憑憑CUBA(修復後)〉 山下菊二〈死んだ人がわたしを産んでくれた(昭和40年7月27日母死す)〉

1枚ビューア 「画家のタッチにせまる」	山下菊二〈父はは〉 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉1.道化師 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉2.サーカス アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉3.ロワイヤル氏 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉4.白象の悪夢 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉5.馬、曲馬師、道化 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉6.狼 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉7.ハート アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉8.イカルス アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉9.フォルム アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉10.ピエロの葬式 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉11.空中ブランコ アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉12.水槽を泳ぐ女 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉13.サーベルを嚙む男 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉14.カウボーイ アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉15.ナイフを投げる男 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉16.運命 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉17.干渴 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉18.干渴 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉19.干渴 アンリ・マティス 版画集〈ジャズ〉20.ぞり
1枚ビューア 「鑑賞シートで活用」	瑛九〈壺と女〉 瑛九〈陽気な人〉 日下八光〈葡萄と栗〉 日下八光〈鮎三匹〉 日下八光〈朝顔〉 日下八光〈兎〉 フランツ・マルク〈動物伝説〉
3Dビューア 「彫刻360度」	萩原守衛〈労働者〉 ジャン・アルプ〈ダンスの華麗さ〉

https://adeac.jp/tokushima-bunkanomori/top/toppg/top_modern_art.html

● 担当者

竹内利夫、飯田恵実、井手迫蒼

5-6 所蔵作品真贋事案

当館がジャン・メッツアンジェ作〈自転車乗り〉としていた所蔵作品は、ヴォルフガング・ベルトラッキによる贋作であると判断し対処した。

1 経緯

- 平成11年1月 当館が大阪の画廊から6,720万円で作品を購入。
- 平成22-23年 ドイツ警察の捜査により、ドイツの贋作者ヴォルフガング・ベルトラッキが他の作品について有罪判決を受けた。
- 令和6年6月 本作が掲載された、贋作に関する記事(2014年)について知り、調査開始。
- 令和6年7月 贋作の疑いがあるため本作の展示とりやめを公表。
この間、調査と並行して徳島県庁で法務相談3回、法律事務所等で相談4回。
- 令和7年3月 情報収集の結果、本作を贋作と判断。
- 令和7年5月 報告展示と説明会
- 令和7年7月 科学調査
- 令和7年10月 購入先との合意、県への返金確認
- 令和7年11月 絵画の返還
- 令和7年11月 徳島県議会委員会で報告

*作品データ

技法材料:油彩、砂、コラージュ キャンバス 寸法:55.0×46.0cm

(1) ベルリン州警察による情報提供

① 作品の来歴

来歴上の第一所有者は、ヴォルフガング・ベルトラッキの共犯者として有罪判決を受けたオットー・シュルテ・ケリングハウスである。

② 鑑定者(ボゼナ・ニキエル)の証言

捜査の段階で贋作であると証言している。

(2) カタログ・レゾネ編集者(作家の著作権管理団体)の判断

事件前の鑑定書は誤りであり、贋作であると判断している。

(3) 本人(ヴォルフガング・ベルトラッキ)の供述等

自叙伝への掲載、マスコミ取材に対する「自身の作品」との供述など。

3 報告展示、科学調査、購入先との合意、返還

(1) 報告展示

説明責任として作品を概要説明パネルとともに陳列した。

期間: 令和7年5月11日[日]-6月15日[日](31日間)

場所: 徳島県立近代美術館1階ギャラリー前無料エリア

観覧者: 8,206人

説明会: 参加者数1,065人

5月11日[日]、13日[火]、24日[土]、28日[水] 6月7日[土]、8日[日]、12日[木]

いずれも午前10時30分-11時、午後2時-2時30分

説明者: 竹内利夫(上席学芸員)

(2) 科学調査

今後の類似事案の調査に役立てるため科学調査を実施。

時期: 令和7年7月~10月

調査機関等: 東京文化財研究所の協力を得て調査を行い、当館において考察し、報告をまとめた。

調査方法: 使用材料や制作技法に関する客観的な情報を得るために、光学調査及び各種分析を実施した。

主な手法は①顕微鏡観察、②蛍光X線分析、③ハイパースペクトルイメージング、④ラマン分光分析、である。

調査結果: 偽装された制作年代には画材として存在しなかった複数の材料が検出され、この作品が20世紀半ば以降に制作された贋作であることを裏付ける結果であった。

結果の公表: 令和7年11月に「《自転車乗り》作品調査報告」を公表。

令和8年3月に「旧所蔵作品〈自転車乗り〉に関する調査報告」を公表(飯田恵実著 『徳島県立近代美術館研究紀要第26号』)

(3) 購入先との合意、絵画の返還

徳島県と購入先との間で、平成10年度に契約した絵画購入契約の解除に合意がなされた。

令和7年10月20日 合意書の締結

令和7年10月22日 県への返金確認

令和7年11月18日 絵画の返還

(1) 記録

当館ホームページにこれまでに公表した資料提供、報告展示の説明内容、科学調査結果などを掲示し閲覧できるようにした。

<https://art.bunmori.tokushima.jp/fake/>

広報活動

6-1 広報用印刷物

(展覧会関連事業のものは、展覧会事業の項に記載)

2025年度展覧会案内:16.8×30.0cm、両面印刷、蛇腹折り

美術館ニュース(134号):A3判三つ折り6ページ 令和7年7月1日発行(7月号)

大阪・関西万博特別連動企画「浮世絵の華-原安三郎コレクション-」 三宅翔士

所蔵作品展2025年度I「徳島のたからもの」 三宅翔士

普及行事、利用案内

所蔵作品紹介 黒崎彰〈赤い闇6〉 竹内利夫

美術館ニュース(135号):A3判三つ折り6ページ 令和7年10月1日発行(10月号)

開館35周年記念展「美術と野獣-人間の根源へ」 浅田真珠

コラム「ギャラリーの照明が新しくなります！」 飯田恵実

普及行事、利用案内

所蔵作品紹介 石丸一〈瓶(仮称)〉 久米千裕

美術館ニュース(136号):A3判三つ折り6ページ 令和7年12月1日発行(12月号)

所蔵作品展 2025年度II「空間往来」 久米千裕

特集展示「子連れ de アートWEEK 0歳からのワイワイびじゅつかん」

竹内利夫

特集展示「没後5周年 菊畑茂久馬展」 三宅翔士

参加型事業「てみるの時間」担当者ミニレポート 笠井優

普及行事、利用案内

所蔵作品紹介 オシップ・ザツキン〈女性立像〉 井手迫蒼

美術館ニュース(137号):A3判三つ折り6ページ 令和8年3月31日発行(4月号)

特別展「生誕100年 吹田文明の人生でたどる版画100年のドラマ」



所蔵作品展 2025年度II

空間往来

2025年12月6日(土)・2026年4月5日(日)

※観覧券は別途販売しています。

【企画】人間像

徳島県立近代美術館では、人の形に注目し、人間像が表現された作品を収蔵しています。今回は、収蔵の中に隠れていた芸術や、彫刻のよみがえりなど、空間に注目し、展覧会を企画。「空間往来」には、それぞれの作品が「人間の空間」にあるんだという感覚で楽しんでほしい」といふ思いを込めています。ぜひ、会場でご体感ください。

絵画と空間—遠近法をめぐる—

遠近法は、目の前広がる三次元の空間を、二次元の平面(絵画)に立体的に表現する技術です。遠近法(透視図法)は、遠くまで見えた絵画などにおいて、遠近法は空間を縮(手詰)して奥行きを表現する技法です。しかし、19世紀末から20世紀初頭にかけて、伝統的な遠近法を覆すような新しい「空間表現」が次々と登場し、多岐な



久米千裕

所蔵作品展 2026年度I「目は口ほどに」 浅田真珠

普及行事、利用案内

所蔵作品紹介 谷原菜摘子〈方舟はもう現れない〉 久米千裕

6-2 ホームページなど

1 概要

(1) ホームページ

徳島県文化の森総合公園情報提供システムとして、平成2年の開館以来、所蔵作品データベースを公開してきた。自館ホームページは平成18年開設。作品や作家などの情報検索と連動させたホームページ運営に特徴がある。Webコンテンツの充実、SNS発信により、利便性を図るとともに利用者増につとめている。

(2) SNS

X(旧Twitter)は平成26年、Youtubeは平成29年、Instagramは令和5年から運用。きめ細かい情報発信と新たな来館者層の開拓につとめている。

2 実績

(1) 「キミに夢中♡」展特設サイト 令和7年4月15日

(2) 「美術と野獣」展特設サイト 令和7年9月17日

(3) 「子連れdeアートWEEK」展特設サイト 令和8年3月6日

*デジタルコンテンツについては4-1「美術館教育」、デジタルアーカイブについては5-6「デジタルアーカイブ」の項を参照。

6-3 サテライト・ギャラリー

平成6年度より、近代美術館の所蔵作品の複製写真を額装したものを展示してきたが、デジタル化の促進による事業の効率化を図るため、令和5年度4月より、複製写真に代えて、画像と文章で構成した映像をモニターで放映することとした。令和7年度は、県庁、西部総合県民局三好庁舎、南部総合県民局阿南庁舎、同美波庁舎、徳島県立総合教育センターの5ヶ所で実施した。

6-4 ニュース郵送購読

令和5年度までニュース会員制度を実施し、会員特典付きで本館の展覧会や関連事業など催しのお知らせを送付していた。

令和6年度以降は、会員による美術館活動への参加等に直接結びつくものではないことや急速なインターネットの発展を踏まえて本制度を廃止し、ウェブサイトやSNS等によって積極的な情報発信を行うこととした。しかし、高齢者を中心に紙媒体の美術館ニュースへのニーズがあることも考え、希望者にニュースを郵送するサービスを実施した。令和7年度の郵送購読利用者は2名。年間4回、ニュースの送付を行った。

7

調査研究事業

館蔵作家、作品に関する調査研究や、展覧会企画、作品収集などのための調査研究を行うとともに、近現代美術や美術館教育、博物館学など本館の業務に密接につながる諸分野について、広く調査研究を行っている。

7-1 研究報告会

調査研究活動を組織的かつ継続的に推進するとともに、その成果を館員が共有するため、研究報告会を開催している。

研究報告会で取り上げるテーマには、大別して複数の職員が共同で取り組む「共同研究テーマ」と、各職員ごとに設定したテーマに取り組む「個別研究テーマ」の2つがある（いずれも年度を跨ぐ継続研究を認める）。「共同研究テーマ」は職員による作業チームで作業を進め、随時、経過を研究報告会で報告する（7-1-1共同研究参照）。「個別研究テーマ」は、必要に応じて研究会で進捗状況を報告し、出席者による討議を重ねることで、研究の深まりと館内での共通理解をはかる（7-2研究実績参照）。本年度は3回開催した。

第1回 令和7年12月9日（個別研究テーマに関する発表）

飯田恵実 「旧所蔵作品〈自転車乗り〉の科学調査報告」

井手迫蒼 「板東敏雄の1922～25年の足取りと作風の変化について」

第2回 令和8年2月18日（個別研究テーマに関する発表）

三宅翔士 「1960年代の山下菊二の制作について」

久米千裕 「吹田文明の作品における個人的体験と他者からの影響」

笠井優 「事例調査 美術館における乳幼児対象プログラム」

第3回 令和8年3月17日（個別研究テーマに関する発表）

浅田真珠 「福祉・医療と美術の繋がりについて－イベント実施報告を中心に」

安達一樹 「令和7年の県内美術活動等の状況について－2018年からの動向もふまえて」

7-1-1 共同研究

徳島の美術に関する通史的研究

本館は開館以来、地域の美術を通史的に掘り起こす作業を続け、情報の蓄積に努めている。その成果は、作品や資料の収集につなげるとともに、特別展や所蔵作品展、『徳島県立近代美術館ニュース』、『徳島県立近代美術館研究紀要』等の刊行物を通じて公開している。

展覧会としては、令和7年度は各期の所蔵作品展ごとに「徳島ゆかりの美術」のコーナーを設け公開した。(3-1 常設展2025年度Ⅰ～Ⅱ期を参照)

収蔵作家資料の調査と公開

本館では、作家の遺品や旧蔵書のうち本館にとって特に意義深いものについては積極的に収蔵し、保存、公開している。これら資料群は、個々の作家研究や作品研究、あるいは地域の美術に関する研究を進める上で基礎的な資料となるだけでなく、広く日本近代美術の研究に多くの知見をもたらすものである。収蔵の段階で基礎的な調査と整理を行い、基本的なデータを本館データベースや特別資料目録で公開しているが、必要に応じて再調査を行っている。

令和7年度は、開館35周年記念展「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」(令和7年4月26日～8月31日)において、伊原宇三郎の作品下絵や黒崎彰の作品原版を紹介したほか、所蔵作品展2025年度Ⅰ「徳島のたからもの」(令和7年9月6日～11月30日)において、山下菊二〈マルドロールの歌〉に関するエッチング原版、解題、ノートを展示した。

収蔵作品の再調査

当館の収蔵作品・資料は開館準備を行っていた昭和59年4月に最初の受け入れを行って以来10,000点を超えるまでに成長している。現在に至るまで、作品・資料の保存には細心の注意を払い、必要に応じて保存修復処置を施してきた。しかしながら、近代以降の作品の中には、保存修復において前例のない素材・技法を含む物が多く、それらの劣化、損傷の対策が各地の美術館で課題となっている。そのため、展示や貸出の依頼時の確認に加え、定期的な状態調査を行い、作品状態の蓄積や予防的保存に努めていく予定である。

7-2 研究実績

凡例

- | | |
|-----------|------------------|
| 1 個別研究の概要 | 6 学会発表 |
| 2 図書、図録等 | 7 講演会、各種研究会等での発表 |
| 3 論文 | 8 社会的活動 |
| 4 報告他 | 9 所属学会 |
| 5 解説、翻訳他 | 10 教育活動 |

竹内利夫

1 個別研究の概要

「版画原版の廃棄処理について」

当館では51点の版画原版を収蔵している。寄贈受入に際して、不適切な後刷りを防止するため版に傷を入れる廃棄処理について寄贈者と話し合った経緯もあり、保存活用の観点から高精細撮影を行ったり、彫師に

手順を相談したりするなどして、廃棄の準備を進めた。けれども原版調査において制作手順や作家の姿勢を示す豊富な情報が得られ、原状を壊すことには慎重にならざるを得ない見解にいたった。原版を収蔵する他館においても、館の管理下で廃棄処理は不要との意見が多く聞かれ、今一度廃棄処理の意味と将来にわたる管理について要件を再整理しておきたい。

5 解説、翻訳他

- ・「所蔵作品紹介 黒崎彰〈赤い闇6〉」『徳島県立近代美術館ニュース』第134号 令和7年7月 p.6
- ・「アート散策107 彫刻生む過程問う」『徳島新聞』 令和7年11月15日
- ・「子連れdeアートWEEK 0歳からのワイワイびじゅつかん」『徳島県立近代美術館ニュース』第136号 令和7年12月 p.5
- ・「美術館からのエッセイ 子連れdeアートWEEK」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和8年3月

7 講演会、各種研究会での発表

- ・令和7年度四国地区博物館協議会及び日本博物館協会四国支部研修会 報告1「ユニバーサルミュージアム事業について」徳島市立德島城博物館 令和7年9月18日
- ・「CONNECT 共生・多様性・アクセシビリティについて考えるトーク (2)文化施設における『共生』をいま再考する」パネラー 文化庁、京都新聞主催 京都国立近代美術館 令和7年12月14日

8 社会的活動

- ・相生森林美術館協議会委員
- ・アワガミ国際ミニプリント展2025審査員

9 所属学会

- ・意匠学会会員
- ・美術科教育学会会員

10 教育活動

- ・四国大学生生活科学部非常勤講師「芸術論」
- ・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館教育論 ユニバーサルミュージアム 実際と展望」 令和8年3月5日

安達一樹

1 個別研究の概要

「徳島県内の美術状況」

県内における美術活動の状況把握と、県民の創作活動の向上への協力を目的に、県内での美術及び周辺領域(手工芸等)の作品発表を継続的に訪問し、作品調査及び助言を行っている。また、県人及び県内に在住する作家の県外での発表も一部調査を行った。概況については、館内研究報告会で報告を行った。

県内美術界の動きとして、美術関係催事の開催数の傾向としては、コロナ禍以前の開催数には及ばないものの、毎年増加を続けており、堅調な回復傾向にあるといえる。

今年度の作品発表の傾向として、昨年度見られたようなベテランの制作系愛好家による、自身の回顧的内容の展示会の開催はほとんど見られなかった。若手の制作系愛好家の作品発表は引き続き活発ではあったが、回数が多いのは一部の人々に限られており、世代交代が進んでいるとは言い切れない。また、開催数が多い人についても、新作の発表ではなく、かつて発表した作品を再構成した展示を県内巡回する人が現れた。これにより、これまでは展示会の回数を県内美術界状況の主な判断材料としてきたが、今後どのように扱うかが、難しくなった。

展示施設関連で特記すべきことは、キョーエイ鳴門駅前店(鳴門市)とよんでんエネルギープラザ阿南(阿南市)

の閉館が挙げられる。この2施設は、ともに施設内に作品発表のできる、それなりに広さのあるスペースを有しており、鳴門市近郊及び阿南市以南の発表拠点となってきた。これらの施設が無くなったことで、徳島の地方部における発表の場が失われ、今後の制作活動への影響が懸念される。

2025年の記録として、展示施設関連では、前述の2施設のほかにギャラリー光(板野町)が閉廊した。開廊は、山のすばこ(美馬市)、Atelier Do動(阿南市)、カフェSEE THE SUN(小松島市)、ギャラリーmiro-rico(ミロ-リコ)(三好市)、喫茶ひまわり(鳴門市)などが新たにできた。いずれもそれほど大きな展示面積を有するものではないが、県内各地に発表の場が増えたことは喜ばしい。その他、美術グループの月曜会は今年の展示を最終回としたほか、上勝町が2007年の国民文化祭に合わせて野外に設置した作品〈射手座造船所〉について、老朽化のため撤去が決まった。日展で活躍し最高賞の内閣総理大臣賞も受賞した日本画の市原義之さん、難病のALSを患いながらもパソコンで絵を描き続けた長尾義明さんが亡くなった。

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策106 創ること 生きること」『徳島新聞』 令和7年10月21日

8 社会的活動

- ・相生森林美術館協議会委員
- ・久万美術館専門会議委員
- ・AWA現代アート展2025～お山の芸術祭～ 選考審査員
- ・令和7年度第11回徳島県中学校美術作品展審査員
- ・徳島障害者芸術祭エナジー審査員
- ・青美展ギャラリートーク コメンテーター
- ・徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター「障がい者アート活動支援のためのワークショップ 作品を魅力的に見せるコツ 作品展示を考える」講師

9 所属学会

- ・美術史学会
- ・明治美術学会
- ・文化財保存修復学会

笠井 優

1 個別研究の概要

「事例調査 美術館における乳幼児対象プログラム」

ユニバーサル美術館展シリーズで乳幼児をテーマとするにあたり、国内の美術館における乳幼児プログラムの現状を調査した。各美術館ウェブサイトの調査のほか、文献調査、現地見学、担当者ヒアリングをおこなった。プログラムの形式は、①乳幼児連れ対象の鑑賞ツアー・サポート、②トークフリーデー(乳幼児連れ想定含む)、③託児サービス事業等、ある程度の傾向がみられる。類型化できる一方で、国立国際美術館「ちっちゃなこどもびじゅつあー ～絵本もいっしょに～」の現地見学、福岡市美術館「初めてのベビーカーツアー」の担当者ヒアリング等を経て、各館の取り組みの経緯や内容の違いを認識できた。

今後も先行事例や研究の調査を継続するとともに、参加者ニーズも踏まえながら、充実したプログラムの開発を目指す。

2 図書、図録等

- ・久米千裕、笠井優(編著)『開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～』徳島県立近代美術館 令和7年4月

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策103 居心地よさ感じた2館」『徳島新聞』 令和7年7月23日

- ・「美術館からのエッセイ てみるの時間2025年度 ぶんかつギャラリー vol.2」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和8年1月 <https://www.jctv.ne.jp/column/mori/202601.html>
- ・「アート散策110 柔らかな心の大切さ、「もぞもぞする展覧会」」『徳島新聞』 令和8年3月24日

8 社会的活動

- ・障がい者アーティストの卵展 審査員

9 所属学会

- ・美術科教育学会

10 教育活動

- ・九州大学芸術工学部非常勤講師「比較演劇・メディア文化演習」
- ・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館教育論 美術館教育」令和8年3月4日、「博物館教育論 美術館と学校教育」「博物館教育論 地域連携」令和8年3月5日

三宅翔士

1 個別研究の概要

「1960年代の山下菊二の制作について」

1960年、山下は妻とともに帰省したのを期に、その後十余年にわたり郷里、徳島の風習や親族など自身のルーツを見つめた作品を集中的に手がけている。1969年、版画家として活動した三兄、谷口董美を偲び東京の日本画廊で開いた「弔い展」では戦没者や動物、女性など様々なイメージをコラージュした〈取りに來られなかった肖像画〉、〈セメ供養〉の連作を発表した。

この時期、彼は死者の姿形を描くことに強い関心を示し、戦死した同郷の友人の肖像画を手がかりに、遺影が成立する要件について述べている。即ち、重要なのはその容貌が精緻に描写されていることではなく、周囲の親しい人々が臉の裏に在りし日の彼を想像することのできる「しるし」であれば、それで事足りるのだという。遺影がその本人に似ているかどうかは、生者の死者に対する想いのほどの視覚化でもある、ということであろう。

こうした山下の遺影論を参照しつつ、宗教、民俗学的な視点を盛り込んだ作品研究を深化させていきたい。

5 解説、翻訳他

- ・「コレクション 山下菊二《死んだ人がわたしを産んでくれた（昭和40年7月27日母死す）》」『博物館研究』60号 令和7年6月 pp.1-3
- ・「大阪・関西万博特別連動企画 浮世絵の華－原安三郎コレクション－」『徳島県立近代美術館ニュース』第134号 令和7年7月
- ・「美術館からのエッセイ 所蔵作品展2025度I 徳島のたからもの」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年9月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202509.html>
- ・「アート散策100 現実見つめる強い意思」『徳島新聞』 令和7年4月18日
- ・「アート散策108 守住勇魚の画技を知る」『徳島新聞』 令和7年12月9日

9 所属学会

- ・明治美術学会

10 教育活動

- ・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館の展示に関わる諸要素の整理と紹介」、「所蔵作品展」 令和8年2月25日

1 個別研究の概要

「吹田文明の作品における個人的体験と他者からの影響」

徳島県阿南市出身の版画家・吹田文明(1926-)の造形表現は、彼自身の体験や記憶、そして他者からの影響と密接に結びついていると言える。吹田は後年、純粹抽象を志向しながらも、その本質は時々の生活や生活心情の反映であったと振り返っている。本研究では、この言葉を起点に、吹田の作品において極めて私的な経験がいかにして普遍的な抽象へと昇華されたかを検証した。具体的には、作家の身近にいた人物との相関関係や、当時の現代版画における動向といった他者(外部)からの影響に着目し、その造形プロセスの解明を試みた。

本研究の成果は、特別展「生誕100年 吹田文明の人生でたどる版画100年のドラマ」の企画・構成において実践的に応用した。

2 図書、図録等

・久米千裕、笠井優(編著)『開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～』徳島県立近代美術館 令和7年4月

5 解説、翻訳他

・「開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」『徳島県立近代美術館ニュース』第133号 令和7年4月 pp.1-3

・「美術館からのエッセイ 開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト、令和7年4月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202504.html>

・「美術館からのエッセイ 開館35周年記念展 キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト、令和7年5月 <http://www.jctv.ne.jp/column/mori/202505.html>

・「“あい”ランドARTギャラリー アンリ・マティス〈版画集〈ジャズ〉2.サーカス〉」『いのち輝く』109号、令和7年5月 pp.18-19

・「アート散策104 犬に見る人のまなざし」『徳島新聞』 令和7年8月25日

・「所蔵作品紹介 石丸一〈瓶(仮称)〉」『徳島県立近代美術館ニュース』第135号 令和7年10月 p.6

・「所蔵作品展2025年度Ⅱ 空間往来」『徳島県立近代美術館ニュース』第136号 令和7年12月 pp.1-3

・「“あい”ランドARTギャラリー アルベルト・ジャコメッティ〈女性立像〉」『いのち輝く』111号、令和7年1月 pp.18-19

7 講演会、各種研究会等での発表

・徳島県博物館協議会連携企画 博物館アワカルト講座「「キミに夢中♡～学芸員のおしごとと愛しき人間像コレクション～」展について」(共通テーマ「博物館の表と裏」)徳島県立博物館 令和7年8月30日

8 社会的活動

・徳島県障がい者芸術・文化活動支援センター「障がい者アート活動支援のためのワークショップ『作品を魅力的に見せるコツ』作品展示を考える」講師補助 令和7年10月7日

10 教育活動

・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 歴史と課題」令和7年2月25日

・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 特別展」令和7年2月26日

1 個別研究の概要

「旧所蔵作品〈自転車乗り〉の科学調査報告」

当館がかつてジャン・メッツァンジェ作（1911～1912年頃）として所蔵し、2025年3月にヴォルフガング・ベルトラッキによる贋作であると公表した〈自転車乗り〉について、材料および構造的特徴を明らかにするための科学調査を実施した。本作品はこれまで科学的見地に基づく客観的データが存在しなかったため、東京文化財研究所の協力の下、制作方法および制作年代の推定に資する情報取得を目的とした。

調査にあたっては、作品への影響を最小限にとどめるべく原則として非接触非破壊分析のアプローチを採用しつつ、極少量の試料片を用いた破壊分析も実施した。具体的には、X線透過撮影、蛍光X線分析、ハイパースペクトルイメージング、および顕微ラマン分光分析などの非破壊分析に加え、顕微赤外分光分析や熱分解GC/MS等の分析手法を組み合わせ、多角的にデータを取得した。

調査の結果、まずX線透過撮影などにより画面全域の下地に鉛白が使用されていることが確認された。さらに、各種分光分析による詳細な解析から、チタンホワイト（ルチル型酸化チタン）、チタンイエロー、フタロブルー、フタログリーンといった、20世紀中期以降に実用化・普及した工業的合成顔料の使用が明確に特定された。加えて、熱分解GC/MS分析により、展色材にアクリル樹脂が併用されていることも判明した。

これらの特定された合成顔料およびアクリル樹脂は、当初の制作年代として想定されていた1910年代には色材として存在していない。したがって、材料的特徴の観点から本作品は想定された制作年代と全く合致せず、比較的近年に制作されたものであることが科学的に裏付けられた。本調査で得られた素材に関する客観的データは、当館における真贋の検証のみならず、今後発見される可能性のあるベルトラッキの贋作検証や、類似事例の比較研究において極めて有用な基礎資料となるものである。

2 図書、図録等

・浅田真珠（編著）、飯田恵実・竹内利夫（共著）『開館35周年記念展 美術と野獣—人間の根源へ』展図録 徳島県立近代美術館 令和8年1月26日

3 論文

・「旧所蔵作品〈自転車乗り〉に関する調査報告」『徳島県立近代美術館紀要』第26号 令和8年3月 pp.21-41

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策102 身体を通して歴史を問う」『徳島新聞』令和7年6月21日
- ・「アート散策109 意欲と挑戦心受け止め」『徳島新聞』令和8年2月19日
- ・「美術館からのエッセイ てみるの時間 2025 年度プログラムスタート!」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年6月 <https://www.jctv.ne.jp/column/mori/202506.html>
- ・「美術館からのエッセイ てみるの時間 2025年 階段ジャックワークショップ」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年11月 <https://www.jctv.ne.jp/column/mori/202511.html>

9 所属学会

- ・文化財保存修復学会
- ・日本文化財科学会

10 教育活動

- ・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館資料保存論 美術作品の保存と修復」令和7年9月4日

1 個別研究の概要

「医療・福祉と美術の繋がりについて－イベント実施報告を中心に」

令和6年度に開催した、特集展示「Look@コラージュ」では、展覧会関連事業を通して、当館のユニバーサルミュージアム事業を発展・深化することを目的に、「美術館に来ることが難しい人たち」に美術館やアートを楽しんでもらえる方法を模索した。徳島大学大学院教授の田中氏との共催で、県内の福祉施設や医療機関と協力し、3つのイベントを開催した。また、令和7年度に開催した、開館35周年記念展「美術と野獣－人間の根源へ」においても、福祉や医療分野と連携した2つのイベントを開催した。

令和7年3月に徳島大学で行われたセミナーにおいて、「Look@コラージュ」展の関連イベントについて報告し、田中氏や国立アトリサーチセンター研究補佐員の中野氏からフィードバックを受けた。国際的には、薬の代わりに人や地域との繋がりを処方する「社会的処方」の考え方や、アートは精神と身体双方の健康に強い影響を与えるという結果が出ていること、また、医療や福祉施設と美術館には、目的や役割等において共通項があり、今後のさらなる連携の発展が期待できることなど、客観的な指標を踏まえて専門家の視点から、当館のイベントを見直すことができた。

今後も、国内外の動向を調査研究し、当館での事業に活かしていきたい。

2 図書、図録等

・浅田真珠（編著）、飯田恵実・竹内利夫（共著）『開館35周年記念展 美術と野獣－人間の根源へ』展図録 徳島県立近代美術館 令和8年1月26日

3 論文

・「20世紀美術とプリミティヴー野性を求めて」『開館35周年記念展 美術と野獣－人間の根源へ』展図録 徳島県立近代美術館 令和8年1月26日 pp.48-51

5 解説、翻訳他

・「アート散策101 いつもの風景 藍で彩る」『徳島新聞』 令和7年5月17日
・「開館35周年記念展「美術と野獣－人間の根源へ」」『徳島県立近代美術館ニュース』第135号 令和7年10月 pp.1-3
・「美術館からのエッセイ 開館35周年記念展「美術と野獣－人間の根源へ」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年10月 <https://www.jctv.ne.jp/column/mori/202510.html>

9 所属学会

・美術史学会

10 教育活動

・徳島大学特別講師「芸術文化論」令和7年11月7日
・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の意義と実際」令和8年2月5日、
「博物館教育論 地域連携」令和8年3月5日

1 個別研究の概要

「板東敏雄の1922～25年の足取りと作風の変化について」

徳島県出身の洋画家・板東敏雄（1895～1973）は、若くしてフランスに渡ると、そのまま帰国することなく、生涯フランス国内で活動し続けた画家である。本研究では、彼の生涯、現存作品、出品歴等、これまでに判明している情報の収集・整理を行い、その上で、特に1922年から1925年頃までの彼の足取りを詳細に調査した。

1922年は板東が渡仏した年である。渡仏後、彼はパリ・モンマルトルで暮らし、サロンへの入選や個展の開催といった活躍を見せ、充実した日々を送っていた。しかし着実に評価を高めていた1925年、彼はパリを離れる。そしてその時期を境に、作風にも大きな変化が起こっている。

新聞記事等の同時代資料や現存作品の調査を通じて、この作風の変化が、パリを離れたことによる生活環境の変化や、板東と藤田嗣治(1886-1968)の関係性の変化と、どのように関連しているかについて考察を行った。そしてその結果、生活環境の変化による影響が、作品上でも確認できること、そして板東は藤田の影響から脱した独自の作風を探索しており、作風の変化はその成果であったという可能性を示した。

この研究成果については、令和7年度の当館研究紀要26号において発表した。

3 論文

- ・「板東敏雄の1925年までの活動および作風の変化について」『徳島県立近代美術館研究紀要』第26号 令和8年3月

5 解説、翻訳他

- ・「アート散策105 板東敏雄 異色の生涯」『徳島新聞』 令和7年9月11日
- ・「所蔵作品紹介 オシップ・ザツキン〈女性立像〉」『徳島県立近代美術館ニュース』第136号 令和7年12月 p.6
- ・「美術館からのエッセイ 所蔵作品展Ⅱ「空間往来」」『寄稿者コラム 千言万語』日本中央テレビWebサイト 令和7年12月 <https://www.jctv.ne.jp/column/mori/202512.html>

10 教育活動

- ・令和7年度県内3大学学芸員養成協力講座「博物館展示論 美術館展示の意義と実際 所蔵作品展」 令和8年2月25日

7-3 文献資料の整理

年度 種別	59 年度 平成 元年度	平成 2年度	平成 3年度	平成 4年度	平成 5年度	平成 6年度	平成 7年度	平成 8年度	平成 9年度	平成 10年度	平成 11年度	平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	31 年度 令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	計
図書・図録 (日本語)	520	1,498	67	80	102	94	210	114	314	167	86	109	123	189	203	57	127	238	100	105	113	65	87	94	38	44	43	73	76	41	44	43	42	32	8	85	22	5,453
図書・図録 (外国語)	1,315	283	47	339	196	193	54	91	83	69	259	51	56	73	77	60	24	48	47	39	18	32	19	17	18	22	0	0	0	0	0	1	0	4	3	4	0	3,542
雑誌バック ナンバー (日本語)	3,935	2,306	932	800	444	584	502	268	85	124	1	16	209	88	2	33	91	147	1	3	25	5	3	1	45	0	79	27	37	0	2	4	2	12	2	1	2	10,818
雑誌バック ナンバー (外国語)	66	1,149	0	67	25	5	0	0	23	15	0	0	59	15	9	10	112	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,637
その他 (件)	27	32	2	4	1	2	0	0	9	2	23	12	3	1	4	5	7	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	145
合計	5,863	5,268	1,048	1,290	768	878	766	473	514	377	369	188	450	366	295	165	361	519	148	147	159	102	109	112	101	66	122	102	113	41	46	48	46	48	13	90	24	21,595

*この集計表は、購入した図書と雑誌の冊数を示す。

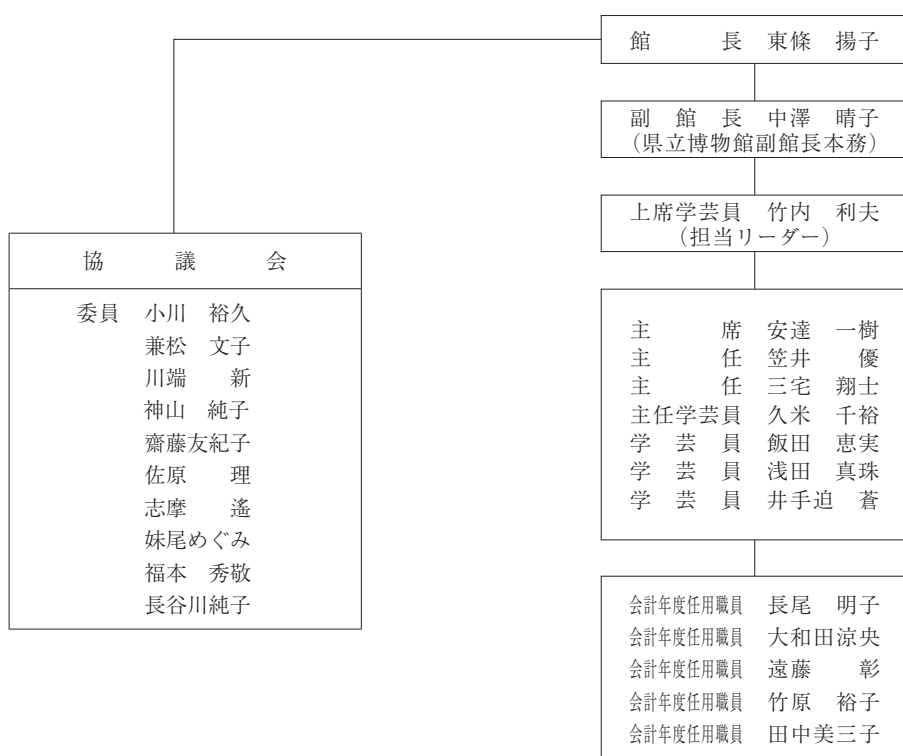
寄贈された図書と雑誌の冊数、定期購読雑誌、図書館費(平成27年～令和5年)で購入し当館書庫に配架されている図書等の冊数は含めていない。

8

管 理 運 営

8-1 組織及び職員一覧(令和7年度)

(令和8年3月31日現在)



8-2 美術館協議会

1 委員

(令和7年12月4日現在)

2 開催

令和7年12月4日

区 分	氏 名	職 名
学 校 教 育	齋藤友紀子	徳島県小学校教育研究会図画工作部会会員
	志摩 遙	徳島県高等学校教育研究会美術学会会員
社 会 教 育	小川 裕久	徳島市立徳島城博物館館長
	兼松 文子	(公社)徳島県労働者福祉協議会 参与兼在住外国人サポート事業部長
	長谷川純子	鳴門市市民生活部文化交流推進課ドイツ館係長
家 庭 教 育	神山 純子	一般社団法人こどもとおとな研究舎理事
学識経験者	川端 新	四国大学文学部国際文化学科講師
	佐原 理	徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授
	福本 秀敬	日本放送協会徳島放送局コンテンツセンター長
	妹尾めぐみ	公募委員(四国大学生生活科学部人間生活学科講師)

8-3 入館者数

1 令和7年度所蔵作品展入館者数

(単位:人)

月	区分	有 料 入 館 者									無 料 入 館 者						観覧者		開 館 日 数	1日 平均 入館者数
		個 人			団体(割引20%)			3館共通券(割引20%)			観 覧 料 免 除						総 数			
		大 人	高大生	小中生	大 人	高大生	小中生	大 人	高大生	小中生	学 校 教 育	社会福祉施設等	個 人							
		200	100	50	160	80	40	160	80	40	校 人 数	施設 人数	小中高生	一 般						
4		123	10	0	112	1	0	36	3	2	0	0	0	0	54	327	668	22	30	
5		307	28	1	377	12	2	39	1	0	6	485	0	0	50	2,287	3,589	27	133	
6		246	26	1	275	13	0	75	2	0	5	189	1	17	69	560	1,473	25	59	
7		183	36	6	156	1	1	41	1	2	3	70	0	0	89	584	1,170	27	43	
8		403	58	0	365	15	0	75	4	0	5	108	2	35	286	2,778	4,127	28	147	
9		395	22	1	416	12	0	25	3	0	1	39	1	22	56	1,911	2,902	21	138	
10		157	11	2	141	2	0	15	3	0	15	740	3	58	116	1,916	3,161	27	117	
11		26	2	0	13	1	0	3	0	0	9	351	0	0	45	3,442	3,883	26	149	
12		82	9	0	48	0	0	19	3	0	0	0	0	0	79	467	707	20	35	
1		126	24	0	88	3	0	20	2	0	1	13	1	4	26	317	623	23	27	
2		102	20	1	105	7	1	29	0	0	1	4	0	0	30	1,738	2,037	24	85	
3		214	28	2	226	7	2	26	2	0	5	125	2	26	85	1,166	1,909	26	73	
合 計		2,364	274	14	2,322	74	6	403	24	4	51	2,124	10	162	985	17,493	26,249	296	89	

*浮世絵の華の入館者数は上記の所蔵作品展の人数に含まれる。

2 令和7年度特別展入館者数

(単位:人)

区分 展覧会名	有 料 入 館 者												有料 入館 者計	無 料 入 館 者						免除 観覧 者計	観 覧 計	開 館 日 数	1日平均 入館者数
	個 人			団 体			減 免			前 売 券				学校教育		社会福祉施設等		個 人					
	大人	高大生	小中生	大人	高大生	小中生	障害	高齢	高大生	一般	高校生	小中生		校	人数	施設	人数	小中高生	一般				
開館35周年記念展 美術と野獣－人間の 根源へ	665	82	2	678	38	5	0	467	0				1,937	23	1,076	3	52	281	856	2,265	4,202	62	68
合計	665	82	2	678	38	5	0	467	0	0	0	0	1,937	23	1,076	3	52	281	856	2,265	4,202	62	68

*浮世絵の華の入館者数は所蔵作品展の人数に含まれる。

3 令和7年度講座等、ギャラリー等、共催事業の入館者・参加者数

(単位:人)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
講座等 参加者	936	6,787	4,167	1,398	3,066	1,888	3,141	4,362	2,270	1,111	2,076	1,467	32,669
ギャラリー等 入館者	0	0	0	2,219	0	34	0	27	1,105	1,113	2,426	1,957	8,881
共催事業 参加者	0	187	0	10	791	334	7,088	20,373	10,509	979	623	8	40,902

4 令和7年度総入館者数

(単位:人)

所蔵作品展	特別展	講座等	貸館事業	共催事業	合計
26,249	4,202	32,669	8,881	40,902	112,903

*浮世絵の華の入館者数は上記の所蔵作品展の人数に含まれる。

5 総利用者累計(平成2～令和7年度)

(単位:人)

年度\区分	所蔵作品展	特別展	講座等	ギャラリー等	共催事業	計
平成2	49,885	38,764				88,649
3	63,493	21,377				84,870
4	33,353	12,122	1,779			47,254
5	25,184	11,544	2,143			38,871
6	27,398	23,264	8,146			58,808
7	64,643	64,823	4,756			134,222
8	29,054	19,245	716			49,015
9	25,086	18,766	2,834			46,686
10	21,684	16,564	3,850			42,098
11	20,098	16,954	2,055			39,107
12	27,552	24,416	3,312	42,046		97,326
13	19,853	16,496	1,858	20,123		58,330
14	29,796	31,296	1,865	21,497		84,454
15	22,830	26,023	3,386	24,258		76,497
16	26,833	29,743	4,649	32,738		93,963
17	22,969	26,910	4,420	22,947		77,246
18	24,970	24,546	4,277	29,406		83,199
19	23,276	18,403	1,407	86,823		129,909
20	17,347	12,825	1,403	18,016		49,591

年度\区分	所蔵作品展	特別展	講座等	ギャラリー等	共催事業	計
21	26,736	16,209	36,122	49,168		128,235
22	18,883	11,793	54,334	16,983	35,516	137,509
23	24,871	7,704	3,213	16,760	28,931	81,479
24	23,251	10,496	3,030	20,405	13,905	71,087
25	15,580	7,686	6,200	16,694	2,896	49,056
26	16,937	7,465	22,157	36,319	6,434	89,312
27	47,312	48,154	20,301	18,750	2,740	137,257
28	17,311	5,673	39,888	20,039	39,582	122,493
29	21,347	12,256	22,990	37,071	4,135	97,799
30	22,419	14,999	25,354	23,125	4,665	90,562
令和元	19,816	12,935	20,924	20,118	4,364	78,157
2	10,531	17,279	10,425	8,894	4,478	51,607
3	14,579	5,566	22,987	12,860	2,303	58,295
4	12,364	7,169	17,306	17,632	4,143	58,614
5	15,226	9,137	17,635	20,218	6,231	68,447
6	22,682	17,008	23,132	19,846	13,880	96,548
7	26,249	4,202	32,669	8,881	40,902	112,903
合計	931,398	669,812	431,523	661,617	215,105	2,909,455

*「講座等」は、講座(4-1-1～4)、出前授業等アウトリーチ活動(4-2-3、5～7、4-4)の参加者、図書閲覧(書庫の図書利用)やレファレンスサービスなどのロビー利用者を合計したもの。ただし、平成3年度開催の講座参加者数は未算入。また、平成2年度から13年度までは、講座以外のアウトリーチ活動等の参加者数を算入していない。

*「ギャラリー等」は、平成2年度から11年度までのギャラリー観覧者数が未算入。平成25年度からは、講座室貸出による利用者数が加わる。

*平成27年度の共催事業及び計の人数は当初の数値から修正した。

*令和7年度の所蔵作品展の入館者数には浮世絵の華の人数も含まれるがその数はその期間の所蔵作品展の入館者数。

6 特別展等開催実績(平成2年度～令和7年度)

(単位:人)

年度	展覧会名	会期	開催日数	入場者数
平成2	ピカソと日本	11/3～12/9	31	32,838
	みずゑのあけぼの	1/26～3/10	38	5,926
	計		69	38,764
3	大正の新しき波	4/13～5/5	20	6,077
	THE HIROSIMA	5/14～6/16	30	2,356
	日本近代彫刻の一世紀	6/22～7/21	26	2,133
	現代美術'91	8/10～10/6	50	4,010
	スウェーデン現代美術展	10/26～12/8	37	3,444
	アメリカン・リアリズム	2/22～3/29	31	3,357
	計		194	21,377
4	篠原有司男展	4/3～4/26	21	1,292
	パリ・日本・メキシコ	5/2～6/14	38	3,950
	ベルリン・アート・シーン	8/1～9/13	38	2,783
	版画芸術の饗宴	10/31～12/6	32	1,829
	アフリカン・アメリカン美術展	1/23～3/7	37	2,268
	計		166	12,122
5	〈色彩〉としてのスフィンクスー加納光於	4/3～5/23	47	2,167
	斉藤義重による斉藤義重展	6/5～7/11	31	1,110
	亡命者の軌跡	8/10～9/19	36	2,410

(単位:人)

年度	展覧会名	会期	開催日数	入場者数
5	東四国阿波讃岐風景画展	10/2～11/14	39	3,561
	ベルギー現代美術展	1/29～3/20	43	2,296
	計		196	11,544
6	靉光-揺れ動く時代の痕跡	4/23～6/5	37	4,233
	伊原宇三郎展-生誕100年を記念して	7/16～8/28	38	7,705
	英国のモダン・デザイン	9/6～11/3	49	5,951
	変貌する20世紀絵画	11/12～12/25	36	3,396
	1994剣持和夫展	1/21～3/5	37	1,979
	計		197	23,264
7	清原重以知展	4/8～5/28	43	4,176
	サンパウロ美術館名品展	6/3～7/16	38	50,325
	コレクションによる特別展示-人間像のゆくえ	7/22～10/1	60	3,085
	50年後-彼らはなぜ戦争を表現するのか	10/17～12/17	53	2,703
	同時代のアフリカ美術	1/20～3/17	50	4,530
	計		244	64,819
8	山下菊二展	4/13～5/26	38	3,139
	ホフマンとウイーン工房展	7/5～8/18	39	3,905
	パスキンとエコール・ド・パリ	8/31～10/13	38	5,378
	ウルム美術館展	10/26～12/1	32	4,308
	ゆたか-あなたも幸せになりたいでしょう	12/14～3/9	67	2,515
	計		214	19,245
9	コレクションでみる20世紀の版画	4/12～5/18	32	2,747
	イギリス絵画と印象派	5/31～7/13	38	5,066
	アントニー・ゴームリー展	7/26～9/15	45	3,037
	近代日本画への道程	10/10～11/24	40	5,710
	菊畑茂久馬1983-1998	1/24～3/15	44	2,206
	計		199	18,766
10	日本画に見る画家のまなざし	4/18～5/24	32	4,579
	一原有徳・版の世界	6/6～7/20	39	1,795
	黄金時代のポスター芸術	8/1～9/27	50	3,548
	薩摩治郎八とパリの日本人画家たち	10/17～12/6	44	4,195
	大久保英治 四国の天と地の間	1/15～3/14	51	2,445
	計		216	16,562
11	荻原守衛と朝倉文夫	4/17～6/27	62	2,723
	東アジア／絵画の近代	7/17～8/29	38	2,743
	前田寛治の芸術展	9/11～10/17	32	2,196
	東欧絵本の世界展	10/30～12/12	38	7,420
	ジョセフ・コースス	2/15～3/26	36	1,868
	計		206	16,950
12	目黒雅叙園美術館コレクション	4/22～6/4	38	5,776
	パウハウス展	7/15～8/27	38	4,662
	山本正道展	9/15～10/22	33	1,683
	近代徳島の美術家列伝	11/3～12/17	39	5,176

開館5周年
記念展開館10周年
記念展

12	四谷シモンー人形愛	1/20～3/11	44	7,119
	計		192	24,416
13	ジャポニズム展	4/28～6/3	32	3,043
	アート・イン・パラダイス	7/20～8/26	33	2,418
	キッズ・サイズ・デザイン展	9/8～10/21	38	2,474
	京都の日本画	11/3～12/9	32	4,688
	自然を見つめる作家たち	1/26～3/17	44	3,806
	計		179	16,429
14	近世フランスの絵画と版画	4/27～6/2	32	7,589
	本と美術	7/6～8/25	45	2,980
	高村光雲とその時代展	9/3～10/6	30	5,018
	ユトリロ展	10/12～11/24	38	12,553
	ゲルハルト・リヒター展	2/1～3/23	44	3,156
	計		189	31,296
15	ウィーンの夢と憧れ	4/26～6/15	44	3,512
	没後20年 中原淳一展	7/19～8/31	38	8,933
	富岡鉄斎展	9/13～10/26	38	3,240
	松岡美術館所蔵フランス近代絵画展	11/1～12/7	32	8,050
	シーニック・アイ美術と劇場	1/17～3/21	46	2,288
	計		198	26,023
16	京都画壇一世紀の輝き	4/24～6/6	38	7,739
	日本近代洋画への道	8/7～9/5	26	3,256
	ピエール・ボナール展	9/12～11/7	49	6,287
	いわむらかずお絵本の世界展	11/13～12/19	32	8,292
	マン・レイ展	1/15～3/21	57	4,169
	計		202	29,743
17	富山県水墨美術館名品展	4/29～6/5	33	6,323
	黒田清輝展	7/16～9/4	45	12,118
	コレクション+aで楽しむシリーズ:音楽	9/17～11/6	44	2,520
	コレクション+aで楽しむシリーズ:文学	11/12～12/18	32	1,248
	巨匠デ・キリコ展	2/4～3/21	39	4,701
	計		193	26,910
18	日本画の魅力ー美しき人と心	4/29～6/11	38	7,522
	巴里憧憬ーエコールド・パリと日本の画家たち	7/15～8/20	33	4,241
	吹田文明展	9/2～10/22	44	5,054
	変貌するひとのすがた ピカソの版画	11/1～12/17	41	3,510
	ハンス・ペーター・クーン	1/27～3/11	38	4,219
	計		194	24,546
19	オランダ絵本作家展	4/21～7/1	62	8,594
	美術の国徳島1 昭和の文展、帝展作家	7/21～10/8	70	3,258
	日本画ー和紙の魅力を探る	11/13～12/27	39	4,273
	IWANO MASAHIITO	2/9～3/23	38	2,278
	計		209	18,403
20	大正ロマン昭和モダン展	4/26～6/22	50	5,649
	アメリカ版画の今	7/19～8/31	38	2,213

(単位:人)

年度	展覧会名	会期	開催日数	入場者数
20	未来に伝えたいー学芸員おすすめアート	9/13～10/13	27	1,387
	京都画壇に咲いた夢	10/25～12/7	38	3,576
	計		153	12,825
21	ヨーロッパ・ポスター芸術の開花	4/25～6/21	50	4,730
	おもろいやつらー人間像で見る関西の美術	7/18～8/30	38	2,218
	美術の国徳島II 谷口董美、山下菊二兄弟	9/5～10/12	33	2,218
	明治・大正・昭和100年の名画展	10/24～12/6	38	7,043
	スタジオジブリ・レイアウト展	2/20～4/18	50	58,769
	計		209	74,978
22	堀内誠一 旅と絵本とデザインと	4/29～6/13	40	3,338
	濱谷明夫ー藍と造形	7/17～9/26	62	2,989
	徳島県立近代美術館 名品ベスト100	10/9～12/26	68	5,466
	計		170	11,793
23	森口ゆたかーあなたの心に手をさしのべて	4/29～6/26	51	2,327
	手塚治虫展	7/23～8/31	35	21,746
	スウィング・ロンドン	9/17～11/6	44	4,272
	魅力発見わたしたちの美術館	11/15～12/25	36	1,105
	計		166	29,450
24	どうぶつ集まれ	4/28～6/24	50	4,049
	「戦没画学生 生命の絵」展	7/20～9/20	40	10,616
	墨と紙が生み出す美の世界	10/13～12/9	50	5,196
	アート発見学	2/9～3/23	38	1,251
	計		178	21,112
25	〈遊ぶ〉シュルレアリスム	4/27～6/30	56	4,496
	戦後@ニッポン	7/13～9/8	61	1,478
	西洋美術との出会い	10/5～12/1	54	1,712
	計		171	7,686
26	三嶽伊紗のしごと	4/26～6/15	44	2,141
	三宅克己展	10/11～12/7	50	5,324
	計		94	7,465
27	美の饗宴展 西洋絵画の300年	4/26～6/15	47	33,282
	フィギュア展	10/3～11/29	50	14,872
	計		97	48,154
28	暮らしの感覚	7/16～9/4	45	2,187
	ベルギー近代美術の精華展	10/26～12/11	41	3,486
	計		86	5,673
29	美術に見る日本赤十字社の歩み	4/22～6/11	44	8,129
	広島見甫展	10/21～12/10	44	2,407
	生の刻印 アール・ブリュット再考	2/10～3/4	20	1,720
	計		108	12,256
30	佐野洋子の世界	7/14～9/2	43	10,363
	日下八光展	9/15～11/4	44	3,308
	アール・ブリュット再考II(仮称)	2/23～3/10	14	1,328

文化の森開園
20周年記念展開館20周年
記念展開館25周年
記念展開館25周年
記念展

30	計		101	14,999	
令和元	美人画の雪月花	7/20～9/1	43	7,335	
	ニューヨークアートシーン	9/14～11/4	44	4,162	
	アール・ブリュット再考3 So Happy -やまなみ工房作品展	2/15～3/1	14	1,438	
	計		101	12,935	
2	それぞれのながめ	5/9～6/28	43	1,117	文化の森開園 30周年記念展 文化の森開園 30周年記念展
	ドイツ 20世紀 アート	10/17～12/6	44	4,360	
	野外彫刻展	10/27～11/8	13	10,576	
	いきいきと解き放つ命の輝き	2/11～2/28	16	1,226	
	計		101	17,279	
3	自転車のある情景	7/17～9/5	44	1,629	
	子どものころ	10/9～11/28	44	2,743	
	PICFA アートの仕事	2/10～2/27	16	1,194	
	計		101	5,566	
4	カミのかたち	4/23～6/19	50	1,789	
	日本の戦後彫刻	7/16～9/4	45	1,295	
	風土と美術-青森/徳島	10/8～11/27	44	2,395	
	思い出のアルバム-人生を語るユニバーサル展示	12/10～1/9	21	481	
	希望の園作品展	2/10～2/26	15	1,209	
	計		175	7,169	
5	境界をこえる	4/29～6/18	44	1,405	
	イロのひみつ-なにいろに見る?	7/15～9/3	44	3,014	
	ディーン・ボーエン展	9/16～12/10	74	4,718	
	計		162	9,137	
6	ユーモア -おかしみの表現に潜むもの-	4/27～6/30	56	2,671	
	大久保英治:辺境の作家1973-2024	7/13～9/23	62	1,919	
	没後120年 エミール・ガレ展	10/12～12/15	56	12,418	
	計		174	17,008	
7	[大阪・関西万博特別連動企画]浮世絵の華-原安三郎コレクション-	9/6～10/13	(33)	(4,713)	開館35周年 記念展
	開館35周年記念展 美術と野獣-人間の根源へ	10/4～12/14	62	4,202	
	計		62	4,202	

*徳島県、徳島県教育委員会が主催者に入ったスタジオジブリ・レイアウト展(平成21年度)、手塚治虫展(平成23年度)は、特別展ではなく共催事業に分類しているが、ここでは「特別展等」として両展の入館者数を加えた。

なお、「総利用者累計」(8-4-5)で「共催事業」をカウントするようになったのは平成22年度からであり、スタジオジブリ・レイアウト展の入場者数は、「総利用者累計」に含めていない。

*浮世絵の華展(令和7年度)は、事業区分上は特別展だが、所蔵作品展の展示室の一部を会場としたため、入館者数は所蔵作品展の人数に含め集計している。上表には同展会期の日数と所蔵作品展の人数を記載している。

8-4 レファレンス業務

当館では、所蔵作品・作家に関することや展覧会情報など、美術について幅広い問い合わせに対応している。一般の方に美術情報を提供するだけでなく、調査研究活動、学芸活動の成果を活かして、他の文化施設や官公庁、教育機関、マスコミへの協力も行っている。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	1	3	3	2	2	2	2	3	3	1	2	2	26

8-5 作品の貸出

1 油彩画他

作家名	作品名	数量	期間	展覧会名	貸出先
オシップ・ザツキン	女性立像	1	令和7年4月8日- 令和7年7月2日	OPAM開館10周年記念 LINKS—大分と、世界と。	大分県立美術館
伊原宇三郎	窓際の静物	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1925:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
伊原宇三郎	ピカソ作《窓の前のマンドリ ンとリンゴを盛ったコンポート》 の模写	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1926:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
伊原宇三郎	ピカソ作《ギター、楽譜、メロ ンの薄切りのあるコンポート、 女の胸像》の模写	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1927:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
伊原宇三郎	ピカソ作《コンポートと窓ガラ ス》の模写	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1928:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
伊原宇三郎	ピカソ作《ギターとオレンジを 盛ったコンポート》の模写	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1929:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
伊原宇三郎	ピカソ作《胸像、コンポート、 マンドリン、赤い敷物》の模 写	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1929:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
藤田嗣治	トランプ占いの女	1	令和7年9月3日- 令和7年12月27日	1929:ピカソ・フジタ・ヤク シジュー むすび100年前	公益財団法人大原芸 術財団
青木千絵	BODY 08-1	1	令和7年9月24日- 令和7年12月3日	闇へ研ぐ -青木千絵の 造形と漆-	岐阜現代美術館
中村宏	戦争期	1	令和8年1月6日- 令和8年3月29日	中村宏展 アナクロニズ ム(時代錯誤)のその先 へ	静岡県立美術館
下村観山	毘沙門天 弁財天	1	令和8年2月18日- 令和8年7月末	下村観山展	東京国立近代美術館、 和歌山県立近代美術 館

8-6 ギャラリー、講座室の利用状況

ギャラリー利用状況（7月28日～12月10日の期間は灯具 LED 化工事のため休室）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件 数	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	5	5	14
利 用 日 数	0	0	0	3	0	0	0	0	8	5	17	18	51

講座室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
件 数	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	4
利 用 日 数	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	4

8-7 運営計画

徳島県立近代美術館 中期計画・目標

基本理念(使命)と事業方針に基づき、美術館の運営・管理事項を分類し目標を設定。5年間ごとに更新する。平成17年から実施し、現在は第五期(令和7年度～令和11年度)。

第五期の重点取組事項

- ①社会貢献 ②設備改修 ③コレクションの魅力発信
④美術館活動のPR

1. 資料の収集・保管・活用

近代・現代美術や徳島ゆかりの資料の継続的な収集を図るとともに、良好な状態で保管し、その活用を図っていく。

- (1) 継続的な資料収集
 - ア 収集の重点ポイント設定
 - イ 40周年記念購入
 - ウ 作品購入
 - エ 寄贈・保管転換の受入
 - オ 寄託作品の受入
- (2) 設備管理
 - ア 保管環境の点検と整備(展示室、収蔵庫の空調、IPM等)
- (3) データベース
 - ア 必須情報の完備
 - イ 外部への公開促進
 - ウ システムのメンテナンスと更改
 - エ 作品撮影及び画像整理
- (4) 作品の管理・点検
 - ア 作品・調書点検(状態等)
 - イ 保管・利用(貸し出し含む)
- (5) 保存・修復
 - ア 計画的な修復の実施

2. 調査研究

近代・現代美術や徳島ゆかりの資料に関する基礎的な調査研究、資料の保存や展示、教育普及活動等に関する調査研究を行うとともに、その成果の美術館活動への反映と地域社会への還元を図っていく。

- (1) 研究体制の整備、紀要
 - ア 研究報告会の定期的開催
 - イ 紀要の発行
- (2) 資料整備
 - ア 未整理資料の整理
 - イ 図書資料の充実と整理

3. 展示活動

美術作品を通じて感動や体験のできる場を提供するとともに、近・現代美術を中心とした文化活動を先導していく。

所蔵作品展は、コレクションの特徴を生かして、計画的に、できるだけ多くの所蔵作品を鑑賞する機会を提供する。特別展は、近代、現代、日本、海外、徳島ゆかりなど多彩な内容の展覧会を適時適切に開催する。

- (1) 所蔵作品展
 - ア 所蔵作品の魅力向上
 - イ 展示会場や展示替え回数の弾力的な見直しと運用
- (2) 特別展
 - ア 特別展の開催
 - イ ストック(所蔵品・地元の遺産等)の活用
- (3) 入館者
 - ア 入館者数の確保
- (4) 有料入館者
 - ア 有料入館者数の確保

4. 教育普及活動

展示や所蔵資料に関連した各種教育普及活動を通じて、楽しく学ぶことができる多様な学習機会を提供し、県民の生涯学習への支援を図っていく。

- (1) 学習活動の支援
 - ア 展示や資料に関連した多様な学習活動支援の実施
- (2) 学校連携
 - ア 子ども達が美術品に親しむ機会や美術(美術館)に対する認識を深める機会の提供
 - イ 鑑賞教育推進プロジェクト等の開催
- (3) 関係機関との連携
 - ア 社会教育機関等との連携
 - イ アウトリーチ事業
- (4) ICTによる普及

ア デジタルコンテンツの作成・発信

5. 県民参加、協働、社会貢献

美術館の使命や活動内容の周知と、県民の意見やニーズの把握をふまえて、ボランティアをはじめとする県民との協働を推進し、地域との連携を図っていく。

- (1) ボランティア
 - ア アートイベントサポーターの推進
- (2) 県民参加・地域連携型事業
 - ア 県民参加型事業の企画と実施(てみるの時間等)
 - イ 地域連携型事業の企画と実施(コラボ企画等)
- (3) ユニバーサルミュージアムの推進
 - ア ユニバーサルミュージアム事業の推進
 - イ 手話通訳付き展示解説等の実施
- (4) 社会貢献
 - ア 医療・福祉・防災・環境等の地域課題を踏まえた社会貢献
 - イ 専門性を活かした社会貢献

6. 広報・情報の発信と公開

美術館の催し物案内や美術館活動に関する様々な情報の積極的発信を図り、美術館に対する理解と利用の促進を図っていく。

- (1) 広報
 - ア 計画的、効果的広報の推進
- (2) ホームページ、SNS
 - ア ネット利用の情報発信の推進
 - イ ホームページのリニューアル

7. 経営

美術館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、職員意識や資質の向上を図っていく。

健全な美術館経営を行えるよう、財源の確保を図り、効率的な執行に努める。

安全で誰もが安心できる快適な美術館となるよう、利用者のニーズを把握し、サービス向上に努めるとともに施設の点検改善を図る。

- (1) 学芸員の資質の向上
 - ア 学芸員の研修機会の確保
- (2) 歳入源の確保
 - ア 補助金、助成金等による外部財源確保
 - イ 広告、貸館、図録販等の歳入確保
- (3) 利用者ニーズの把握と反映
 - ア 各種アンケートの集計と分析(来館者、イベント、学校連携等)
 - イ ニーズ把握と館運営への反映
- (4) 対応マニュアルの整備と運用
 - ア 来館者対応マニュアルの整備・更新(感染症対策を含む)
 - イ 緊急時職員対応マニュアルの整備・更新
- (5) 施設の整備・管理
 - ア 施設(ハード面)安全性の点検調査と、改善

関係法規

徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号
最新改正 令和4年3月18日 徳島県条例第10号
(令和4年4月1日施行)

*他館に関わること、附則等は略しました。

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設(以下「文化施設」という。)を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

名称	業務
徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)	(1)美術作品及び美術に関する資料(以下「美術館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。 (2)美術館資料に関する調査研究を行うこと。 (3)美術に関する講演会、講座等の教育普及事業を行うこと。 (4)美術作品の展示のためにギャラリーを利用に供すること及び美術に関する講座等の文化活動のために美術館講座室を利用に供すること。 (5)その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

(利用の許可)

第3条 次の表に掲げる文化施設の施設又は用具を利用しようとする者は、あらかじめ、知事の許可(以下「利用の許可」という。)を受けなければならない。

区 分	施設又は用具
美術館	ギャラリー 美術館講座室

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 利用の許可を受けた者に対しては、別表第2に掲げる額の使用料を徴収する。

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全部又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し、又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法(昭和25年法律第118号)及び博物館法(昭和26年法律第285号)に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 知事の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

協議会の名称	所掌事務
徳島県立近代美術館協議会	美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。

4 徳島県立文書館協議会及び徳島県立二十一世紀館協議会の委員は、学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、知事が任命する。

5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。
(規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第4条関係)

区 分	単 位	金 額			
		常 設 展		企 画 展	
		個 人	団体(20人以上をいう。以下同じ。)	個 人	団 体
小学校の児童及び中学校の生徒並びにこれらに準ずる者	1人1回	50円	40円	知事とその都度定める額	
高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者	1人1回	100円	80円		
小・中学生及び高校・大学生等以外の者(学齢に達しない者を除く。)	1人1回	200円	160円		

別表第2(第4条関係)

区 分	単 位	金 額
ギャラリー	午 前	3,450円
	午 後	5,750円
	夜 間	4,400円
美術館講座室	午 前	1,670円
	午 後	2,710円

備 考

- 「午前」とは午前9時30分から正午までを、「午後」とは午後1時から午後5時までを、「夜間」とは午後6時から午後9時までをいう。
- 午前から午後まで、午後から夜間まで又は午前から夜間まで引き続き利用する場合の使用料の額は、この表の区分に応じたそれぞれの使用料の額を加えて得た額とする。

- 営利又は営業のための宣伝その他これらに類する目的で利用する場合の集会室1、集会室2、博物館講座室、ギャラリー、美術館講座室、イベントホール、多目的活動室、ミニシアター、スタジオ、ミーティングルーム又はすだちくん森のシアターの使用料の額は、この表及び前項の規定にかかわらず、同表の区分に応じた使用料の額又は同項の規定により算出した使用料の額に百分の5百を乗じて得た額とする。

徳島県立近代美術館管理規則

制 定 令和2年3月24日 徳島県規則第47号
最新改正 令和4年3月18日 徳島県規則第7号
(令和4年4月1日施行)

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日(月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)

- (2) 1月1日から同月4日まで及び12月29日から同月31日まで

2 知事は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 美術館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、ギャラリーの供用時間は、午前9時30分から午後9時までとする。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、前2項の規定にかかわらず、前2項に規定する供用時間を変更することができる。

(用具)

第4条 美術館の情報通信技術を活用した集会等のための用具は、別表のとおりとする。

(令4規則7・追加)

(利用の許可の申請等)

第5条 徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号。以下「条例」という。)第3条の許可(以下「利用の許可」という。)を受けようとする者は、徳島県立近代美術館利用許可申請書(別記様式)を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、利用しようとする日(その日が引き続き2日以上に及ぶときは、その初日)の前日から起算して、ギャラリーについては6月前の日以後に、美術館講座室については3月前の日以後に提出するものとする。ただし、知事が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

3 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可をしないものとする。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) その他美術館の管理上支障があると認められるとき。

(利用の許可等の通知)

第6条 知事は、前条第一項の申請書を受理したときは、利用の許可をするかどうかを決定し、その旨を当該申請者に通知するものとする。

(利用の許可の取消し等)

第7条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可を取り消し、又は施設等の利用の中止を命ずることができる。

(1) 第5条第3項各号のいずれかに該当する理由が生じたとき。

(2) 利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が利用の許可に付した条件に違反したとき。

(3) 利用者が偽りその他不正な手段により利用の許可を受けた事実が明らかとなったとき。

(4) 利用者が条例又はこの規則の規定に違反したとき。

(利用の内容の変更等)

第8条 利用者は、施設等を利用できなくなったとき、又は利用の許可の内容を変更して施設等を利用しようとするときは、直ちにその旨を文書で知事に届け出なければならない。

(遵守事項)

第9条 美術館を利用する者は、条例及びこの規則並びに知事が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第10条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(1) 泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者

(2) 前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第11条 学術その他の目的のために美術館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年規則第21号）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後のそれぞれの規則の様式に相当するこの規則による改正前のそれぞれの規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができるものとする。

附 則（令和4年規則第7号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

（令4規則7・追加）

- (1) プロジェクター
- (2) パーソナルコンピュータ
- (3) タブレット
- (4) ウェブカメラ
- (5) マイクスピーカー
- (6) デイスプレイ

別記様式（第5条関係）

使 用 料 納 入 時 期	前 納 後 納	決 裁 欄			
------------------	------------	-------	--	--	--

徳島県立近代美術館利用許可申請書				※受付番号			
徳島県知事 殿 次のとおり利用したいので、申請します。							
申請年月日		年 月 日		※許可年月日		年 月 日	
申 請 者	住 所 氏 名 (法人その他の団体にあつては、 主たる事務所の所在地及び名称) 電 話				※ 区 分	一 般	
						営 利	
利用の目的 (行事の名称)			利用(入場) 予定人員	人	入場料等の額 (1人につき)	円	
利用しようとする施設等		利 用 の 日 時				※ 使 用 料 の 額	
		年 月 日 () 時 分 ~ 時 分				円	
		年 月 日 () 時 分 ~ 時 分				円	
		年 月 日 () 時 分 ~ 時 分				円	
		年 月 日 () 時 分 ~ 時 分				円	
※ 備 考					計	円	

注意事項 ※印の欄には、記入しないこと。

徳島県立近代美術館協議会規則

制定 令和2年3月24日 徳島県規則第41号
(令和2年4月1日施行)

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号)第7条第7項の規定に基づき、徳島県立近代美術館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附則 略

徳島県行政組織規則[抜粋]

制定 昭和42年3月28日 徳島県規則第15号
最新改正 令和6年3月29日 徳島県規則第37号
(令和6年4月1日施行)

*本館の設置や本館に関わる分掌事務以外のものは略しました。

第2章 事務部局

第3節 センター等

第1款 設置等

(その他の機関の設置等)

第34条 前条第1項に規定する機関のほか、次の表の上欄に掲げる部に、それぞれ同表の下欄に掲げる機関を設置する。

部	機関		
	名称	設置の目的 又は根拠法令	位置
観光スポーツ文化部	徳島県文化の森振興センター	徳島県文化の森総合公園文化施設の運営を総合的に推進するため	徳島市八万町

2 次の表の上欄に掲げる機関については、それぞれ同表の下欄に掲げる法令又は条例の規定により設置された機関を当該上欄に掲げる機関を構成する機関とする。

機関	法令又は条例の規定により設置された機関		
	名称	位置	所管区域
徳島県文化の森振興センター	徳島県立近代美術館(以下「美術館」という。)	徳島市八万町	

第2款 内部組織及び分掌事務

(分掌事務)

第36条 センター等の分掌事務は、別表第6に掲げるとおりとする。

別表第6 センター等の分掌事務

センター等	分掌事務
徳島県文化の森振興センター	(1) 徳島県文化の森総合公園文化施設(以下この項において「文化施設」という。)の運営に関する施策の総合的な推進に関すること。 (2) 文化施設の予算の総合調整に関すること。 (3) 美術品等の取得に関すること。 (4) その他文化施設の運営に必要な事業の実施に関すること。

センター等	分掌事務
美術館	(1) 美術作品及び美術に関する資料（以下「美術館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 美術館資料に関する調査研究を行うこと。 (3) 美術に関する講演会、講座等の教育普及事業を行うこと。 (4) 美術作品の展示のためにギャラリーを利用に供すること及び美術に関する講座等の文化活動のために美術館講座室を利用に供すること。 (5) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。
二十一世紀館	(1) 図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館及び鳥居記念館（以下「文化の森各館」という。）の振興に係る企画、広報及び調整に関すること。 (5) 文化の森各館に係る庶務事務の処理に関すること。 (6) 文化の森各館に係る予算及び物品に関すること。 (7) 文化の森各館の施設管理に関すること。

第57条 附属機関の名称及び庶務を担当する組織は、別表第8に掲げるとおりとする。

別表第8 附属機関の名称及び庶務を担当する組織

72	徳島県立近代美術館協議会	美術館
----	--------------	-----

10

建設概要

建物概要

設計	———	(株)環境・建築研究所・(株)佐藤武夫設計事務所・(株)日建設計 設計共同企業体
監理	———	環境・建築研究所・岡田新一設計事務所・佐藤武夫設計事務所・日建設計 建設工事監理共同企業体
施工	———	[建築] 大成建設・フジタ工業・不動建設・熊谷組・間組 建築工事共同企業体 [電気] 四国電気工事・近畿電気工事 電気工事共同企業体 [空調] 東洋熱工業・三機工業・ナミレイ 空調工事共同企業体 [管] 朝日工業社・大成設備 管工事共同企業体 [エレベーター] (株)東芝 [家具] 富士ファニチア(株)
敷地	———	40.6ha(公園全体面積)
構造・規模	———	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階 地下1階建
延床面積	———	6,518㎡(3館合計 積層含む) 23,814㎡、積層含まず-22,382㎡)
建築面積	———	8,363㎡(3館合計)

設備概要

電力設備	———	受変電、自家発電、直流電源設備(蓄電池)、電灯・コンセント、避雷針
通信・情報設備	——	電話、情報(AV、スタジオ、液晶表示、他)、テレビ共聴、表示、インターホン、拡声、時計、視聴覚
防災・防犯設備	——	自動火災報知、防火戸閉鎖、ガスモレ警報、漏水警報、防犯、ITV、排煙、非常用照明、誘導灯、消火設備(屋内消火栓、スプリンクラー、ハロン化物消火、他)
空気調和設備	——	熱源機器設備(電気式ヒートポンプ、ボイラー) 空気調和設備(収蔵庫4系統、展示室3系統、一般3系統)
給排水衛生設備	——	給水設備(市水系統、雑給水系統)、排水設備(合併処理槽)、給湯、カスケード、薫蒸、中和槽装置、特殊ガス、焼却炉
監視制御設備	———	中央監視設備(監視制御点数—全館2,000点、美術館500点)
昇降機設備	———	エレベーター(乗用:750kg×1台、450kg×2台*、身体障害者用:750kg×1台、荷物用:3,000kg×2台*) *美術館用は各1台

仕様一覧

室名	面積 (㎡)	天井 (天井高)	壁	床	その他
展示室1	690	着色岩綿吸音板 (5m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
展示室2	204	着色岩綿吸音板 (4m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
展示室3	947	着色岩綿吸音板 (5m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル 褪色防止蛍光灯
屋外展示場	1,001	タイル張り			
美術館講座室	98	岩綿吸音板 (3m)	クロス貼	タイルカーペット	スクリーン、ホワイトボード、 AV設備等
アトリエ1	97	岩綿吸音板 (3m)	有孔珪酸 吸音壁	カルシウム板 ビニールシート、 アスファルト防水	流し台、地流し 収納棚等
アトリエ2	93	岩綿吸音板 (3m)	RC型	ナラフローリングブロック	流し台、地流し 収納棚等
子供のアトリエ	57	岩綿吸音板 (3m)	RC型	タイルカーペット、 フリーアクセスフロアー	床暖房設備、収納棚等
レファレンスルーム	197	岩綿吸音板 (2.7m)	クロス貼	タイルカーペット・フォーム バック付防振上げ床	書架 ローパーテーション等
ギャラリー	227	着色岩綿吸音板 (4m)	クロス貼	タイルカーペット	可動展示パネル
エントランスホール	243	岩綿吸音板 (4.5m)	RC型	大理石貼	
収蔵庫1	391	杉 (4.5m)	杉 落し込み	杉	絵画ラック、木製棚
収蔵庫2	182	杉 (4.5m)	杉 落し込み	杉	木製棚
一時保管庫	71	杉 (4m)	杉 落し込み	ナラフローリング	絵画ラック、木製棚

11

利用案内

開館時間 ————— 9:30-17:00

休館日 ————— 毎週月曜日 ただし月曜日あるいはそれに続く日が、祝日または振替休日にあたるときはその翌日。阿波踊り期間中の月曜日は開館します。
年末年始[12月29日-1月4日]

*このほか、展示替など必要に応じて休館することがあります。

観覧料 ————— ●常設展(所蔵作品展)

一般200円[160円]

高校生・大学生及びこれらに準ずる者100円[80円]

小学生・中学生50円[40円]

[]内は団体[20人以上]の場合。

*65歳以上の方で証明できるものをご提示いただいた方、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示いただいた方とその介助をされる方1名、未就学児は、それぞれ無料になります。

*大学生・一般は、祝日および振替休日の観覧料が無料になります。

*小・中・高生は土・日・祝日・振替休日および長期休暇中の観覧料が無料になります。

●特別展

知事がその都度定める額

交通のご案内 ————— ●JR徳島駅から

徳島市営バス「文化の森」行き直通バスにて 「文化の森」下車(約20分)

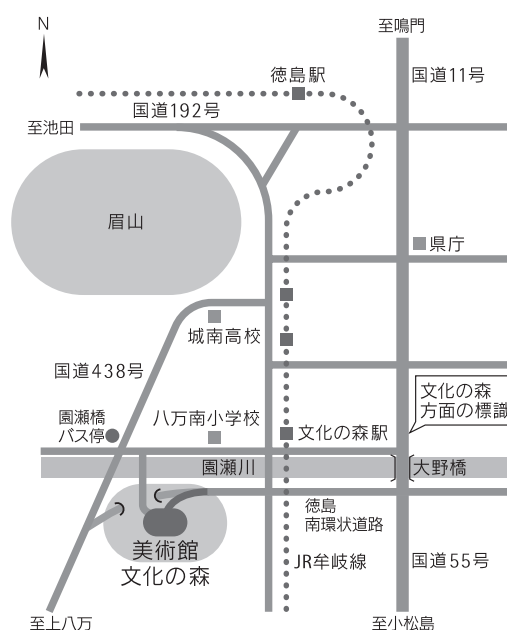
徳島市営バス・徳島バスにて 「園瀬橋」で下車(約20分)+徒歩(10分)

●JR牟岐線文化の森駅から

徒歩(約35分)

*文化の森駅からバスやタクシーの便はありません。

*上八万、一宮方面からは南環状道路経由で「文化の森」にお越しになれません。



徳島県立近代美術館年報
令和7年度(2025年度)

発行
令和8年9月16日

編集
徳島県立近代美術館
770-8070 徳島市八万町向寺山
文化の森総合公園
tel : 088-668-1088
fax : 088-668-7198
e-mail : art@bunmori.tokushima.jp

印刷
グランド印刷株式会社

この印刷物は再生紙を
使用しています。

